

令和2年度  
訪日グローバルキャンペーン等に対応したコンテンツ造成事業  
「出雲・大山エリアに息づく伝統的なものづくり文化と食に関するコンテンツ造成事業」

## 事業実施報告書

令和3年3月

中国運輸局

---



## [ 目 次 ]

<b>1. 業務概要</b> . . . . .	<b>1</b>
1-1 業務の目的 . . . . .	1
1-2 事業実施方針 . . . . .	5
1-3 業務の流れ . . . . .	6
<b>2. 地域資源に関する調査</b> . . . . .	<b>7</b>
2-1 地域資源関係者へのアンケート調査 . . . . .	7
2-2 地域資源関係者へのヒアリング調査 . . . . .	18
2-3 地域資源調査結果の考察 . . . . .	23
2-4 外国人専門家への調査 . . . . .	24
<b>3. コンテンツ造成検討会の実施</b> . . . . .	<b>41</b>
3-1 第1回検討会 . . . . .	42
3-2 第2回検討会 . . . . .	44
3-3 第3回検討会 . . . . .	46
<b>4. コンテンツの企画開発・販売体制整備</b> . . . . .	<b>49</b>
4-1 コンテンツ開発実施計画書 . . . . .	49
4-2 ワークショップ等の実施 . . . . .	54
4-3 ガイド・シミュレーションの実施 . . . . .	61
4-4 販売体制整備の提案 . . . . .	84
<b>5. 有識者によるブラッシュアップのための意見交換会の実施</b> . . . . .	<b>85</b>
5-1 意見交換会に向けた実施概要 . . . . .	85
5-2 意見交換会の実施 . . . . .	98
5-3 意見交換会の結果のまとめ . . . . .	112
<b>6. 事業成果</b> . . . . .	<b>117</b>
6-1 造成したコンテンツについて . . . . .	117
6-2 今後の展望について . . . . .	124

<b>添付資料</b> . . . . .	<b>127</b>
-----------------------	------------





# 1.業務概要

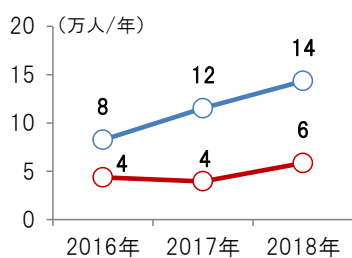
## 1-1 業務の目的

●本事業は、日本政府観光局による、欧米豪市場を中心とした、海外旅行には頻繁に行くが日本を旅行先として認知・意識していない層をターゲットとした情報発信「Enjoy my Japan グローバルキャンペーン」に加え、アジアにおける新たな訪日プロモーション事業に活用できる滞在型コンテンツ等を特に地方部をはじめとして、全国各地域に創出するものであり、中国運輸局とDMO等が連携して、令和3年度に販売が見込まれる水準となるよう、令和2年度中にコンテンツを創出することを目的とした事業である。



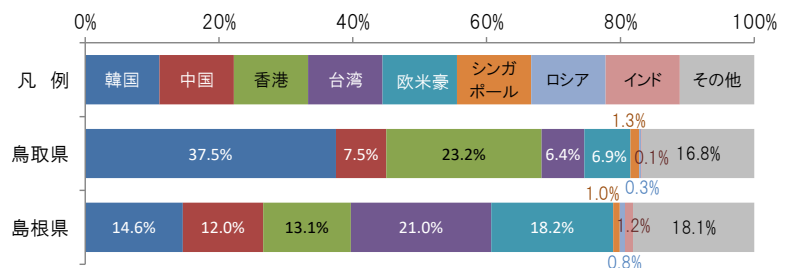
- 対象地域である「出雲・大山エリア」には、日本国宝・安部榮四郎の手すき和紙、「民藝運動」と関わる窯元などの手仕事による工芸文化が数多く存在し、また地域風土を生かして日本酒蔵やワイナリーの魅力も存在する。そして、これらの文化や食は、グローバルキャンペーンで特定する「海外の旅行者の7つのパッション（興味関心）」に該当するものである。
- 本事業は、これらを組み合わせることにより、当エリアの伝統的なものづくり文化と地域に暮らす人々の営みを知ることができる滞在型コンテンツの造成を目的とした事業である。

### 【島根県・鳥取県の外国人観光客の概況】



資料)観光庁「宿泊施設旅行統計」

図 外国人実宿泊者数の推移



資料)島根県観光動態調査  
鳥取県国籍別外国人観光客入込客数

図 国籍別外国人観光客宿泊者数の割合 (2018年)

- 出雲・大山エリアは、共に島根県・鳥取県が跨るエリアである。両県の外国人観光客の概況を見ると、ともに2016年-2018年の3年間の訪日外国人は増加傾向にある。国籍別の外国人観光客宿泊者数の割合では、韓国、中国、香港、台湾のアジア系が主となっている。その中で島根県の統計では欧米豪18.2%と比較的高い割合になっている。

【FF-DATA にみる島根県・鳥取県の訪日外国人流動の傾向】

以下の表は、国土交通省が公表するFF-DATA（訪日外国人流動データ）をもとに、対象地域に関する流動数の割合を示したものの。

表 中国地方5県を出発地とする流動数の割合

		出発地					
		2018年	山口県	広島県	岡山県	島根県	鳥取県
目的地	鳥取県		0.0%	8.0%	12.5%	49.1%	30.4%
	島根県		4.1%	14.8%	9.3%	52.5%	19.3%

※中国地方5県を出発地とし、島根県と鳥取県を目的地とした訪日外国人流動数:126,809人

表 近隣の主な入国空海港を出発地とする流動数の割合

		入国空海港										
		2018年	米子空港	広島空港	岡山空港	羽田空港	成田空港	関西空港	福岡空港	境海港	下関海港	その他
目的地	鳥取県		54.6%	0.7%	4.1%	6.4%	1.3%	11.4%	0.4%	18.9%	0.0%	2.1%
	島根県		47.5%	2.7%	1.9%	7.4%	3.6%	12.0%	2.3%	17.2%	1.9%	3.5%

※主な入国空海港を出発地とし、島根県と鳥取県を目的地とした訪日外国人流動数:61,469人

- 中国地方で島根県と鳥取県を目的地とした流動をみると、両県間の移動が主となる状況にある。特に鳥取⇒島根の流動が顕著な割合にある。その理由として、鳥取県に位置する米子空港と境港の影響が大きいと考えられ、同空海港から両県を目的地とした流動が生じていると予想する。
- 対象エリア内には出雲縁結び空港と米子鬼太郎空港、そして境港を擁する特性があり、特に訪日外国人に対して国際航路を有する米子空港と境港との連携は重要だと考える。また、流動の1割以上を有する関西空港との連携も重要である。（現在、新型コロナの関係を含み国際航路は欠航が多くなっている）

【本事業に係る主な地域資源の概要】

(1) 安部榮四郎と和紙

- ・ 対象エリア出身で色彩豊かな創作和紙「出雲民芸紙」を作り出した人間国宝の手すき和紙職人・安部榮四郎は、伝統技術に個性をプラスして数ある名紙を作り出し、出雲和紙界に多大な功績を残した人物であり、現在も氏の子孫が伝統技術を受け継いでいる。
- ・ 現在、「安部榮四郎記念館」と「手すき和紙伝習所」にて民芸品の公開・手すき体験ができる。

(2) 「民藝運動」と対象エリア

- ・ 「民藝運動」とは、1926（大正 15）年に思想家である柳宗悦、陶芸家の河井寛次郎・浜田庄司らによって提唱された日本独自の生活文化運動である。民藝とは、「民衆の工芸」の略で、民衆の暮らしの中から生まれた手仕事の文化を重んじ、その中に美術品に負けない美しさがあったとした。
- ・ 「出雲民芸紙」は「民藝運動」との関係で、その素晴らしさが全国へ広がった。また、安部榮四郎も「民藝運動」に参加しており、その中で個性ある和紙の伝統的技術を発表した。
- ・ 昭和初期、柳宗悦が対象エリアへ訪れた時に窯場を回り、その影響を与えた窯元が現在も残っている。（布志名窯、湯町窯、出西窯など）
- ・ このように、「民藝運動」を通して対象エリアの「手仕事の文化」が発展し、現在もその面影を残している。

### (3) 日本酒発祥の地

- ・ 出雲市にある佐香神社は、酒造りの神・久斯之神（くすのかみ）を祀る古社である。「出雲国風土記」に「たくさんの神々が集まられて、煮炊きする調理場を建て、酒を造らせた。そして長い間、毎日酒宴を開いた後、去って行かれた。そこで酒みずき（酒宴）のさかによって佐香という」とあり、酒造り発祥の地とされている。神社自体が、特別に1年で1石（180ℓ）酒造免許を受けており、宮司が杜氏を務めてその年の濁り酒を醸し、神様へ奉納する。10月13日の「どぶろく祭」にて参拝客に振舞う。
- ・ 出雲大社、須佐神社には、中国東北地方を起源に持つ“麩醴（びれい）”の酒が祭祀の一夜酒として、佐太神社には中国長江を起源にする“醴（ふんれい）”の酒が祭祀用として今に伝わっている。

- 対象エリアは、出雲神話、安木節、宍道湖、玉造温泉など数多くの観光資源を有するが、体験型コンテンツを造成するとなると和紙、窯元、さらには酒蔵等を活かすことが求められてくる。
- 対象エリアでは、民衆の暮らしから生まれた手仕事文化となる「民藝」、神々と結びつく日本酒発祥の地という個性豊かな資源が豊富にあり、訪日外国人に対して地域独自の付加価値あるコンテンツ造成が期待される。

### 【日本版DMO形成・確立計画に見る対象地域の観光地域特性】

連携する一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局（地域連携DMO・平成29年設立）の形成・確立計画による対象地域の観光地域特性は、以下のように記載されている。それらを踏まえて、本事業の目的に向けて取り組むにあたっての考察を整理した。

#### ●地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<b>強み (Strengths)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 神話や縁結びで有名な「出雲大社」をはじめ、国宝「松江城」、米国の日本庭園専門誌で15年連続日本一に選ばれている「足立美術館」、妖怪をモチーフにした「水木しげるロード」など優れた観光資源を有している。</li> <li>● ラムサール条約登録湿地や国立公園など豊かな自然に恵まれ、マリンスポーツ、サイクリングや冬のスキーなどスポーツ・ツーリズムの環境が整っている。</li> <li>● 皆生温泉や玉造温泉など日本有数の温泉地がある。</li> <li>● 日本有数の漁港である境港で水揚げされるマグロやカニといった日本海の幸、出雲そば、茶の湯文化とともに広まった松江の和菓子といったこの圏域ならではの食が味わえる。</li> </ul>	<b>弱み (Weaknesses)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 外国だけでなく、日本の中での認知度の低さ。</li> <li>● 魅力的な観光素材はあるが、旅行先を決定づける旅行商品の開発ができていない。</li> <li>● 高速道路や公共交通など交通インフラの利便性の悪さ。</li> <li>● 圏域観光にかかる一体となった情報発信の不足。</li> <li>● 外国人受入環境整備が不十分。</li> </ul>
外部環境	<b>機会 (Opportunity)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 訪日外国人来訪者数の増加と地方への進出が期待される。</li> <li>● 訪日外国人観光客のFIT化により、来訪エリアの多様化が進んでいる。</li> <li>● アジアを中心とした訪日旅行の定着が進みつつある。</li> <li>● 出雲空港、米子空港の利用頻度増の可能性と境港へのクルーズ船寄港の増加。</li> <li>● 広域DMOである山陰インバウンド機構のプロモーションによる山陰の認知度アップが期待できる。</li> </ul>	<b>脅威 (Threat)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 円高と、中国人の買い物需要の減少への懸念。</li> </ul>

●ターゲット（海外）

台湾・香港・欧米豪・シンガポール・ロシア・インドのF I T層

●コンセプト

「神話の国:知られぬ日本の面影 山陰」（欧米人向け）

（コンセプトの考え方）日本神話が数多く残る地域であり、有名な社寺も多く存在する当圏域はまさに「神話の国」であり、特に欧米人にはその神秘性、静けさ、不思議さが大都市圏では味わえない魅力となる。

- 対象エリアには、数多くの魅力ある地域資源が存在していることもあって近年の訪日外国人は増加傾向にある。そこで、SWOT分析にもあるように訴求力ある観光商品の少なさや外国人受入環境整備の遅れ等の課題を改善することで、さらなる訪日外国人の来訪が期待される。
- 本事業においては、「用の美」につながる手仕事に関するクラフトツーリズム、また「神話の国」につながる酒蔵ツーリズム等のコンテンツを組合せ、地域関係者とともに、対象エリア独自の付加価値を浮き彫りにして販売につながる体験型コンテンツの造成を行う。
- さらに、その付加価値を外国人観光客へわかりやすく案内できるガイドの育成が求められていると認識する。

## 1-2 事業実施方針

### ■基本的な考え方

本事業は、造成されたコンテンツが観光商品として販売され、地域に経済効果をもたらすことが目的であり、具体的かつ効果的な取り組みであることはもとより、その効果が検証可能であり、2020年度以降も継続したものとなるよう、関係者が協力関係を構築した上で事業を実施した。

### ■実施方針

#### 方針1

世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、外客の現状を把握するための被験者となる訪日外国人観光客の来訪が期待できないこと、また、地域関係者での会合やワーキングの実施等への影響が懸念された。  
そのため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を注視しつつ、必要に応じて、当初実施予定であった行程から目的や効果が合致する代替策を検討し、実施した。

#### 方針2

コンテンツの企画・開発等は、地域資源の関係者との検討やガイドの育成のため十分な意見交換や検討の場が必要となる。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を考慮し、対面で集まるワークショップは必要最低限の回数とし、それ以上の検討の場はTV会議を活用することとした。またガイドの育成では、「ガイドマニュアル」を作成することで、対面以外にTV会議での育成、及びガイド個人での習得を可能とする対策を行った。

#### 方針3

観光コンテンツは、検討した内容すべてをまとめた「タリフ(\*)」の完成を持って造成されたものとする。これにより、造成した観光コンテンツの詳細について、関係者間で共有でき、また、観光商品として販売する際、旅行会社等にも正確で詳細な内容を提示できるようになる。

\*タリフ・・・本来は「料金表」という意味であるが、旅行業界では「取扱説明書」に近い意味で使われており、料金のほか、詳しい内容、手配先、所要時間などの情報が記載されたものを言う

#### 方針4

本事業では、欧・米・豪及び香港・台湾の外国人目線で検討する必要があるため検討会やコンテンツ企画・開発時に、外国人専門家を招請することとした。

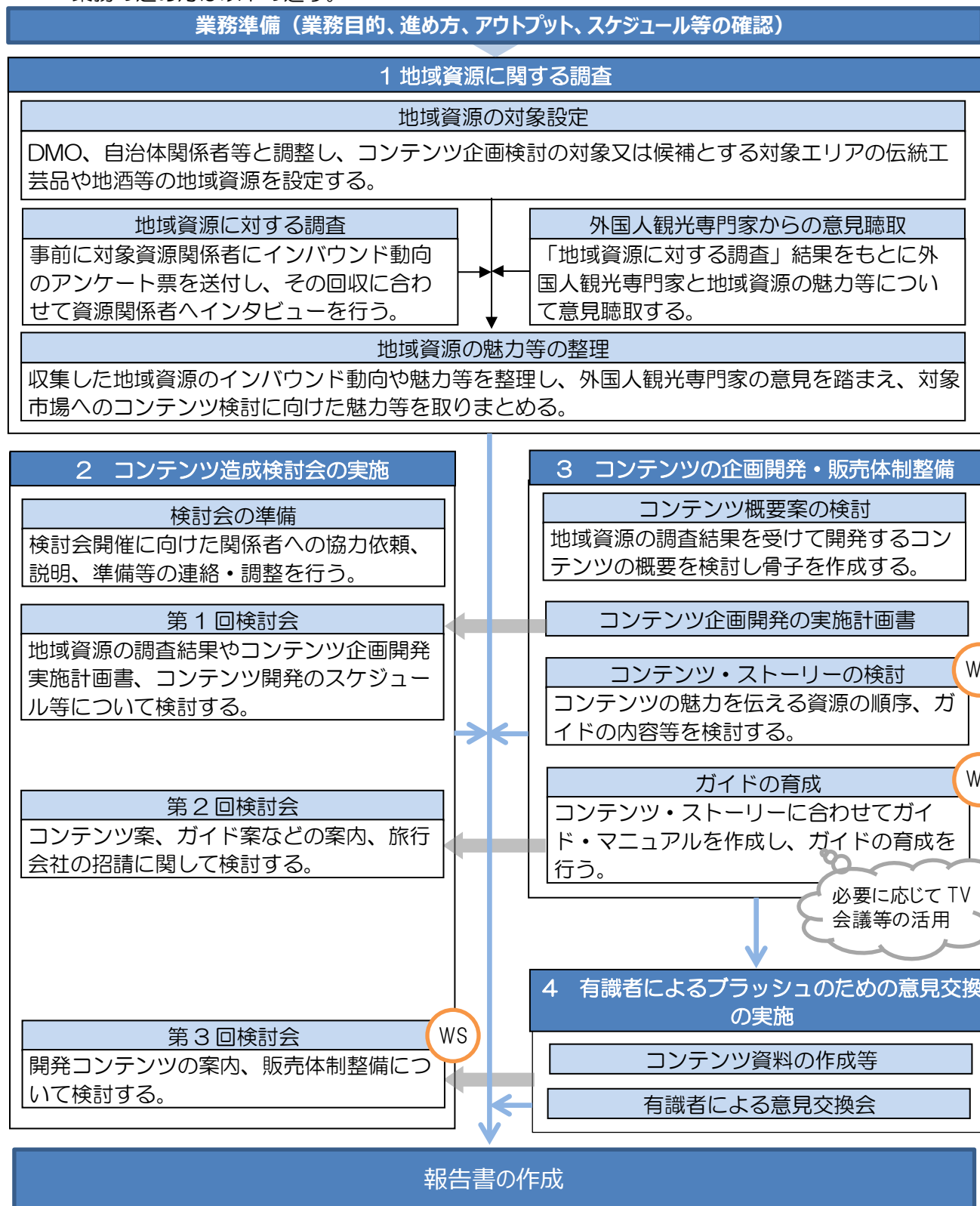
#### 方針5

2020年度に商品化し、2020年度以降はさらに取り組みが強化・継続することを見据え、事業展開の戦略策定も併せて行うこととした。



## 1-3 業務の流れ

業務の進め方は以下の通り。



WS :ワークショップ

図 業務フロー

## 2.地域資源に関する調査

### 2-1 地域資源関係者へのアンケート調査

#### (1) 観光資源関係者へのアンケート調査

##### 1) 調査の概要

地域コンテンツの選定のため、事業エリアにおける地域資源について、地域資源関係者の訪日外国人観光客受入体制等に関する現状把握を目的としてアンケート調査を実施した。

中海・宍道湖・大山圏域観光局より提供された施設情報より 43 施設にアンケート調査を行った。

表 アンケート調査施設

No	地域	観光地点名	分類
1	松江市	安部榮四郎記念館	和紙
2	安来市	鍛冶工房弘光	鍛造鉄器
3	出雲市	高橋鍛冶屋	鍛造鉄器
4	境港市	弓浜絣工房B	染物
5	境港市	工房ゆみはま	染物
6	米子市	ごとう絣店	染物
7	米子市	松田染物店	染物
8	安来市	天野紺屋	染物
9	安来市	広瀬絣センター	染物
10	出雲市	長田染工場	染物
11	出雲市	出西窯	窯元
12	松江市	湯町窯	窯元
13	松江市	布志名焼雲善窯	窯元
14	松江市	袖師窯	窯元
15	松江市	いまみや工房	窯元
16	安来市	錦山焼窯元	窯元
17	安来市	方円窯	窯元
18	米子市	法勝寺焼皆生窯	窯元
19	大山エリア	法勝寺焼松花窯	窯元
20	大山エリア	大山焼久古窯	窯元
21	安来市	足立美術館	展示
22	出雲市	出雲民藝館	展示
23	出雲市	出雲文化伝承館	展示
24	出雲市	手銭記念館	展示
25	松江市	島根県立美術館	展示
26	松江市	田部美術館	展示
27	米子市	アジア博物館	展示
28	出雲市	旭日酒造有限会社	日本酒

No	地域	観光地点名	分類
29	出雲市	板倉酒造有限会社	日本酒
30	出雲市	株式会社酒持田本店	日本酒
31	出雲市	富士酒造合資会社	日本酒
32	松江市	李白酒造有限会社	日本酒
33	松江市	米田酒造株式会社	日本酒
34	松江市	國暉酒造株式会社	日本酒
35	松江市	王祿酒造有限会社	日本酒
36	安来市	金鳳酒造有限会社	日本酒
37	安来市	吉田酒造株式会社	日本酒
38	安来市	青砥酒造株式会社	日本酒
39	境港市	千代むすび酒造株式会社	日本酒
40	米子市	株式会社稲田本店	日本酒
41	伯耆町	久米桜酒造有限会社	日本酒
42	江府町	有限会社大岩酒造本店	日本酒
43	出雲市	島根ワイナリー	ワイン



## 2) 調査結果

43 施設のうち 30 施設から回答を得られた。

調査結果を下記に示す。

### ① 訪日外国人の来訪人数（人）

No	施設名称	担当者名	1 訪日外国人の来訪人数（人）					
			2019年		2018年		2017年	
1	安部榮四郎記念館	学芸員 安部己岡枝 様	360	フランス語圏 200 名、英語圏 145 名、中国 15 名	200	フランス語圏 7 割、英語圏 3 割	200	—
2	鍛冶工房弘光	小藤宗相 様	50	—	40	—	15	—
3	高橋鍛冶屋	高橋勉 様	—	—	2	オーストラリア	—	—
5	工房ゆみはま	田中博文 様	2	アメリカ	5	アメリカ	2	韓国
6	ごとう餅店	後藤和文 様	20	中国、韓国、アメリ カ、イギリス	20	中国、韓国、アメリ カ、イギリス	20	中国、韓国、アメリ カ、イギリス
7	松田染物店	松田成樹 様	0	—	2	中国	0	—
8	天野紺屋	天野尚 様	90	オーストラリア 35 名、イギリス 17 名、アメリカ 14 名、香港 5 名 他	70	オーストラリア 20 名、アメリカ 20 名、香港 4 名	50	オーストラリア 15 名、アメリカ 10 名
9	広瀬餅センター	伊藤浩二 様	180	—	120	—	120	—
11	出西窯	磯田博之 様	100	不明	70	不明	50	不明
12	湯町窯	福岡琇士 様	30	イギリス、中国、香 港、アメリカ	15	オーストラリア、イ ギリス、アメリカ、 中国	20	アメリカ、イギリ ス、中国
13	布志名焼雲善窯	土屋和久 様	2	—	2	—	2	—
14	袖師窯	尾野友彦 様	10~ 20	アメリカ、オースト ラリア、中国、韓国 etc	10~ 20	アメリカ、オースト ラリア、中国、韓国 etc	10~ 20	アメリカ、オース トラリア、中国、 韓国 etc
15	いまみや工房	三島耕二 様	6	香港、アメリカ	6	フランス、アメリカ	6	カナダ、アメリカ
16	錦山焼窯元	中島 様	—	—	—	—	—	—
17	方円窯	亀尾志郎 様	0	—	0	—	0	—
18	法勝寺焼皆生窯	安藤釉三 様	20	—	40	—	—	—
20	大山焼古久窯	鈴木治道 様	約 10	—	約 10	—	約 10	—
21	足立美術館	小澤順 様	33,0 00	主に東アジア、欧米 諸国	45,00 0	主に東アジア、欧米 諸国	34,00 0	主に東アジア、欧 米諸国
25	島根県立美術館	荒木 様	178 2	ヨーロッパ 542 名、北米 220 名、 中南米 48 名、オセ アニア 92 名、アジ ア 871 名、中東ア フリカ 9 名	1760	ヨーロッパ 447 名、北米 169 名、 中南米 36 名、オセ アニア 140 名、ア ジア 961 名、中東 アフリカ 7 名	1363	ヨーロッパ 447 名、北米 169 名、中南米 36 名、オセアニア 140 名、アジア 961 名、中東ア フリカ 7 名
26	田部美術館	山本順三 様	35~ 50	フランス、アメリカ	35~ 50	フランス、アメリカ	35~ 50	フランス、アメリ カ
27	アジア博物館	支配人 佐伯 様	10	日本人の方と来られ る。団体は内、個人 の方は自転車でサイ クリングロードがあ るが、少ない。				
28	旭日酒造有限会社	井上智之 様	100	中国人等	90	フランス人等	90	—
29	板倉酒造有限会社	江角 様	0	—	0	—	0	—
32	李白酒造有限会社	山本真鼓 様	0	—	0	—	0	—
34	國暉酒造株式会社	岩橋弘樹 様	100	—	160	—	160	—
39	千代むすび酒造株式会 社	佐野直様	150	香港、中国、韓国、 アメリカ、オースト ラリア	250	香港、中国、韓国、 アメリカ、オースト ラリア	180	香港、中国、韓 国、アメリカ、オ ーストラリア
40	株式会社稲田本店	築谷真司 様	10	—	10	—	10	—
41	久米桜酒造有限会社	田村様	—	—	—	—	—	—
42	有限会社大岩酒造本店	大岩一彦 様	0	—	0	—	0	—
43	島根ワイナリー	川上誠 様	518 7	但し、団体予約客の みの客数	3601	—	3269	—

② 訪日外国人観光客への対応内容

No	施設名称	2 訪日外国人観光客への対応内容				
			対応	多言語 パンフレット	外国人対応スタ ッフ	その他
1	安部榮四郎記念館	体験観光	有	有(英・仏・ 中・韓)	無	—
		見学観光	有	有(英・仏)	無	—
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—
2	鍛冶工房弘光	体験観光	有	無	無	—
		見学観光	有	無	無	—
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてなし等	—	—	—	—
3	高橋鍛冶屋	体験観光	有	無	無	ナイフ作り実演
		見学観光	有	無	無	—
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてなし等	無	無	無	—
5	工房ゆみはま	体験観光	無	—	—	応相談
		見学観光	無	—	—	要相談
		商品販売	有	無	有(1人・韓)	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—
6	ごとう絋店	体験観光	有	有(英)	無	—
		見学観光	有	有(英)	無	—
		商品販売	有	有(英)	無	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—
7	松田染物店	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	有	無	無	—
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—
8	天野紺屋	体験観光	有	無	無	—
		見学観光	有	無	無	—
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてなし等	—	—	—	—
9	広瀬絋センター	体験観光	有	無	無	藍染体験
		見学観光	有	無	無	広瀬絋作業工程 の見学
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—
11	出西窯	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	有	無	有(1人・英)	—
		商品販売	有	無	有(1人・英)	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—
12	湯町窯	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	無	—	—	—
		商品販売	有	無	無	ジェスチャー
		その他おもてなし等	無	—	—	—
13	布志名焼雲善窯	体験観光	無	無	無	—
		見学観光	有	無	無	—
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—
14	袖師窯	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	有	無	無	自由に見学して もらう
		商品販売	有	有(英)	無	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—

No	施設名称	2 訪日外国人観光客への対応内容				
			対応	多言語 パンフレット	外国人対応スタッフ	その他
15	いまみや工房	体験観光	有	無	有(下手な英語)	—
		見学観光	有	無	有(下手な英語)	—
		商品販売	有	無	有(下手な英語)	—
		その他おもてなし等	有	無	有(下手な英語)	—
16	錦山焼窯元	体験観光	—	—	—	—
		見学観光	—	—	—	—
		商品販売	—	—	—	—
		その他おもてなし等	—	—	—	—
17	方円窯	体験観光	無	無	無	—
		見学観光	有	無	無	—
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてなし等	—	—	—	—
18	法勝寺焼皆生窯	体験観光	有	有	無	—
		見学観光	—	—	—	—
		商品販売	有	有	無	—
		その他おもてなし等	—	—	—	—
20	大山焼久古窯	体験観光	有	無	無	—
		見学観光	有	無	無	—
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—
21	足立美術館	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	有	有(英・仏・韓・中繁・中簡)	無	館内自由見学案内は行っていない
		商品販売	無	—	—	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—
25	島根県立美術館	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	無	—	—	—
		商品販売	無	—	—	—
		その他おもてなし等	有	有(英)	有(2人・英)	—
26	田部美術館	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	有	無	無	—
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—
27	アジア博物館	体験観光	なし			
		見学観光	なし			自由見学
		商品販売	なし			
		その他おもてなし等	なし			
28	旭日酒造株式会社	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	有	無	無	—
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—
29	板倉酒造株式会社	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	有	無	無	—
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—
32	李白酒造株式会社	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	無	—	—	—
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてなし等	無	—	—	—

No	施設名称	2 訪日外国人観光客への対応内容				
			対応	多言語 パンフレット	外国人対応スタ ッフ	その他
34	國暉酒造株式会社	体験観光	無	—	—	ポケット有
		見学観光	有	—	—	ポケット有
		商品販売	有	—	—	試飲販売、ポ ケット有
		その他おもてな し等	無	—	—	ポケット有
39	千代むすび酒造株式会社	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	有	無	有	1名：英語
		商品販売	有	無	有	1名：英語
		その他おもてな し等	無	—	—	—
40	株式会社稲田本店	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	有	有	—	—
		商品販売	有	無	—	—
		その他おもてな し等	—	—	—	—
41	久米桜酒造有限会社	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	有	無	無	—
		商品販売	有	無	有△	—
		その他おもてな し等	無	—	—	—
42	有限会社大岩酒造本店	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	無	—	—	—
		商品販売	有	有(英)	—	—
		その他おもてな し等	無	—	—	—
43	島根ワイナリー	体験観光	無	—	—	—
		見学観光	有	無	無	—
		商品販売	有	無	無	—
		その他おもてな し等	有	有(英)	無	多言語場内案内 看板設置 総合パンフレ ット(英・中・ 韓)

③ 訪日外国人の買い物状況

No	施設名称	3 訪日外国人の買い物状況			
		主な販売商品	販売額（おおよそ）		
			2019年	2018年	2017年
1	安部栄四郎記念館	手漉き和紙製品	40万円	40万円	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
2	鍛冶工房弘光	お土産品	50万円	30万円	15万円
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
3	高橋鍛冶屋	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
5	工房ゆみはま	絣布	0	3万円	0
		がま口	0	0.3万円	0
		小物	0	0.3万円	0
		—	—	—	—
6	ごとう絣店	絣（のれん）	20万円	20万円	20万円
		絣（クッションカバー）	20万円	20万円	20万円
		—	—	—	—
		—	—	—	—
7	松田染物店	店旗	0	3万円	0
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
8	天野紺屋	藍染体験料金	20万円	15万円	10万円
		手ぬぐい（藍染）	5万円	3万円	3万円
		財布	3万円	2万円	2万円
		—	—	—	—
9	広瀬絣センター	藍染製品	15万円	10万円	10万円
		広瀬絣製品	10万円	5万円	5万円
		歴史関連商品	2万円	1万円	1万円
		—	—	—	—
11	出西窯	陶器	20万円	10万円	10万円
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
12	湯町窯	ぐい呑み、スー プ皿、湯飲み、 片口他	8万円	5万円	7万円
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
13	布志名焼雲善窯	食器類	1万円以内	1万円以内	1万円以内
		食器類	1万円以内	1万円以内	1万円以内
		食器類	1万円以内	1万円以内	1万円以内
		—	—	—	—
14	袖師窯	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
15	いまみや工房	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
16	錦山焼窯元	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
17	方円窯	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—

No	施設名称	3 訪日外国人の買い物状況			
		主な販売商品	販売額（おおよそ）		
			2019年	2018年	2017年
		—	—	—	—
18	法勝寺焼皆生窯	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
20	大山焼久古窯	マグカップなど	1～2万円	1～2万円	1～2万円
		—	—	—	—
		—	—	—	—
21	足立美術館	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
25	島根県立美術館	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
26	田部美術館	展覧会図録・抹茶の呈茶	0	0	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
27	アジア博物館	かすり・入館料	50000	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
28	旭日酒造有限会社	日本酒	20万円	18万円	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
29	板倉酒造有限会社	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
32	李白酒造有限会社	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
34	國暉酒造株式会社	清酒	30万円	30万円	10万円
		グッズ	10万円	6万円	6万円
		—	—	—	—
		—	—	—	—
39	千代むすび酒造株式会社	大吟醸	8万円	5万円	3万円
		純米吟醸	20万円	30万円	15万円
		純米酒	15万円	20万円	10万円
		—	—	—	—
40	株式会社稲田本店	清酒	10万円	10万円	10万円
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
41	久米桜酒造有限会社	大山地ビール	—	—	—
		地酒 八郷 他	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
42	有限会社大岩酒造本店	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
43	島根ワイナリー	国産ワイン	不明	不明	不明
		土産品等	不明	不明	不明
		食事施設（焼き肉他）	不明	不明	不明
		—	—	—	—

④ 訪日外国人観光客の来訪度合及び訪日外国人観光客への体験型観光などの受入意向

No	施設名称	4 訪日外国人観光客の来訪度合	5 訪日外国人観光客への体験型観光などの受入意向
1	安部栄四郎記念館	多いと思うので、インバウンド対応が必要だと思	既に、体験型観光を実施している
2	鍛冶工房弘光	少ないが、インバウンド対応が必要だと思	既に、体験型観光を実施している
3	高橋鍛冶屋	少ないので、必要はない	既に、体験型観光を実施している
5	工房ゆみはま	少ないが、インバウンド対応が必要だと思	体験型観光ができる施設ではない
6	ごとう紺店	少ないが、インバウンド対応が必要だと思	既に、体験型観光を実施している
7	松田染物店	多いと思うので、インバウンド対応が必要だと思	現在、体験型観光を計画はしてないが、将来的に実施したいと思っている
8	天野紺屋	少ないが、インバウンド対応が必要だと思	既に、体験型観光を実施している
9	広瀬紳センター	少ないが、インバウンド対応が必要だと思	既に、体験型観光を実施している
11	出西窯	少ないので、必要はない	現在も将来的にも実施する予定はない
12	湯町窯	無回答	無回答
13	布志名焼雲善窯	無回答	無回答
14	袖師窯	少ないので、必要はない	現在も将来的にも実施する予定はない
15	いまみや工房	少ないが、インバウンド対応が必要だと思	(選択肢以外) 受け入れはしているが、特にインバウンド集客は行っていない
16	錦山焼窯元	無回答	無回答
17	方円窯	少ないので、必要はない	体験型観光ができる施設ではない
18	法勝寺焼皆生窯	少ないので、必要はない	既に、体験型観光を実施している
20	大山焼久古窯	(選択肢以外) 製造業がメインなので、今の度合いがちょうどいい	(選択肢以外) 予定はありませんが、体験や買い物の受け入れは可能です。(コロナウイルスの影響がなくなった場合のみ)
21	足立美術館	少ないが、インバウンド対応が必要だと思	現在も将来的にも実施する予定はない
25	島根県立美術館	多いと思うので、インバウンド対応が必要だと思	体験型観光ができる施設ではない
26	田部美術館	少ないが、インバウンド対応が必要だと思	体験型観光ができる施設ではない
27	アジア博物館	少ないが、インバウンド対応が必要だと思	体験型観光ができる施設ではない
28	旭日酒造有限会社	少ないが、インバウンド対応が必要だと思	現在、体験型観光を計画はしてないが、将来的に実施したいと思っている
29	板倉酒造有限会社	少ないので、必要はない	現在も将来的にも実施する予定はない
32	李白酒造有限会社	多いと思うので、インバウンド対応が必要だと思	体験型観光ができる施設ではない
34	國暉酒造株式会社	少ないが、インバウンド対応が必要だと思	現在、体験型観光を計画はしてないが、将来的に実施したいと思っている
39	千代むすび酒造株式会社	多いと思うので、インバウンド対応が必要だと思	現在、体験型観光を計画はしてないが、将来的に実施したいと思っている
40	株式会社稲田本店	多いと思うので、インバウンド対応が必要だと思	現在、体験型観光を計画はしてないが、将来的に実施したいと思っている
41	久米桜酒造有限会社	少ないが、インバウンド対応が必要だと思 (日本人も含め)	現在、体験型観光を計画しており、実施する予定がある
42	有限会社大岩酒造本店	少ないので、必要はない	現在、体験型観光を計画はしてないが、将来的に実施したいと思っている
43	島根ワイナリー	少ないが、インバウンド対応が必要だと思	現在、体験型観光を計画はしてないが、将来的に実施したいと思っている

⑤ 訪日外国人観光客の受入の課題及び検討会の参加意向

	施設名称	6 訪日外国人観光客の受入の課題	7 検討会の参加意向
1	安部栄四郎記念館	無回答	無回答⇒参加する
2	鍛冶工房弘光	無回答	参加する
3	高橋鍛冶屋	無回答	参加しない
5	工房ゆみはま	現在は、外国人来訪者（観光客、学習者）を応相談にて受け入れており、その場合の多くにはボランティア通訳が伴われているので、会話上で特に問題はない。通訳無しでは受け入れは難しい。説明用のパンフレットの必要性も日頃より感じてはいるが、その作成には時間と労力を要すると感じ、今は出来ていない。	参加しない
6	ごとう餅店	外国語対応スタッフがいないためコミュニケーションをとることが難しいこと。	参加する
7	松田染物店	無回答	参加しない
8	天野紺屋	最大 20 名ぐらいで体験可能だが、それ以上の団体は無理がある。日本語の分かる通訳の方などがあればありがたい。	参加しない
9	広瀬餅センター	言語対応	参加しない⇒安来市の意向に添って参加する
11	出西窯	言語の対応（話せるスタッフが少ない）	参加しない
12	湯町窯	無回答	参加する
13	布志名焼雲善窯	無回答	無回答
14	袖師窯	個人であれば対抗できるが、団体は難しい	参加しない
15	いまみや工房	インバウンド向けの集客サイトもあるようだがコストパフォーマンスが悪い 自力で集客は難しい ぼちぼちで良いと思っている。	参加する
16	錦山焼窯元	無回答	参加しない
17	方円窯	市内より遠い山間地に在り訪問に不便	参加しない
18	法勝寺焼皆生窯	個人での体験は少ない。何らかの期間（県・市）からの申し入れが多い。	参加する
20	大山焼久古窯	多言語への通訳機器導入など	参加しない
21	足立美術館	外国人観光客への案内（外国語を話せるスタッフの雇用） すべての館内展示作品への英語表記（概ねできているが一部まだなものもあり）	参加する
25	島根県立美術館	英語以外の言語の方への対応の充実化	参加しない
26	田部美術館	無回答	参加しない
27	アジア博物館	外国語の受け入れが出来ない	参加しない（難しい）
28	旭日酒造株式会社	外国語が喋れるスタッフがいない事。自動翻訳機を使用しても、日本酒の造りの説明をするのが難しい。	参加する （開催場所等で支障がなければ）
29	板倉酒造株式会社	無回答	参加しない
32	李白酒造株式会社	無回答	参加しない
34	國暉酒造株式会社	無回答	参加する
39	千代むすび酒造株式会社	英語や中国語で対応できるスタッフの確保。配布できる資料の作成。外国人向けの商品の開発。	参加する
40	株式会社稲田本店	言語	不明
41	久米桜酒造有限公司	二次交通	無回答
42	有限公司大岩酒造本店	無回答	参加しない
43	島根ワイナリー	現在はコロナの影響にて、全く無くなっているが、終息した時期には即対応がとれるよう、行政からの大幅な補助・助成等が必要と考えます。特に都会からの交通の便利が悪い為、チャーター等の対応は不可欠。また、地方色（都会との差別化）を前面に押し出したセールスが必要ではないかと考えます。	参加する



⑥ その他の課題

No	施設名称	8 その他の課題
1	安部榮四郎記念館	無回答
2	鍛冶工房弘光	無回答
3	高橋鍛冶屋	無回答
5	工房ゆみはま	これまでどおり相談に応じる形で、また工房の仕事に影響のない範囲で、日本の伝統文化の伝承と伝統工芸の周知に寄与したいと考えています。
6	ごとう餅店	地元の伝統工芸について地元の人知らないためお客様に案内ができない。他の伝統工芸品について情報共有し知識を深めるための勉強会があってもいいのではないか。
7	松田染物店	無回答
8	天野紺屋	無回答
9	広瀬絣センター	無回答
11	出西窯	無回答
12	湯町窯	無回答
13	布志名焼雲善窯	無回答
14	袖師窯	無回答
17	方円窯	無回答
18	法勝寺焼皆生窯	無回答
20	大山焼久古窯	無回答
21	足立美術館	無回答
25	島根県立美術館	無回答
26	田部美術館	無回答
27	アジア博物館	4名で運営している。塗料の営業があるので席を空けられない。テレワークは難しい、参加するのであれば出向きたい。
28	旭日酒造有限公司	無回答
29	板倉酒造有限公司	無回答
32	李白酒造有限公司	無回答
34	國暉酒造株式会社	無回答
39	千代むすび酒造株式会社	上記検討会への参加は検討中です。またご連絡下さい。
40	株式会社稲田本店	無回答
41	久米桜酒造有限公司	無回答
42	有限公司大岩酒造本店	無回答
43	島根ワイナリー	無回答

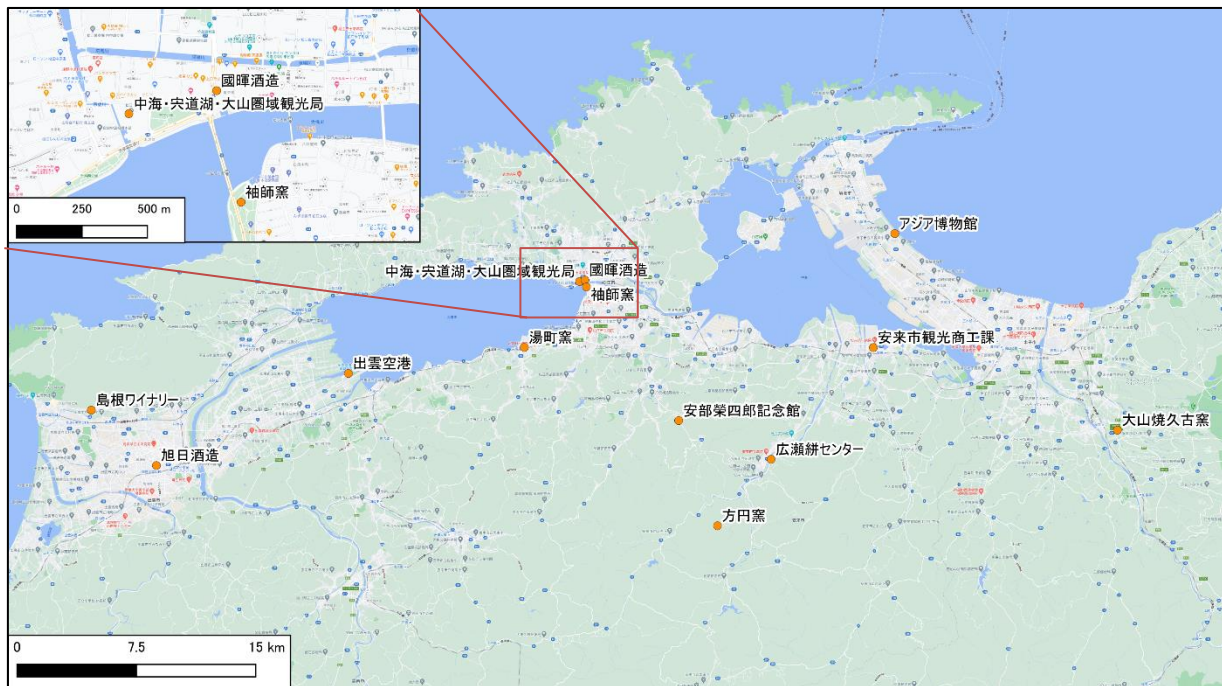
## 2-2 地域資源関係者へのヒアリング調査

### (1) 観光資源関係者へのヒアリング調査

#### 1) 調査の概要

アンケート調査にて、ヒアリング調査にご協力いただくと回答いただいた施設に2泊3日で現地インタビューを実施した。

#### 2) 地図



## (2) 1日目結果

### ① 湯町窯

実施日時…令和2年7月6日(月) 9時30分～10時00分  
福間様、KCS 松本・成沢

- ・ 外国人旅行者の来訪のきっかけは「HPを見て」と言われることが多く、陶芸を好きな方は、バーナード・リーチ氏の繋がりとと思われる。
- ・ 以前イギリスから業者の方が見えましたが、配送が大変だったため、お断りしたことがある。
- ・ 海外の人が来たときは器以外の話もして楽しんで頂けるよう心掛けている。
- ・ 他の職人と新たな取り組みを一緒に実施した経験はない。



### ② 安部榮四郎記念館

実施日時…令和2年7月6日(月) 10時30分～11時10分  
安部様、KCS 松本・成沢

- ・ 境港に到着するクルーズ船内で紹介される観光施設として選ばれ、5～6年前にインバウンドの受け入れを開始。
- ・ 工房見学、体験も可能。外国人用パンフレット、DVDなどを用意している。
- ・ 今後は個人旅行、少人数のツアー客に向けて考えている。
- ・ 「和紙を未来へつなぐプロジェクト」という組織を立ち上げた。

主なイベント

8/8 紙すき体験とうちわづくり

8/19 写真のイベント 和紙と写真を未来に残す

11月～12月 刈り取り(4日間の体験)



### ③ 國暉酒造

実施日時…令和2年7月6日(月) 14時00分～14時25分

岩橋様、中国運輸局 倉迫、平井、石風呂 KCS 松本・成沢

- ・ 台湾、香港の方は消費される傾向にある。
- ・ 周囲に用事のあった方が立ち寄ることが多い。
- ・ 見学は予約制で定員は20名程度。団体は受け入れが難しく、時期によっては見学自体が難しい。
- ・ 平成9年に改装。免税未対応。ポケットークを使って会話をしている。
- ・ 松江市からの働きかけにより、歴史的建造物に指定された。
- ・ 今後インバウンドの取り組みを始める。



### ④ 広瀬絰センター

実施日時…令和2年7月6日(月) 11時45分～12時30分

広瀬絰技術保存会会長 永田様、安来市 伊藤様、  
中国運輸局 倉様、平井、石風呂 KCS 松本、成沢

- ・ 日本人の方と同行された外国人が体験される。言葉は話せないが、ジェスチャーでも伝わる。
- ・ 藍染は染める前の模様付けから染めて洗うまで大体1時間程度。
- ・ カメは1つ3名ずつ、4つのカメを使う。
- ・ 興味がある方ばかりではないが、日本の手仕事に関心がある方には訴求力がある。
- ・ 広瀬絰の着物を観光客に着て頂く対応も可能。
- ・ 交通の便が問題。現在はバス、タクシー、レンタカー。日本人と同行する方は自家用車。
- ・ 台湾では藍染を復活させている所もある。欧米の方が興味がある。
- ・ 絰が好きの方はたくさん購入されるが、クレジットカードの決済が現状できない
- ・ 周辺には、紙すき、酒造、神社等がある。
- ・ 技術を学びに20名通っており全てを習得するのは二年近くかかる。今は職人も生活していくのが大変。





### (3) 2日目結果

#### ① 大山焼久古窯

実施日時…令和2年7月7日(火) 15時30分～16時00分  
鈴木様、KCS 松本・成沢

---

- ・ クルーズ船の乗客は大山エリアまで来ていないイメージ。
  - ・ 製造もしているが教室も開いているので現在の来訪人数がちょうどいい。
  - ・ 少人数であれば対応できると思う。
  - ・ コロナの影響で夏～秋が忙しい。完成まで約1か月、発送方法の確認連絡をする。
  - ・ 支払いは旅行会社を取り仕切っていく予定であり、店ごとではない。
- 



#### ② 方円窯

実施日時…令和2年7月7日(火) 13時55分～14時30分  
亀尾様、KCS 松本・成沢

---

- ・ 40年前、当時30歳の時に窯を開いた。
  - ・ 体験も行っているが観光客は減った。当日渡せず、送料と時間がかかる。
  - ・ クルーズ船の外国人旅行客はあまり立ち寄ることは寄ることはない。
  - ・ 近くに広瀬和紙がある。安部榮四郎さんの弟子であり、コンテンツ候補にいいのでは。
- 



#### (4) 3日目結果

##### ① アジア博物館

実施日時…令和2年7月8日(水) 9時00分~9時15分  
佐伯様、KCS 松本・成沢

- ・ コメントなし



##### ② 旭日酒造

実施日時…令和2年7月6日(月) 9時30分~10時00分  
福間様、KCS 松本・成沢

- ・ 47CLUB で通販も始めているが、あまり乗り気ではない。
- ・ 今年の3月末に補助金を活用して建物修繕を行う前は、建物が恥ずかしく感じてアピールをしておらず、駅から近いのにも関わらず、観光客は来ていなかった。
- ・ Youtube も始めた。見学でも団体には届きにくいですが、Youtube に発信した「オンラインツアー」という動画だと伝わっていると感じる。
- ・ 見学は冬の間はやっている。2年前(2018年)、フランスの女性が半年間お酒造りを学びに来ており、その時には、フランス人を始め海外のお客様が来たときは、対応してもらっていた。
- ・ 受入れには語学の問題がある、お酒の味の表現が難しい。ガイドさんに全てを話すことはできないが、多少理解して説明してくれるのは良い。
- ・ 1月の検討会の参加はテレワークが可能であれば参加可能。



### ③ 足立美術館

実施日時…令和2年7月8日（水） 10時50分～11時20分

足立様、KCS 松本・成沢

- 
- ・ 以前ガイド組合にガイド依頼したが、説明内容に誤りがあった為、現在は行っていない。
- 



### ④ 島根ワイナリー

実施日時…令和2年7月8日（水） 12時50分～13時30分

川上様、KCS 松本・成沢

- 
- ・ クルーズ船、鳥取のチャーター便、観光バスの団体と個人旅行客が半数ずつの割合で来る。
  - ・ 旅行客全体としてお土産は購入されている傾向にあるが、外国人旅行客と分けて集計などは行っていない。
  - ・ 総合案内の看板やパンフレットは多言語化しており、工場見学も外国語看板を準備している。
  - ・ 日本人旅行客へは広島、大阪圏にプロモーションしている。
- 



## 2-3 地域資源調査結果の考察

調査結果から、以下のことが把握できた。

- 地域資源関係者は、訪日外国人受入に対する意欲は高い。
- 現状では、クルーズ船寄港時に、一度に外国人観光客を受け入れている様子が見えなかったが、一般の訪日外国人の来訪は少なく、消費も高くないように見受けられた。
- 関係者は、手仕事の魅力を訪日外国人へ知らせたいという意識はあるが、今のところ他の職人等と連携するというよりはむしろ個別に取り組んでいる傾向にあり、コンテンツ造成の具体的な取り組みへの戸惑いもある。
- まずは、いきなりハードルを高くせず、彼らが普段取り組む体験活動を活かしたコンテンツ造成に組み込み、彼らの意欲をコンテンツの中で具現化していくことが重要である。

## 2-4 外国人専門家への調査

### (1) 実施日

令和2年7月28日（火） 13:30~17:00

### (2) 参加者

旅行会社参加者		略 歴
会社名	氏 名	
Japan Travel 株式会社	Colas Hauspie (コラ・オスピ) (男性)	出身国:フランス 日本語:上級 【所属】JapanTravel 社 旅行チーム 日本在住4年。東京都在住。日系旅行代理店にてフランス市場を担当。現在は日系企業での経験を活かし、フランス市場の開拓、カスタマーサービスの責任者
Japan Travel 株式会社	牛尾 晃汰 (男性)	補佐



### (3) 参考資料 地域資源の関係者の紹介

ここでは、中海・宍道湖・大山圏域観光局より紹介された鍛冶工房弘光や皆生窯などを先に調査した施設に加え、外国人専門家へ紹介を行った。

次頁以降に、対象とした関係者の概要を示す。



ジャンル	コンテンツ	<h1>安部榮四郎記念館</h1>
和紙	体験	

**所在地** 〒690-2102 島根県松江市八雲町東岩坂1754

**連絡先** TEL: 0852-54-1745  
FAX: 0852-54-1745

**営業時間** 9:00~17:00

**定休日** 火曜日

**HP** <http://abe-eishirou.jp/>



## 紹介

紙神のふるさと・・・八雲町

人間国宝「安部榮四郎」が生涯情熱を注いだ手すき和紙、その素朴で美しく、強靱な出雲和紙を中心に紙に関する貴重な資料、交友のあった民芸作家一棟方志功、河井寛次郎、バーナード・リーチ、浜田庄司等の作品・民芸・美術工芸品を展示しています。

手漉き和紙伝習所では、紙すき体験で、ハガキやメッセージカード、卒業証書などオリジナルペーパーが作れます。

### 【入館料】

( ) 内は20名以上の団体料金。  
大人：500円 (400円)、大高生：300円 (250円)、中小生：200円 (150円)

【身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び同伴者の方】  
大人：400円、大高生：250円、中小生：150円

### 【紙すき体験料】

500円 (ハガキ2枚またはA4判1枚) その他追加も可能。(証書はA3サイズで1枚800円。)  
※紙すき体験は予約が必要です。



ジャンル	コンテンツ	<h1>鍛冶工房弘光</h1>
鍛造鉄器	見学	

**所在地** 〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部1 168-8  
**連絡先** TEL: 0854-36-0026  
 FAX: 0854-36-0037

**営業時間** 9:00~17:00

**定休日** 不定休

**HP** <https://kaji-hiromitsu.com/>



## 紹介

雲州弘光 現「鍛冶工房 弘光」は江戸時代のたたら操業からはじまり打刃物、小農器具、生活用具そして刀剣鍛錬の鍛冶業を受け継ぐ一方玉鋼、和鉄、鉄による工芸品の制作に取り組み出雲の鉄文明・技術を現代に継承しています。

日本刀鍛錬の技を生かした日本古来のあかり器具と暮らしに美と用のしつらえを提案する弘光ならではの創作鍛造工芸をどうぞご覧ください。

\* 工房見学は要問い合わせ。





ジャンル	コンテンツ	広瀬絣センター
染物	体験	
<b>所在地</b>	〒692-0402 島根県安来市広瀬町町帳775-1	
<b>連絡先</b>	TEL: 0854-32-2575 FAX: 0854-32-2575	
<b>営業時間</b>	10:00~17:00	
<b>定休日</b>	水曜日、年末年始	
<b>HP</b>	<a href="https://yasugi-kankou.com/see/621/">https://yasugi-kankou.com/see/621/</a>	

## 紹介

広瀬絣伝習所、物産コーナー、食事処で構成され、広瀬絣の伝統を知ることができます。

### 【広瀬絣伝習所】

県内外の人達にも門戸を開いて伝習を受けることが出来、作業工程を自分の目で確かめるには絶好の場所です。

### 城下町広瀬に伝承される染めと織り

広瀬絣の始まりは、文政7年に町医長岡謙祥の妻女であった長岡貞子が伯耆国米子町から絣の染織を伝授され帰郷し、町内の女性たちに伝え広めたのが、始まりとされています。それまでの衣服は一般には麻で有り、この絣り文様と肌ざわりは広瀬の女性たちに、絣の技術を受け入れるに十分な魅力を持っていました。

広瀬絣は大柄の絵文様を得意とした正藍染・手織の木綿の織物で、精巧な絵模様や幾何文様を組み合わせ、くっきりと浮かびあがるように織り上げてあり、洗うほどに風合いを増します。

### 【藍染体験】

40cm四方のハンカチに思い思いの模様を思い浮かべながら輪ゴムで絞り、藍で染めていく体験ができます。

料金：800円～(要予約)



ジャンル	コンテンツ	<h1>ごとう絣店</h1>
染物	-	

**所在地** 〒684-0043 鳥取県米子市彦名町4261-1  
**連絡先** TEL: 0859-21-9063  
 FAX: 0859-21-6893

**営業時間** 11:00~17:00

**定休日** 木曜日

**HP** <https://www.pref.tottori.lg.jp/39553.htm>



## 紹介

冬はあたたかく、夏はさわやかで優しい肌触りです。鳥取県西部の弓ヶ浜地方に伝わる工芸品・弓浜絣の織元です。およそ250年前から織り続けられた弓浜絣の伝統を引き継ぎながら、新しい感覚を盛り込んで生まれた作品に出会えます。

弓浜絣は鶴亀や花鳥、山木が織柄となっていることが特徴で、品のある奥深さを感じさせます。国認定の伝統工芸士によって織られた反物は、着物や作務衣、のれん、座布団など様々な製品に。冬は暖かく、夏は吸湿性がある優しい肌触りの「弓浜絣」一度手に入れてみては？





ジャンル	コンテンツ	<h1>湯町窯</h1>
窯元	体験	

**所在地** 〒699-0202 島根県松江市玉湯町965  
**連絡先** TEL: 0852-62-0726  
 FAX: 0852-62-2863

**営業時間** 8:00~17:00  
 9:00~17:00 (土日祝)

**定休日** 年末年始、お盆

**HP** <https://www.kankou-shimane.com/pickup/8706.html>



## 紹介

江戸中期に始まった「布志名焼」の流れを汲む窯元で、民藝運動に共鳴し、日々の暮らしに使いやすい器を作っています。現在は3代目の福間琇土さんを中心に、息子の庸介さんも陶工として活躍しています。窯を訪ねるといつも、福間さんがニコニコ登場し、「まあまあ、ゆっくりして行ってね」とお抹茶を出してくれたり、時にはエッグベーカーで温めた卵が出てきたり。湯町窯の器は、リーチの影響も大きいのか、ヨーロッパ的なデザインでもあり、メキシコなど南米っぽい雰囲気もある、独特の作風に魅力があります。



ジャンル	コンテンツ	<h1>いまみや工房</h1>
窯元	体験	
<b>所在地</b>	〒669-0107 島根県松江市東出雲町大字今宮320	
<b>連絡先</b>	TEL: 0852-52-2928 FAX: 0852-22-2394	
<b>営業時間</b>	10:00~16:30	
<b>定休日</b>	水・木曜日	
<b>HP</b>	<a href="http://kimachikun.blog113.fc2.com/">http://kimachikun.blog113.fc2.com/</a>	



## 紹介

出雲国引き神話の舞台、意宇の郡（おうのこおり）。築100年の工房で野のうつわ作りに精を出す。楽しいうつわに体験、教室、ピザ窯カフェ。作るも見るも美味しい時間もまた楽し。

- 手びねりコース
- 電動ろくろコース
- 時計作りコース
- 大物コース

エプロン持参をお願いします。簡易的なエプロンは4つおいてあります。「爪」が長いと作りづらくなりますのでできれば切ってあるほうがよいです。

※予約が必要です（手が空いているときは飛び込み体験OK!）  
遠方からお見えで、車がない方は送迎も可能です。

定休日の陶芸体験は応相談  
（制作時間は、1時間~2時間程度ですので15:00には来房お願いします）

【追加料金】  
複数作品作製時・1個につき400円程度  
定員 25名程度  
（人数によってテーブルやろくろが変わったりしますのでご相談ください）



【仕上がり時期】  
おおむね1ヶ月~1ヶ月半

【おまけプラン】  
陶芸体験とセットで平日でもカフェ、ピザランチ楽しんでいただけます。





ジャンル	コンテンツ	<h1>法勝寺焼皆生窯</h1>
窯元	体験	

**所在地** 〒683-0001 鳥取県米子市皆生温泉2-19-52  
**連絡先** TEL: 0859-33-2826  
 FAX: 0859-33-2842

**営業時間** 9:00~17:00

**定休日** 不定休

**HP** <http://www.yonago-navi.jp/yonago/kaike/experience-culture/hosshojiyaki-kaikagama/>



## 紹介

江戸時代、1961年から皆生温泉に受け継がれている焼き物「法勝寺焼」の窯元です。皆生海岸の白い砂、日野川の砂鉄、地元・米子の赤土……この地の恵みを原材料とし、粘土や釉薬に混ぜ込んで焼き上げる素朴な器の数々。温かみのある、上品な風合いを感じられます。そっと手に取ればしっかりと手のひらに馴染み、普段の暮らしの中でいつでも側に置いて愛用したくなる魅力があります。ご家族、ご友人、恋人など、大切な方へのお土産にも喜ばれます。

【体験】  
 要予約 粘土1.5kg、所要時間約2時間 3,500円～ 30名まで



ジャンル	コンテンツ	<h1>大山焼久古窯</h1>
窯元	体験	

**所在地** 〒659-4105 鳥取県伯耆町久古1401  
**連絡先** TEL: 0859-68-2098  
 FAX: 0859-68-2098

**営業時間** 9:00~17:00

**定休日** 不定休

**HP** <https://kugogama.wordpress.com/>



## 紹介

大正時代に途絶えた大山焼を再興し、昭和45年開窯。素朴さと現代感覚をそなえた焼き物を製作しています。鉄釉を主に使用し、金属色の光沢が変化に富んだ肌合いが特徴の玉鋼曜天目をはじめ、青瓷・油滴・均窯・灰釉等を焼いています。

### 【体験内容】

手びねり 電動ロクロ、皿絵付け  
 (お好きなのを、ご予約時にお伝え下さい)

### 【所要時間】

1~2時間程度

### 【予約】

前日までにご予約下さい。

### 【料金】

お一人様 土500g ¥2500 (お茶碗、コップ一個分) 土1kg ¥3000  
 (作品を配達希望の方は、別途送料がかかります。)

### 【焼き上がりまで】

1ヶ月~2ヶ月





ジャンル	コンテンツ	<h1>足立美術館</h1>
展示	-	

**所在地** 〒692-0064 島根県安来市古川町320  
**連絡先** TEL: 0854-28-7111  
 FAX: 0854-28-6733

**営業時間** 夏 季 4月-9月 9:00-17:30  
 冬 季 10月-3月 9:00-17:00

**定休日** なし 新館のみ休館日あり（不定）

**HP** <https://www.adachi-museum.or.jp/>



## 紹介

足立美術館は、横山大観をはじめとする近代日本画を中心に総数約1500点を所蔵しているほか、5万坪の日本庭園は、米国の日本庭園専門誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」による庭園ランキングで、17年連続日本一に選ばれました。

【新館休館日】※新館のみ、展示替えのため休館日あり  
 2020年4月8日 6月16日 9月3日～10日 10月26日～30日 11月24日～25日

【駐車場】  
 無 料 大型バス 40 台 普通車 400 台収容

【車いす・ベビーカー】  
 受付で、車いす 6 台・ベビーカー 2 台の貸出をしております。予約はできません。

本館・新館に、各々、多目的トイレがあります。  
 駐車場には、身障者専用駐車スペース（8台）をご用意しております。

【入館料】  
 平成26年4月1日改訂（税込）  
 個人、団体、（20名以上）団体、（100名以上）  
 大 人 2,300円 1,900円 1,700円  
 大学生 1,800円 1,500円 1,300円  
 高校生 1,000円 800円 700円  
 小中生 500円 400円 300円

※ 各種クレジットカード、iDをご利用になれます。  
 ※ 本料金で日本庭園や本館・魯山人館・新館で開催中の展覧会など、すべてをご覧いただけます。



ジャンル	コンテンツ	<h1>旭日酒造有限公司</h1>
日本酒	-	
<b>所在地</b>	〒693-0001 島根県出雲市今市町662	
<b>連絡先</b>	TEL: 0853-21-0039 FAX: 0853-21-3216	
<b>営業時間</b>	10:00~17:30	
<b>定休日</b>	日曜祝日 (土曜不定休)	
<b>HP</b>	<a href="http://jujasahi.co.jp/">http://jujasahi.co.jp/</a>	



## 紹介

### 【旭日酒造 蔵元・直売所】

蔵元に隣接する直売所では、代表銘柄・十旭日を中心に、旭日酒造の製造しているお酒が多数ご覧いただけます。(一部限定品を除く)

また、お酒の楽しみ方を提案するコーナーも用意しておりますので、ぜひ試飲をしながらお気に入りの一本をお探しください。

### 【駐車場】

近隣に2台あり(正面に1台、西側に1台)





ジャンル	コンテンツ	<b>國暉酒造株式会社</b>
日本酒	-	

**所在地** 〒690-0844 島根県松江市東茶町8  
**連絡先** TEL: 0852-25-0123  
 FAX: 0852-25-0124  
**営業時間** 8:00~18:00 10:00~16:00 (日祝)  
**定休日** 不定休  
**HP** <http://www.kokki.jp/>



### 紹介

厳冬の季節に宍道湖からの清冽な風を取り入れ出雲杜氏たちが自然と生命を敬い精魂を傾けて醸した本格的な手造りの地酒。松江藩より譲り受けた数百年の大梁の下、造り続けられた酒の系譜の結晶がここにあります。

【蔵しっく館 國暉】  
 「町屋造りの家屋」は、文化二年（1805年）に建て直されたもので、江戸時代の風情が漂い、現在も生きつく建物として、松江においても数少ないものの一つとなっております。



ジャンル	コンテンツ	<h1>千代むすび酒造株式会社</h1>
日本酒	-	

**所在地** 〒684-0004 鳥取県境港市大正町131

**連絡先** TEL: 0859-42-3191

FAX: 0859-42-3515

**営業時間** 9時～17時

**定休日** なし

**HP** <http://www.chiyomusubi.co.jp/>



## 紹介

慶応元年創業 慶びの志を結ぶ 千代むすび は伝統の技と「本物」を醸す心を大切に、「安心」「健康」な美味しい酒造りを通じ、お客様との「環」をもっと豊かにむすびたいと一心を込め日々研鑽に努めております。千代むすびのお酒を皆様の素敵な人生にぜひお役立てください。

### 【酒造見学】

実際に蔵の中に入って酒造りの工程をご説明致します。

冬期には熱心に酒造りへ取り組む蔵人たちの姿を間近でご覧頂けます。

■お一人様から、小グループのお客様、団体のお客様まで歓迎致します。

■10名様までを1組にして20分くらいかけて蔵のご案内をします。

■数グループある場合、5分程度、時間をずらして行ないます。

※蔵見学当日は、納豆とヨーグルトを食することはご遠慮くださいませ。

※未成年者・お車の運転をされる方は試飲は出来ません。

※団体様は事前のご予約をお願い致します。





ジャンル	コンテンツ	<h1>久米桜酒造</h1>
日本酒	0	

**所在地** 〒689-4108 鳥取県西伯郡伯耆町丸山1740-30  
**連絡先** TEL: 0859-68-5570  
 FAX: 0859-39-8034

**営業時間** -

**定休日** -

**HP** <http://g-beer.jp/kumezakura/>



## 紹介

大山の麓に位置する山陰屈指の名蔵元  
 仕込みには大山の伏流水「地蔵滝の泉」を使用

久米桜酒造は 安政3年（1856年）に創業した鳥取県屈指の名蔵元です。昭和60年、醸造場を今の大山山麓に移転。まさに大山の懐に抱かれた環境の中、昔ながらの酒造りを受け継いでいます。大山山麓の、伯耆町丸山地区。おいしい米・水のある絶好のロケーションに、「久米桜酒造・大山醸造場」は位置しています。

大山醸造場が日本酒造りに使っている水は、醸造場近くの「地蔵滝の泉」。大山有数の大規模な湧水ポイントで、「鳥取県の名水100選」にも選ばれている大変きれいな水なのです。

また、醸造場近くの「大原千町(おおはらせんちょう)」と呼ばれる水田地帯は、銘柄米の産地となっています。大自然の中にある醸造所は澄んだ空気にもあふれ、良質なお酒を醸造する条件が揃っています。

同じ敷地の隣には、1からの手作りが売りの地ビール、その名も「大山Gビール」のレストラン「ピアホフ ガンバリウス」もございます！  
 おいしい地ビールに地元食材を豊富に使った料理が自慢。酒蔵見学をした後、お昼はぜひコチラでどうぞ！！

大山醸造場見学※予約制

【最低人数】1名様から

試飲もできます。お酒を造る工程や、日本酒製造の秘話など、貴重なお話を聞くことができます。



ジャンル	コンテンツ	<h1>島根ワイナリー</h1>
ワイン	-	

**所在地** 〒699-0733 島根県出雲市大社町菱根264-2  
**連絡先** TEL: 0853-53-5577  
 FAX: 0853-53-5424

**営業時間** 9:30~17:00 (4~9月 18:00)

**定休日** 無休

**HP** <https://www.shimane-winery.jp/>



フォーマルバージョンだりん!      カジュアルバージョンだりん!

## 紹介

見て、遊んで、味わって。五感が飲むワイナリー  
 ~島根ワイナリーは出雲大社からすぐのランチ&おみやげスポット~

無料でワインの製造工程を見学できるワイン醸造館  
 ぶどう・ワインを貯蔵する屋外・屋内タンクや仕込作業および瓶詰作業ライン関係の各新鋭機械・設備が  
 整った工場内で、ワインの製造工程を見学することができます。

入場料無料



#### (4) 結果

外国人専門家から、各地域資源について以下のとおり意見が得られた。

地域資源	場所	施設名	外国人専門家のご意見	課題など
和紙	松江市	安部栄四郎記念館	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 紙を使って何かを作るのは興味をもつ</li> <li>■ 和紙は書き心地がいいと認識されている</li> <li>■ 海外の人が知っているものを作るのがいい</li> <li>■ 和紙を作る体験より、折り紙体験の方が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 資源の価値や魅力について十分な説明をする必要がある</li> </ul>
鍛造鉄器	安来市	鍛冶工房弘光	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 鉄で作られた作品には興味をもつと思う</li> <li>■ 南部鉄器はフランスでは飾り用のお土産として急須が人気である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 資源の価値や魅力について十分な説明をする必要がある</li> </ul>
染物	安来市	広瀬絣センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 絣より藍染と言われるとわかる。織るのは時間がかかるので、短時間の体験のみしかできない可能性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 資源の価値や魅力について十分な説明をする必要がある</li> <li>■ 絣についての情報発信が必要である</li> <li>■ 藍染と織りの両方を体験する場合は、スムーズにできる仕組みが必要である</li> </ul>
	米子市	ごとう絣店	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自分が作ったものを持って帰れて、お土産になるのがいい</li> <li>■ 絣の着物を着るのは興味がないことはないが、着物を着るというよりは見る方が好き</li> <li>■ 駅からのアクセスも良くて小物も買えるなら、お客はくると思う</li> </ul>	
窯元	松江市	湯町窯	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 個人のお客様は、体験より買い物の方に興味を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 文化を知ってもらうきっかけが必要である</li> <li>■ 体験で作ったものを配送することは課題である</li> </ul>
	松江市	いまみや工房	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 絵付け体験のみで外国人観光客を誘客するのは難しい</li> </ul>	
	米子市	法勝寺焼皆生窯	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロセス、歴史を語ってくれるガイドや案内パンフレットなどがあると感動する</li> </ul>	
	大山エリア	大山焼久古窯	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 陶器の特徴を説明した方がいい</li> <li>■ 陶器より地元の人と触れ合う体験をできることもいい</li> <li>■ 旅行会社とのガイドに説明をきくより、地元の人とコミュニケーションがとれるといい</li> <li>■ 団体旅行では、体験費用にあまりお金をかけない</li> </ul>	
展示	安来市	足立美術館	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 足立美術館は既に人気がある</li> </ul>	



地域資源	場所	施設名	外国人専門家のご意見	課題など
お酒	出雲市	旭日酒造 有限会社	■ お酒を求めてくる外国人観光客は多い	■ 試飲は資源の魅力になると考えられるが、レンタカーで訪問される方は試飲をすることができない
	松江市	國暉酒造 株式会社	■ パッケージが半日でも誘客はできると思う	
	境港市	千代むすび酒 造株式会社	■ 酒蔵は、ひとつのパッケージにひとつでいい	
	伯耆町	久米桜酒造	■ 酒造は体験というより、見学して試飲ができるといい	
	出雲市	島根ワイナリー	■ 食後にバー感覚で酒蔵にいけるといい ■ 見学して試飲ができるのはいい	

## (5) 調査結果のまとめ

調査結果から、地域資源の魅力を訪日外国人へ知らせていくための概要を以下にまとめた。

- 窯元や染め物などは外国人からの認知度が低いため、きちんと内容が伝わるように受入環境を整備したり、ガイドを付けたコンテンツを造成する必要がある。
- お酒は外国人にも興味を持ってもらえるが、製造の見学や試飲が求められる。その際、地域内の酒蔵を巡る移動手段は試飲しても問題ない方法を検討する必要がある。
- 地域の文化を知ってもらうためにガイドは重要であるが、関係者も少しはコミュニケーションが取れることが望ましい。



### 3.コンテンツ造成検討会の実施

地域資源に関する調査において把握した内容の地域への共有、コンテンツ企画開発の方針や実施内容の確認、企画開発したコンテンツに関する次年度以降の販売に向けた体制整備等を目的として、令和2年8月から令和3年3月までの間に3回の検討会を開催した。

なお、令和2年は新型コロナ禍の影響で対面での検討会開催が困難な状況もあり、第3回検討会はオンラインでの開催となった。また、ワークショップを検討会と一体化して体験コンテンツの関係者も参加してもらい、コンテンツ造成に対するコメントを受ける形とした。

#### <コンテンツ検討会の実施内容>

	日 時	場 所	内 容	備 考
第1回	令和2年8月6日(木) 13:30~15:30	松江市内会 議室	1. 出雲・大山圏域コンテンツ造成検討会の目的とスケジュール 2. 地域資源とコンテンツ概要(案) 3. コンテンツ企画開発実施計画書(案) 4. その他	
第2回	令和2年12月7日(月) 13:30~15:00	松江市内会 議室	1. 造成予定のコンテンツについて 2. 今後のスケジュール (1) ガイドさんの留学生シミュレーション (2) ファム・トリップ (3) 質疑応答	
第3回	令和3年3月12日(金) 13:30~15:00	オンライン 会議	1. 新型コロナ禍によるプロジェクトの変更について 2. 出雲大山コンテンツに対する旅行会社との意見交換会の報告 3. 販売体制案の提案 (1) 販売体制案の提案 (2) コンテンツの販売に向けて 4. コンテンツに関する今後の課題 5. 体験コンテンツ関係者からのコメント	第3回ワークショップも同時開催

### 3-1 第1回検討会

#### (1) 参加者

	地域	所属	名前
和紙	松江市	安部榮四郎記念館	安部 己凶枝
鍛造鉄器	安来市	鍛冶工房弘光	小藤 宗相
染物	安来市	広瀬絋センター	伊藤 浩二
窯元	松江市	いまみや工房	三島 耕二
	米子市	法勝寺焼皆生窯	安藤 釉三
	大山エリア	大山焼久古窯	鈴木 治道
展示	安来市	足立美術館	小澤 順
日本酒	出雲市	旭日酒造有限会社	寺田 栄里子
	松江市	國暉酒造株式会社	岩橋 弘樹
	伯耆町	久米桜酒造有限会社	田村 源太郎
ワイン	出雲市	島根ワイナリー	川上 誠
自治体	安来市	安来市商工観光課	加藤 直子
	米子市	米子市観光課	桑本 大輔
	境港市	境港市観光振興課	立花 順平
	松江市	松江市国際観光課	森山 淳
	出雲市	出雲市観光課インバウンド推進室	岸 正樹
観光協会	—	中海・宍道湖観光協会会議	石倉 准次郎
ガイド	—	一般社団法人 EXPE「おせわさんセンター」	ロバートソン 江美
	—	一般社団法人 EXPE「おせわさんセンター」	広瀬 徹
	—	一般社団法人 EXPE「おせわさんセンター」	湯町 淳子
外国人	—	ジャパントラベル株式会社	ジョイ ワルシュ
事務局	—	国土交通省中国運輸局	倉迫 なつみ
	—	国土交通省中国運輸局	平井 理菜子
	—	中海・宍道湖・大山圏域観光局	宇津宮 崇
	—	株式会社ケーシーエス	松本 好史
	—	株式会社ケーシーエス	成沢 純

## (2) 議事概要

項目	主な意見等
出雲・大山圏域コンテンツ造成検討会の目的とスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 検討会の目的とスケジュールに関して了承を得た。</li> </ul>
地域資源とコンテンツ概要（案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 島根の日本酒発祥の地という話を活かして、全国の中でのコンテンツの位置づけを考えてほしい。（国輝酒造）</li> <li>● 酒造りは冬期に忙しいなど、季節で酒蔵の状況が大きく異なるため、コンテンツへの関わり方に悩む。（旭日酒造）</li> <li>● 山陰の窯元は個人対応しているところが多く、多忙な時期が多いのでその期間はコンテンツ対応が難しいと感じる。しかし、新しい取り組みを考えていく機会を頂けることは非常にありがたい。（いまみや工房）</li> <li>● 多様な業種の集まりで酒と餅等とのセッティングなど、そういった新しく開発した商品を提供できるのではないかと期待する。（いまみや工房）</li> <li>● 海外の方にコロナが落ち着いたら直接足を運んでほしいという思いはあるが、オンライン、オフラインをうまく利用できるようになれば他地域のコンテンツとの差別化につながる。（鍛冶工房弘光）</li> <li>● 安部榮四郎記念館で和紙をただ見て漉いて1時間少々に帰るといったものではなく、和紙で何かを作ったり、製品にしたりと少人数でゆっくりと日本の良さを知って頂きたいと思っている。（安部榮四郎記念館）</li> </ul>
専門家の話の要点（ジャパントラベル）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ おそらく島根と鳥取は、在日外国人や一般の外国人に、あまり認知されていない。現在のコロナの状況を良いタイミングとして生かし、毎日少しずつでもフェイスブックやインスタグラムなどに写真や英語による説明を出していければ、来年のツアーの販売にいい影響を与えると思う。</li> <li>◆ このエリアにはアピールする魅力はあるが認知度が弱いため、これからのブランディングの取組みが課題と言える。</li> <li>◆ 現在観光業はコロナの影響で大変な時期。東京など密な場所は好まれない、田舎の広い場所のほうが良い。将来的にもっともっと大勢の人がこの地域に訪れてほしい。</li> </ul>
コンテンツ企画開発実施計画書（案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 過去のコンテンツは各市の中での『つながり』が中心であったが、今回のコンテンツでは市域を超えての『つながり』が必要であると考え。コンテンツに『つながり』を作る中で移動手段や時間をどのようにするかということワークショップで意見を頂き検討していきながら商品化ができればよい。（観光局）</li> <li>● 商品を作ることに加えて、商品を誰が売するのかといった検討が必要である。（松江市）</li> </ul>

### 【第1回検討会のまとめ】

- ① 出雲・大山エリアが持つ特性を活かしつつ、手仕事の魅力や本業の状況を踏まえながらコンテンツ造成を進める。
- ② コロナ禍を踏まえてオンラインコンテンツ造成への取組みも検討する。
- ③ 地域内の多様な『つながり』を活かしたコンテンツ造成を検討する。
- ④ コンテンツの販売体制を並行して検討する。
- ⑤ なお、地域の認知度を上げていくために SNS などによる情報発信をすることが望ましい。

## 3-2 第2回検討会

### (1) 参加者

	地域	所属	名前
自治体	米子市	米子市観光課	桑本 大輔
	境港市	境港市観光振興課	宮本 慎吾
	松江市	松江市国際観光課	森山 淳
観光協会	—	中海・宍道湖観光協会会議	石倉 准次郎
事務局	—	国土交通省中国運輸局	倉迫 なつみ
	—	中海・宍道湖・大山圏域観光局	矢野 正紀
	—	中海・宍道湖・大山圏域観光局	宇津宮 崇
	—	株式会社ケーシーエス	松本 好史
	—	株式会社ケーシーエス	成沢 純

## (2) 議事概要

項目	主な意見等
造成予定のコンテンツについて	● 造成予定のコンテンツは地域の方々に多々ご協力いただいているため、コンテンツを「作って終わり」にすべきではない。FIT 旅行者にも販売ができるようしっかりと販売体制を整えるべき。
今後のスケジュール	
ガイドさんの留学生シミュレーション	● ガイドさんの留学生シミュレーションの内容に関して了承を得た。
ファム・トリップ	● ファム・トリップの内容に関して了承を得た。
質疑応答	● コロナの影響でインバウンドが期待できない状況であるため、在日外国人へも販売を検討すべき。

### 【第2回検討会のまとめ】

- ① コンテンツの概要としては了承を得たが、販売体制に関しても検討を行う。
- ② 具体的に販売体制としては、地域ガイドである「おせわさんセンター」へ協力依頼を予定する。ただし、昨年度設立した組織であるため現状海外への販売チャンネルを持っておらず、ジャパントラベル等の旅行会社からの販売が出来るよう調整を行う。
- ③ 訪日外国人旅行者を主に予定しているが、在日外国人向けの販売も視野に入れて販売体制の検討を行う。

### 3-3 第3回検討会

#### (1) 参加者

	地域	所属	名前
染物	米子市	弓浜絊工房 B	佛坂 香奈子
窯元	大山エリア	大山焼久古窯	鈴木 治道
展示	安来市	足立美術館	小澤 順
日本酒	出雲市	旭日酒造有限公司	寺田 栄里子
自治体	安来市	安来市商工観光課	加藤 直子
	米子市	米子市観光課	桑本 大輔
	境港市	境港市観光振興課	宮本 慎吾
	松江市	松江市国際観光課	森山 淳
	出雲市	出雲市観光課インバウンド推進室	岸 正樹
観光協会	—	中海・宍道湖観光協会会議	石倉 准次郎
ガイド	—	一般社団法人 EXPE「おせわさんセンター」	広瀬 徹
外国人 旅行会社	—	ジャパントラベル株式会社	コラ オスピ
	—	ジャパントラベル株式会社	牛尾 晃汰
オブザー バー	—	山陰インバウンド機構	米村 康幸
	—	観光庁 観光地域振興部	山田 大貴
事務局	—	国土交通省中国運輸局	倉迫 なつみ
	—	国土交通省中国運輸局	平井 理菜子
	—	中海・宍道湖・大山圏域観光局	宇津宮 崇
	—	株式会社ケーシーエス	松本 好史

## (2) 議事概要

項目	主な意見等
新型コロナ禍によるプロジェクトの変更について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 変更の内容について理解を得た。</li> </ul>
出雲大山コンテンツに対する旅行会社との意見交換会の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 意見交換会の結果に関して了承を得た。</li> </ul>
販売体制案の提案 (専門家の話の要点)	<p><b>【ジャパントラベル株式会社 牛尾氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 販売方法は2つあり、一つ目として直接旅行者に訴求を行う方法と、オンライン旅行代理店の商品に掲載や、認知して頂く為メディアを利用して広告をうつような方法といった B to C で販売する方法がある。</li> <li>◆ もう一つは B to B。タイ、イギリス、アメリカ、フランスにオフィスを持っている旅行代理店の方々も観光商品を扱っている為、その方々にどのように取り扱っていただくかという営業方法である。ここで最も利用できるのは、海外博への出展というプロモーションである。ドイツで ITB ベルリンという旅行関連で一番大きなイベントがあり、そちらに出展しエージェントと繋がって実際にコンテンツを体験して頂くという方法がある。</li> <li>◆ 今後販売方法の選択の必要がありこの点が中途半端になると成り立たなくなってしまう。とてもシンプルだが、多くの自治体が抱えている問題といえる。それをクリアできれば販売までのステップができていくのではないかと。</li> </ul> <p><b>【ジャパントラベル株式会社 コラ氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ B to B のプロモーションに関して、海外エージェントを通じて観光客に宣伝を行って頂く為、エリアの情報をエージェントにシェアすることも大事である。ただ、観光客からのフィードバックも重要になり、エージェントとも目線が異なってくる。</li> <li>◆ 受け入れる地域の人々と、外国人の想定するニーズは差異がある為、把握できなければ価値がなくなってしまう。</li> </ul>
コンテンツに関する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンテンツ造成事業としては終わりになるが、地域としては造成したコンテンツを誰がハンドルをもって今後動かしていくのかを明確にすべき。(松江市)</li> </ul>
体験コンテンツ関係者からのコメント	<p><b>【弓浜耕工房 B 佛坂氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● タイミングとしては商品のオンライン販売を考えている時だった。コンテンツ自体が商品になるという発想はなかったのがよい機会になった。境港市はクルーズ船がきており、工房への旅行客も増えている中のコロナだったため、オンラインでそれができるとなると幅が広がっていきえるように思える。</li> </ul> <p><b>【大山焼久古窯 鈴木氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大山焼としては 10 年以上前から国内旅行者向けに陶芸体験を行ってきた。小さく個人経営なので、受け入れは少なくなってしまう。ただ、鳥取県庁から依頼があり、台湾や香港の旅行者がいらっしやっていた。だがコロナの影響でこの 1 年ほとんど体験は行われなかった。体験が可能になれば、見るとやるでは違う所や、ものづくりの良さを分かって頂けるのではないかと。</li> </ul>



項目	主な意見等
	<p><b>【足立美術館 小澤氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平素からF I Tの観光客も受け入れていた。今回のコンテンツ造成にファミ・トリップなど特別な事をできれば良かったが、それが出来なかったのが残念だと感じた。</li> </ul> <p><b>【旭日酒造 寺田氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 当社としてはお酒の作り方だけではなく、味に触れていただいたり、温度の変化や、料理と併せる事によって様々な表情を見せる事ができると感じている。その上で陶芸美術品を器で利用されるという事は印象に残ると感じる。酒蔵としてできる事をしながらエリアとしての魅力も伝えられるよう、酒造りのタイミングに合せながらアピールが出来たらよいと思っている。</li> </ul> <p><b>【一般社団法人 EXPE「おせわさんセンター」 広瀬氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ガイドの派遣で依頼を受けた。島根県松江市を中心に、様々な観光体験コンテンツを造成して、プラットフォームを作って販売を行っている。ツアーそれぞれのコンテンツを紹介して頂き連携させて頂いている中で、現地では有名な作り手ばかり。細かい話を聞き、より魅力的なコンテンツであると認識することができた。ガイドとしてコンテンツをつないで、ストーリー性をもってガイドが説明をしていく。移動についても飽きさせないよう工夫が必要。意見交換会の際にコメントがあった、1時間の体験の中で飽きてしまう恐れがあるという点について、実際1時間の行程を行ったうえで改善をしていけるようにクオリティの向上に努めたい。山陰地方は移動手段が非常に不便であり苦慮している。コスト面も考慮しながらコンテンツを上手く結び付けていきたい。</li> </ul>

**【第3回検討会のまとめ】**

- ① 今回造成された6つのコンテンツについて、旅行客のニーズを考慮しつつ、地元の売りたいものの魅力を伝えられるように更にブラッシュアップ及び連携を進められるように、DMOが中心となり、観光協会、コンテンツの関係者と共に協議を行いながら進めていく。
- ② コンテンツのうち、販売体制が整うものから早期販売をしつつ、改善を重ねていく。

## 4.コンテンツの企画開発・販売体制整備

### 4-1 コンテンツ開発実施計画書

当初、実施計画は第1回検討会にて案を議論したが、検討会において参加者から出た意見を受け、実施計画案の再構築が必要だと判断し、事務局で検討した結果、個々のコンテンツの『つながり』に着目してコンテンツ造成に取り組むこととして方針を定めた。

また、方針の再検討の際には、地域資源関係者の本業とのバランスや協力体制などを鑑み、コンテンツに組み込む地域資源についても再検討することとした。

コンテンツ造成の進め方として、観光コンテンツ造成に意欲的な地域資源関係者を中心に検討することとしたが、限られた時間で十分なワークショップとならない可能性が高いため、個別検討の時間を確保することで進めていくこととした。

以上のことから、コンテンツの企画開発に対しては、以下の考え方、進め方をもとに検討を行うことを実施計画とした。

#### (1) コンテンツ作りの基本的な考え方

コンテンツ作りは、「観光コンテンツ造成に意欲的な方」が中心となって、『つながる』という考えのもと取り組むこととした。

- 和紙、緋、鍛冶、窯元、酒蔵など、出雲大山エリアで手仕事をしている方々が、コロナ渦を克服して楽しく稼げる観光商品をつくる
- 当たり前のように存在していた地域資源に磨きをかけ、観光で訪れた人々が出雲・大山エリアでしかできない『おもてなし』『体験』を通して手仕事文化をきちんと体験できる場所をつくる

## コンテンツ開発 の考え方

- 対象エリアは、国引き神話、出雲大社の縁結び、民藝運動による文化融合など、モノやヒトが結ばれる伝統がある地域です。
- 「伝統的なモノづくりと食に関するコンテンツ」は、地域の文化やモノ、ヒトが“つながる”ことをめざします。

**エリアに息づく民藝文化とつなげる**

和紙や陶芸など、民藝運動のときに影響を受けて今に残るモノづくり文化を、ゆっくりと時間をかけた体験を通して旅行者に「おもてなし」と「体験」を提供します。

**エリアに存在する神々とつなげる**

神話の国であるエリアにある、神々のゆかりとモノづくり文化を結びつけることで「出雲・大山エリア」らしいコンテンツの物語を提供できる「おもてなし」と「体験」を提供します。

**モノづくりと酒造りとを“食”でつなげる**

酒蔵が作る酒を、職人が作る器で頂く。出雲・大山エリアで楽しめる“食”を通した“結びつけ”で「おもてなし」と「体験」を提供します。

**エリアに分布する酒文化で県間をつなげる**

出雲・大山エリアは、日本酒発祥の地と言われ、エリアの中に酒蔵が数多く存在します。「松江の酒を大山の器で楽しむ」、そんな鳥取・島根間をつなげるコンテンツをめざします。

**エリアの職人・酒蔵と旅行者をつなげる**

和紙や陶器、酒などの作品だけが「出雲・大山エリア」の魅力ではありません。職人や酒蔵の人々と旅行者の交流も魅力となるようなつながりをつくるためのコンテンツをめざします。

# 伝統的なモノづくりと食に関するコンテンツとして



## (2) コンテンツ開発の関係者

コンテンツ開発の関係者は、下図に示す15の地域資源関係者としてはじめた。

ただし、検討を進めていく中で取組が困難となり、最後までコンテンツ造成に関わった方は9の地域資源関係者であった。

- 神々が集まる、むすぶ、国をつくる・・・神話の国
- 地域に息づく伝統、文化、交流、職人・・・ものづくり文化



# 対象エリアと地域資源

1. 安部榮四郎記念館
2. 鍛冶工房弘光
3. 広瀬紘センター
4. ごとう紘店
5. 湯町窯
6. いまみや工房
7. 法勝寺焼皆生窯
8. 大山焼久古窯
9. 足立美術館
10. 出雲文化伝承館
11. 旭日酒造
12. 國暉酒造
13. 千代むすび酒造
14. 久米桜酒造
15. 島根ワイナリー





## 地域資源の概要①

### 安部榮四郎記念館

**体験内容①**  
紙漉き体験（はがき、A4判、A3判証書）+少人数の場合は出雲民藝紙の特別な技法で出雲雲紙・水玉紙などできる。出来た和紙で、和紙トレーや竹筒つむわり。

所要時間 60~90分      受入人数 1~30名

**体験内容②**  
出雲民藝紙を基初から作る体験プログラム。三松原料の栽培に係る人を募集し、1年を通して自然とともにある手漉き和紙制作に慣れていただくメニュー。

所要時間 年間通して1つのプログラムに1~2日くらい      受入人数 各5名までに1~2日くらい

### 鍛冶工房弘光

**体験内容①**  
「鉄の燗台製法製作体験」  
鉄の燗台をつくるメニュー

所要時間 90分      受入人数 3人



### 広瀬紺センター

**体験内容①**  
「藍染体験」  
軸ゴムで絞りをして藍で染める。  
カーゼハンカチ 1枚800円

所要時間 1時間      受入人数 6名まで



### ごとう紺店

**体験内容①**  
「苧浜紺の織体験」  
250年前から織り続けられた伝統を引き継ぎ、新しい感覚を盛り込んだ工芸品「苧浜紺」が、手織りにこだわる理由を聴いて体験していただく。

所要時間 1人当たり30~60分      受入人数 10名程度

**体験内容②**  
苧浜紺の材料、白州綿の手紡ぎによる糸づくり

所要時間 1人当たり15~20分      受入人数 10名程度



## 地域資源の概要②

### 湯町窯

**体験内容①**  
「スリッパ工芸体験」  
昭和9年より、イギリスのバーナード・リーチの市道による技法、現在に至る。

所要時間 45分      受入人数 10名

**体験内容②**  
「漆器の仕上げ体験」  
新調は窯の火入れのタイミングによるが、完成した自分のオリジナル湯飲みは白化粧。

所要時間 45分      受入人数 10名

### 法勝寺焼皆生窯

**体験内容①**  
作陶教室  
地元の砂浜や川の砂、砂鉄などを使って作品を作る。でき上がった作品は、約1か月後に発送。

所要時間 約2時間      受入人数 30名まで



### いまみや工房

**体験内容①**  
「手ひねり体験」  
粘土14キロ、お茶碗やマグカップなら2個作れる粘土の量で茶碗、湯のみ、マグカップ、お皿、花入れ、など自由に作陶。

所要時間 2時間      受入人数 1人~20人

**体験内容②**  
「電動ろくろ体験」  
粘土1~5キロ使って電動ろくろで製作。  
茶碗、湯のみ、マグカップ、小さな鉢など成功した作品を2個まで焼成。

所要時間 2時間      受入人数 1人~5人

### 大山焼久古窯

**体験内容①**  
「海苔体験」  
手ひねり、もしくは電動ろくろを体験頂くメニュー

所要時間 1~2時間      受入人数 10名前後（コロナの影響がない場合）



## 地域資源の概要③

### 足立美術館

**体験内容①**  
美術館・足立美術館  
機山大観をはじめとする近代日本画を中心に総数約1500点美術品、5万坪の日本庭園を楽しんで頂く。

所要時間 2~3時間      受入人数 -



### 出雲文化伝承館

**体験内容①**  
「抹茶体験」  
数寄屋建築の「松籟亭（しょうらいてい）」では、季節ごとの部屋飾りを楽しみながら、夏にお抹茶をいただく。

所要時間 -      受入人数 -

**体験内容②**  
「こども和文芸体験」  
茶道、草（こと）、日本舞踊、いけばな等

所要時間 60~90分      受入人数 5~10名

### 旭日酒造株式会社

**体験内容①**  
「試飲体験+味の違い（飲み比べ）」  
温度の違い、料理との相性等

所要時間 30分      受入人数 5~6名

**体験内容②**  
「蔵見学」 ※季節限定  
タイミングによっては作業の体験も可能かも

所要時間 60分      受入人数 2~3名  
5~6名



### 國陣酒造株式会社

**体験内容①**  
蔵見学、試飲販売  
普段使用している設備をご覧いただき、その後試飲をして頂く。

所要時間 30分      受入人数 20名まで



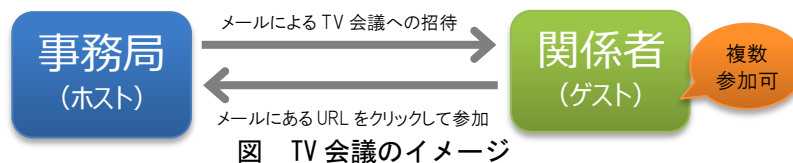
<p><b>千代むすび酒造株式会社</b></p> <p><b>体験内容①</b> 酒造見学～お買い物コース 実際に蔵の中に入って酒造りの工程を説明</p> <p>所要時間 20～30分 受入人数 20名</p> <p><b>体験内容②</b> 酒造見学～日本酒の醸学講座～有料試飲</p> <p>所要時間 60～80分 受入人数 10人</p>	<p><b>久米桜酒造有限会社</b></p> <p><b>体験内容①</b> 大山ブルフリーツアー（薬） 山の伏流水が湧き出る「地蔵湯の泉」や原料である米、大麦やホップ畑など</p> <p>所要時間 120分 受入人数 2～9名</p>	<p><b>地域資源の概要④</b></p> 
	<p><b>島根ワイナリー</b></p> <p><b>体験内容①</b> 工場見学～試飲～食事 ぶどう・ワインを貯蔵する屋外・屋内タンクや仕込作業および瓶詰作業ライン関係の各新鋭機械・設備が整った工場内で、ワインの製造工程を見学。</p> <p>所要時間 約1時間（食事含） 受入人数 食事最大 200名程度</p> 	

※上記関係者の中から、最終的にコンテンツ造成に残った関係者は、安部榮四郎記念館、広瀬絣センター、弓浜絣工房 B（ごとう絣店）、いまみや工房、大山約久古窯、足立美術館、旭日酒造、久米桜酒造、島根ワイナリーである。

### (3) TV会議について

対象エリアが広いこと、コロナ禍の影響などで対面での個別検討が難しいことを受け、オンラインでのウェブ会議システムを活用することとした。

TV会議は、会議関係者の地理的距離や相互の時間的融通への対応が可能で、比較的容易に開催できるメリットがあるため、必要に応じてTVミーティングを開催することでコンテンツのブラッシュアップを図ることが可能である。





#### (4) 開発スケジュール

以下に示すように、3回のワークショップを見据えながら個別検討を行うこととして計画した。

なお、本スケジュール表は、計画時点のものであり、当時は「旅行商品造成のための旅行会社等の招請」を予定しているが、後に新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言の影響を受け、スケジュールの変更を行った。

	検討会	コンテンツ企画開発	旅行会社等の招請
8月	第1回検討会		
9月		第1回ワークショップ 個別検討	
10月		第2回ワークショップ 個別検討	
11月	第2回検討会	個別検討	旅行会社等の招請
12月		個別検討	
1月		第3回ワークショップ 個別検討	
2月	第3回検討会		

## 4-2 ワークショップ等の実施

地域資源に関する調査及び検討会、実施計画書をもとにコンテンツの企画開発をするにあたり、地域資源関係者やガイド候補者等を構成員としたワークショップを以下のとおり開催した。

なお、第3回ワークショップについては、第3回検討会と同時開催とした。

### <ワークショップの実施内容>

	日 時	場 所	内 容	備 考
第1回	令和2年9月8日（火） 14:00～16:30	松江市内会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験プログラム等の再確認</li> <li>・ グループワーキング</li> <li>・ ガイド案内内容について相談</li> </ul>	
第2回	令和2年11月30日（月） 13:30～15:00	松江市内会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジャパントラベルの講演</li> <li>・ コンテンツについて コンテンツの説明（ガイドマニュアル案より） コンテンツのタリフの説明</li> <li>・ ワーキング コンテンツ・タリフの内容について確認</li> <li>・ 今後のスケジュール ガイドさんの留学生シミュレーション</li> <li>・ ファム・トリップ 今後のスケジュールに関する質疑応答</li> </ul>	
第3回	令和3年3月12日（金） 13:30～15:00	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナ禍によるプロジェクトの変更について</li> <li>・ 出雲大山コンテンツに対する旅行会社との意見交換会の報告</li> <li>・ 販売体制案の提案</li> <li>・ コンテンツ販売に向けて</li> <li>・ コンテンツに関する今後の課題</li> <li>・ 体験コンテンツ関係者のコメント</li> </ul>	第3回検討会と同時開催

## 4-2-1 第1回ワークショップ

### (1) 参加者

	地域	所属	名前
染物	安来市	広瀬絋センター	伊藤 浩二
窯元	松江市	いまみや工房	三島 耕二
展示	安来市	足立美術館	小澤 順
日本酒	出雲市	旭日酒造有限会社	寺田 栄里子
	松江市	國暉酒造株式会社	岩橋 弘樹
	境港市	千代むすび酒造株式会社	角田 尚智
	伯耆町	久米桜酒造有限会社	田村 源太郎
ワイン	出雲市	島根ワイナリー	川上 誠
ガイド	—	一般社団法人 EXPE「おせわさんセンター」	広瀬 徹
	—	一般社団法人 EXPE「おせわさんセンター」	湯町 淳子
ラッドホールド	—	Matsue-Works	小見波 泰秀
外国人	—	ジャパントラベル株式会社	ジョイ ワルシュ
オブザーバー	—	山陰インバウンド機構	森本 誠人
	—	山陰インバウンド機構	米村 康幸
事務局	—	国土交通省中国運輸局	倉迫 なつみ
	—	国土交通省中国運輸局	平井 理菜子
	—	中海・宍道湖・大山圏域観光局	矢野 正紀
	—	株式会社ケーシーエス	松本 好史
	—	株式会社ケーシーエス	成沢 純

(2) 議事概要

項目	主な意見等
<p>体験プログラム等の再確認</p>	<p><b>【広瀬絣センター 伊藤氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 広瀬絣センターの中に広瀬絣伝習所という広瀬絣の技術を学ぶ場所があり、その先の先代の所長「天野」が藍染の講師を行っている。また地域の物産を合わせて販売している為、広瀬絣と地域の焼物等を合わせて購入できる。</li> <li>● 広瀬絣センターでは藍染体験があり、ガーゼハンカチに絞りをに入れて染めて頂くことになる。人数は4～6名であれば1時間程度で完了する。人数が増えれば増えるほど時間がかかる為、少人数での受け入れを考えている。</li> </ul> <p><b>【足立美術館 小澤氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンテンツ造成のテーマは体験となっているが、足立美術館の特性からみると当てはまらないと感じている。コンテンツでは、事前にガイドに研修目的で入館して頂き、見学や資料を渡すことができる。そこに他の体験と合わせて、ガイドには体験風に繋げて頂けたら良い。</li> </ul> <p><b>【Matsue-Works 小見波氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ランドオペレーターという仕事を行っている。今回のコンテンツ造成の着地点としては、現在のところ資源が世の中に知られていないので知って頂くことが大切だと思う。知って頂くことによって観光客が来訪し、結果として地域が元気になっていくことだと思う。</li> </ul> <p><b>【久米桜酒造 田村氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 今回のコンテンツ開発について、やりたいことは大山への誘客である。大山までの二次交通等の問題があるが、どんなに不便な場所でも魅力があれば来る方は来るので、もっと魅力をわかりやすいものにしたい。</li> <li>● 久米桜には、地藏滝の泉で水を感じ、地元の田んぼや酒の原料の大麦小麦等、時期によっては見られるもの、見られないものなど様々なものがあるが、総合的に原料づくりへの取り組みを見学し、その後、工場や酒蔵での案内で酒造りに対する思いを聞いて頂きたいと思う。最後にテイスティングをして頂くので有料でのツアーを検討している。</li> </ul> <p><b>【島根ワイナリー 川上氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 出雲大社から東に2 kmの場所にある観光ワイナリーとして昭和61年にオープンした。年間来場者としては70～80万、良いときは100万を超える。観光としては工場見学、ワインとぶどうジュースの無料試飲を何種類か常設している。</li> <li>● 高品質のワインを作ろうと7～8年前から取り組み、やっとの思いで賞をもらうことができた。様々な品質のものを作っているのでPRしていきたい。</li> </ul> <p><b>【おせわさんセンター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● おせわさんセンターは、外国人観光客向けの体験を提供するセンターである。地元の方々だけでは外国人観光客に魅力を伝えきれない時に我々が間に入る。おせわさんセンターで登録して頂くと、その情報をもって我々がサイトで紹介を行うという形をしていたが、今年はコロナ禍で難しい状態になっている。今後は国内向けや、近隣の方々にも知らせていく活動をしていこうと思っている。今回ガイド面で声をかけて頂いたが、まだ具体的にどのような形で関わられるかは決まっていない。皆さんの意見を伺ったうえで考慮していきたい。</li> </ul>



項目	主な意見等
	<p><b>【いまみや工房 三島氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● いまみや工房は設立からまだ 10 年。体験工房と焼き物の販売を行っている。工房の建物がおおよそ 100 年ほどたっている古民家である。ロケーションとしては付近に丘があり、出雲国庁跡がすぐ近くにある。国引き神話の神様が杖を下したとされる場所もすぐ近くにあり、古代出雲の舞台になった場所で様々な場所に様々な史跡があるので、そういったロマンを感じて頂けるような形で陶芸体験を行っている。陶芸体験は、電動ろくろ体験が多い。月におよそ 50~60 名が体験している。</li> <li>● また様々な仲間とグループを立ち上げていこうと考えており、例えば観光客に温泉宿でアートを楽しんでいただいたり、様々な場所で島根県の魅力のあるアートを暮らしの中でもっと大事にして楽しんで頂けるようなまちづくりをできたらよいと思う。</li> </ul> <p><b>【旭日酒造 寺田氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 出雲駅から歩いて五分、商店街の中に蔵を構えている。十旭日（じゅうじあさひ）という代表銘柄で様々なタイプのお酒を作っている。</li> <li>● 6 年前に出雲大社のお神酒の銘柄の八千矛（やちほこ）を善蔵元の古川酒造から引き継ぎ、役割とともにお守りしている状況にある。我々は先進的な設備はないので、大正時代の呼吸をするような建物の中なるべく手作業で自然の道具を使い、生きている酵母や酵素と向かいながら米を醸していくという見方を重視している。蔵の中で行われていることが多くの方にもっとダイレクトに伝われば、発酵やお酒の面白さや幅広さを楽しんで頂けると思う。</li> <li>● オンラインツアーに関して、普段ものづくりの現場で間近で見て頂きにくいことを画面の中で近くに感じて、作り手の思いもお話をしながら目の前で見られるようなことを体験できるということで反応を頂いている。我々作り手もダイレクトに伝わるという感覚を持った。作り手同士が紹介していける関係性が作れたら面白いと思った。</li> </ul> <p><b>【國暉酒造 岩橋氏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 國暉酒造では、神話にある八塩折之酒を再現している唯一の酒蔵。試飲販売コーナーを設けており、そちらは文化 2 年の建物の中にある。また仕込み蔵は昔の松江藩から出た土蔵を移築しているので、松江市の歴史的建造物に登録されている。</li> <li>● そういった古い建物がある中で酒造りを行っており、先ほどの神様との繋がりについても神棚やしめ縄がある雰囲気の中を見て味わって頂ける。その後試飲コーナーでは江戸時代の商家の建物で試飲ができるということがコンテンツになりうると考えている。</li> </ul>
体験プログラム等の話を聞いて専門家のアドバイス	<p>①地域には工房、酒蔵、美術館など数多くの資源が存在するので、外国人観光客が訪れている場所において、他の資源の魅力を案内できるようにすると良い。ひとつひとつの資源が、相互に魅力を案内しあうことで観光客は多くの資源に興味を湧き、良い印象を持つようになる。</p> <p>②欧米に特に多いタイプであるが、直接外国人観光客に直接話しかけることは大切である。たとえば酒蔵へ来た時に「どちらの国から来たのですか?」「日本のお酒に興味がありますか?」等、英語で質問があると好印象を持ってもらえる。</p>

項目	主な意見等
	<p>③コロナ禍での安全性を考えると、できる限り屋外でのコンテンツが好ましい。屋内の場合でもドアや窓を開放し、風通しを確保した方がよい。オンラインプログラム、オンラインツアー等でも安全性が確保できる。自然がある場所や、美しい景観の中プラス飲食というイノベーションであれば興味が持てる上に安全という点でアピールできる。</p> <p>④今後はプラスチック製品の使用を控えるなど環境に配慮したほうがよい。またヴィーガン、ベジタリアン向けのメニューも必要である。食事を外国人観光客のグループで行う際、おそらく1～2名はヴィーガンの人がいる可能性があるため、現地の野菜を取り揃えたメニューを準備しておくとお食事ができる。</p> <p>⑤毎日 SNS 等で地域の魅力がわかるような写真が投稿できるとよい。Facebook、Instagramにしても写真をメインにするべき。景観などがよい写真であれば、それだけで地域のアピールになる。</p>
グループワーキング (グループ1の結果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域には魅力ある体験資源があるので、ここにしかないものとして安売りはせず、魅力的なコンテンツとして特別感を与えるツアーがあるとよい。</li> <li>● ストーリーの差別化等が必要であり、色々と詰め込みすぎず優雅に、1泊2日くらいのコースで体験としたり酒を飲んだり料理を食べたりできるコンテンツがいい。日本の四季が美しいという点についても季節により器を変える案が出た。</li> </ul>
グループワーキング (グループ2の結果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 酒蔵を巡るという点でお酒を飲む機会が生じると思う。そのため運転手は試飲ができず、楽しみが損なわれてしまう為にコンテンツの移動手段は課題である。</li> <li>● ガイドへの希望について、案内の正しい知識を得て頂き、外国人観光客は「何故ここに木が立っているのか」など思いがけない質問をしてくる場合があるため、事前準備を怠らずに案内をお願いしたい。</li> <li>● 体験工房の場での案内は、体験の説明だけではなく、たとえば藍染などの裏方で行っている部分も案内するなど、深い部分も案内してほしい。</li> </ul>
専門家の講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンテンツの最初のターゲットは広島、山口、島根に住んでいる外国人がいいのではないかと考える。そういう外国人が自家用車で来訪することも想定して様々な体験、コンテンツを開発できればもっと良い。</li> <li>● はっきりとしたターゲットはまだ見えないと思うが、日本在住で近いエリアの外国人が訪れて、地域の魅力を SNS でコンテンツの写真を発信していると、次第に海外に住む外国人がその情報を見て、この地域に興味を持って来訪することになると思う。</li> </ul>

#### 【第1回ワークショップのまとめ】

- ◆ 体験の詳細な内容と関係者の意向をまとめながらコンテンツを練り上げるため、今後は、個別に話を聞きながらコンテンツ案にまとめていく。

## 4-2-2 第2回ワークショップ

### (1) 参加者

	地域	所属	名前	出欠
和紙	松江市	安部榮四郎記念館	安部 己囃枝	リモート
染織	米子市	弓浜緋工房 B	佛坂 香奈子	リモート
窯元	松江市	いまみや工房	三島 耕二	出席
	大山エリア	大山焼久古窯	鈴木 治道	リモート
日本酒	出雲市	旭日酒造有限公司	寺田 栄里子	リモート
	伯耆町	久米桜酒造有限公司	田村 源太郎	出席
ワイン	出雲市	島根ワイナリー	川上 誠	出席
ガイド	—	一般社団法人 EXPE「おせわさんセンター」	湯町 淳子	出席
	—	一般社団法人 EXPE「おせわさんセンター」	ロバートソン 江美	出席
	—	一般社団法人 EXPE「おせわさんセンター」	奥山 啓子	リモート
	—	一般社団法人 EXPE「おせわさんセンター」	マックフェル 萌野	リモート
外国人	—	ジャパントラベル株式会社	ジョイ ワルシュ	出席
おザ-バ-	—	山陰インバウンド機構	米村 康幸	出席
	—	観光庁 観光地域振興部	山田 大貴	リモート
事務局	—	国土交通省中国運輸局	石風呂 真	出席
	—	国土交通省中国運輸局	倉迫 なつみ	出席
	—	中海・宍道湖・大山圏域観光局	矢野 正紀	出席
	—	中海・宍道湖・大山圏域観光局	宇津宮 崇	出席
	—	株式会社ケーシーエス	松本 好史	出席
	—	株式会社ケーシーエス	成沢 純	出席

## (2) 議事概要

項目	主な意見等
ジャパントラベルの講演（概要）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コロナウイルス収束後の欧米からの訪日外国人は、特に日本的なものを求めてくると思われる。コロナ前は多方面へ旅行することができたが、コロナウイルス収束後はそのようにはいかないと考える。</li> <li>● 出雲・大山エリアでアピールできるポイントは数多くあると思う。東京、大阪などへ何度も訪れている訪日外国人は、あまりよく知らない出雲・大山エリアにも興味を持ってもらうことができると思う。その為、地域の魅力を活かして誘客するために、どのようにアピールしていくかを考える準備期間であると捉えることが必要である。</li> <li>● 欧米の方はストーリー、歴史のあるものに興味をもつため、神話などですぐにわかりにくいものをわかりやすく話をして理解してもらえれば、その外国人にとって出雲・大山エリアはオンリーワンの地域になっていく。大山の自然もアピールもできる。サスティナビリティも一つのテーマとして話が出来れば、出雲・大山エリアのブランディングに繋がっていく。また、外国との接点も見つけられるとさらに良いと考える。現在、コロナ禍で訪日外国人の来訪が難しい時期なので、周辺に在住の外国人へのアピールから、魅力を伝える練習をしていただきたい。</li> </ul>
コンテンツについて（コンテンツの説明）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ガイドマニュアル」案を通して開発コンテンツのストーリーを説明して理解を得た。</li> </ul>
ワーキング（コンテンツ・タリフの内容について確認）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンテンツのサービス内容案などを「コンテンツ・タリフ」で説明。</li> <li>● 提案したコンテンツは、いつまでに出来上がる予定なのか。また、その後の販売等は決まっているのか。（久米桜酒造）</li> <li>● 今回、ジョイ氏が話されたように今は「準備期間」である。話し合っても実行しなければ分からないことや、地元の意見だけでは分からない点が多々ある。現在、コロナウイルスの影響で、どうなるかわからないが、分からないという事は今がチャンスであると考えたい。（ロバートソング江美氏）</li> </ul>
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンテンツのブラッシュアップに向けて、「ガイドさんの留学生シミュレーション」と「ファム・トリップ」の予定について了解を得た。</li> </ul>

### 【第2回ワークショップのまとめ】

- ◆ 年度内にコンテンツのブラッシュアップを行う。
- ◆ 開発したコンテンツに対して、販売など、開発後の活動予定を明らかにしておく必要がある。



## 4-3 ガイド・シミュレーションの実施

### (1) 目的

企画開発したコンテンツに対し、予定している案内ガイド（以下、ガイド候補者という）の外国人留学生を対象としたガイド・シミュレーションを行い、魅力のわかりやすさなどについて検証することを目的とする。

### (2) 実施概要

#### 1) 予定しているガイド

ガイド候補者として、既に地域内でガイドとしての実績もある4名の方々に参加していただくこととした。

ガイドの氏名	紹介
ロバートソン江美	インバウンド向けセミナー講師。 ゲストハウス米村家、喜庵（茶室のある宿）を経営。
奥山啓子	全国通訳案内士。 茶道、朗読、演劇など多彩な方面で活動。
石原美和	日本酒ソムリエ。 フリーで司会、ナレーションを中心に活動。 日本酒に関する連載も多く、ライターとしても活躍中。
マックフェル萌野	山陰地域限定特例通訳案内士。 フリーランスの通訳案内士、翻訳家として活動。

※氏名は順不同

#### 2) 外国人留学生

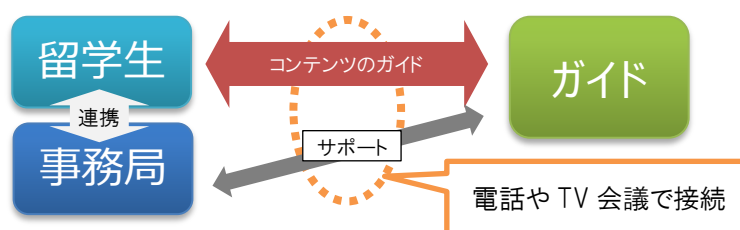
ガイドの対象として、日本在住の外国人留学生を6名選出した。

留学生の氏名	国籍など
Alexander Stankov（アレクサンダー スタンコフ）	ブルガリア、男性
Sarah Nishina（セーラ ニシナ）	オーストラリア、女性
Julien Patry（ジュリアン パトリ）	フランス、男性
Dara Robinson（ダラ ロビンソン ダラ）	ニュージーランド、女性
KUHN Barbara（クーン バーバラ）	ドイツ、女性
Nathan Eden（ネイサン イーデン）	オーストラリア、男性

※氏名は順不同

#### 3) シミュレーションの予定

6つのコンテンツ案について、次ページに示すように3回に分けて実施した。



### (3) シミュレーションの実施内容

シミュレーションでは、実際の旅行をしていない状況でガイドがコンテンツの案内をし、同じように旅行をしていない状況で外国人が案内を聞いてコンテンツやガイド内容を理解する必要があり、その結果のもと相互に意見交換をすることになる。

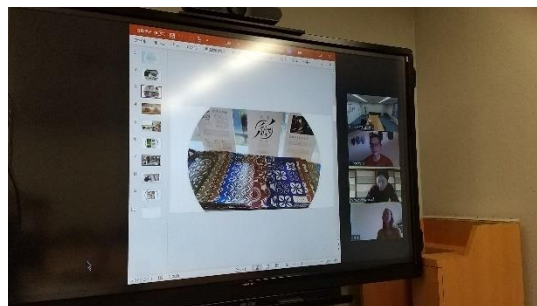
そのため、ガイドには本事業内で作成した『ガイドマニュアル』を参考に模擬案内をしてもらい、外国人留学生には、コンテンツの流れ、ガイドマニュアル、現地写真などを事前に情報共有をしておくことで、できる限りコンテンツのイメージ共有できるようにして行った。

以下に、6つのコンテンツに対するシミュレーションの実施内容をとりまとめた。

1) 日本の生活の美 民藝・出雲和紙作り体験～島根ワイナリーと共に～

① 実施日及び参加者

実施日	ガイド	外国人
令和2年 12月23日(水)	奥山啓子	Julien Patry (フランス) Dara Robinson (ニュージーランド)

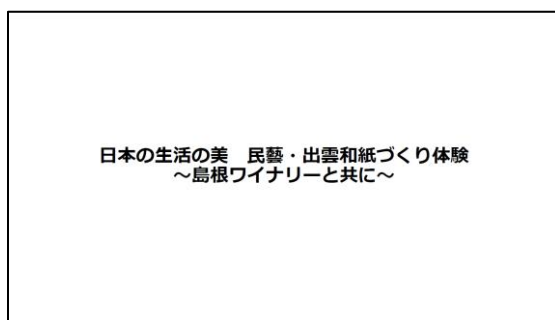


(シミュレーションの様子)

② コンテンツの行程 (ガイドマニュアルより)

時間 (目安)		コンテンツ内容
開始	終了	
	9:00	JR松江駅松江国際観光案内所
9:00	9:25	タクシーで移動
9:25	9:30	安部榮四郎記念館
9:30	9:35	記念館スタッフのあいさつ
9:35	9:55	出雲和紙のDVD鑑賞
9:55	10:25	うちわ作成 (紙すき、色付け)
10:25	11:05	工房見学
11:05	11:30	展示場見学
11:30	13:00	知足亭 (地元の野菜を使ったお弁当)
13:00	14:00	島根ワインのラベルづくり (自分でデザインもしくは写真印刷も可能)
14:00	14:30	自由時間 (お土産の買い物など)
14:30	14:35	解散式
14:35	15:00	タクシーで移動
15:00	15:00	J R 松江駅

③ 外国人へのコンテンツに関する提供資料





④ シミュレーションの行程

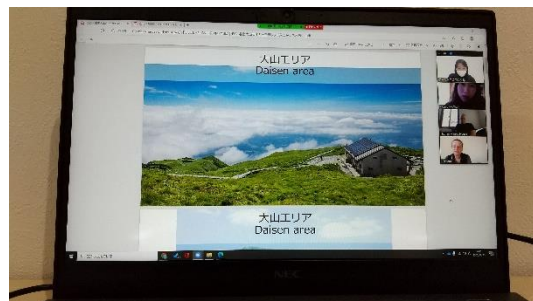
時間	項目	想定する場面	案内項目
10:00	参加者の挨拶等		
10:05	ガイド	松江駅～安部榮四郎記念館の移動中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出雲和紙について</li> <li>・安部榮四郎について</li> </ul>
		安部榮四郎記念館にて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安部榮四郎記念館について</li> <li>・知足亭について</li> <li>・島根ワイナリーについて</li> </ul>
10:35	意見交換		



## 2) 自然遺産大山の水と土を楽しむ

### ① 実施日及び参加者

実施日	ガイド	外国人
令和2年 12月23日(水)	マックフェル萌野	KUHN Barbara (ドイツ) Nathan Eden (オーストラリア)

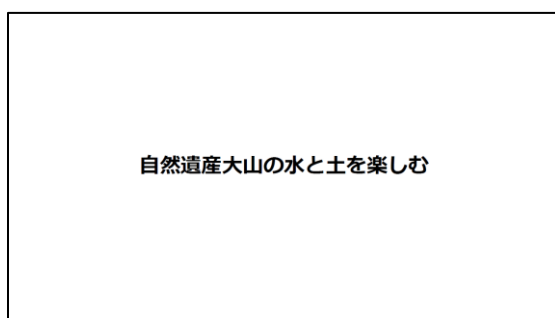


(シミュレーションの様子)

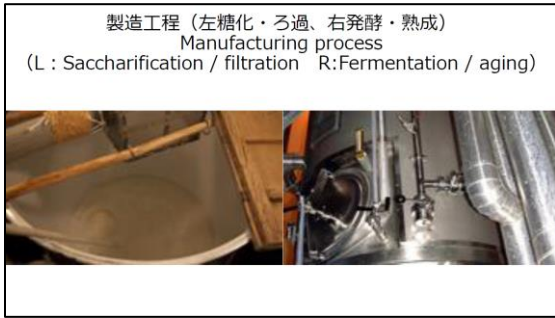
### ② コンテンツの行程 (ガイドマニュアルより)

時間 (目安)		コンテンツ内容
開始	終了	
	12:00	JR米子駅
12:00	12:25	タクシーで移動
12:25	12:30	<b>大山焼久古窯</b>
12:30	12:35	①窯元スタッフのあいさつ
12:35	12:50	②大山焼久古窯の説明
12:50	13:00	③体験内容の説明
13:00	14:30	④大山焼の体験
14:30	14:50	⑤お土産の買い物など
14:50	15:00	タクシーで移動
15:00	15:00	<b>久米桜酒造 (大山ブルフリー)</b>
15:00	17:00	大山ブルフリー・ツアー ①オリエンテーリング ②原材料の産地見学 ③大山Gビール工場見学 ④テイスティング ⑤ショッピング
17:00	17:25	タクシーで移動
17:25	17:25	JR米子駅

### ③ 外国人へのコンテンツに関する提供資料







④ シミュレーションの行程

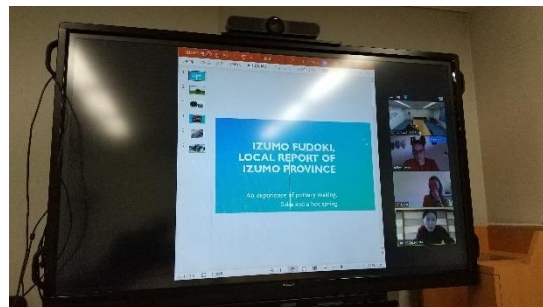
時間	項目	想定する場面	案内項目
10:00	参加者の挨拶等		
10:05	ガイド	米子駅～大山焼久古窯の移動中	・大山エリアについて
		大山焼久古窯にて	・大山焼久古窯について
		久米桜酒造にて	・久米桜酒造について
10:35	意見交換		



### 3) 出雲風土記の地を巡る体験旅行～うつわ作りと酒・出で湯～

#### ① 実施日及び参加者

実施日	ガイド	外国人
令和2年 12月18日(金)	奥山啓子	Julien Patry (フランス) Dara Robinson (ニュージーランド)

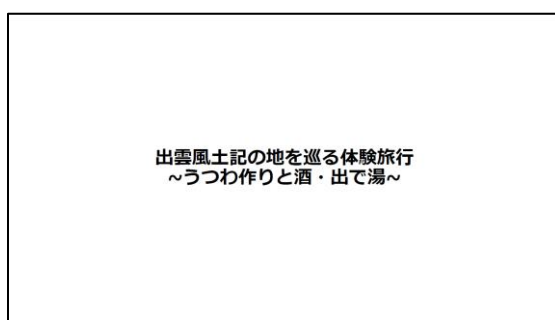


(シミュレーションの様子)

#### ② コンテンツの行程 (ガイドマニュアルより)

時間 (目安)		コンテンツ内容
開始	終了	
	9:30	JR松江駅松江国際観光案内所
9:30	10:00	タクシーで移動
10:00	11:00	八雲立つ風土記の丘 (展示学習館)
11:00	11:10	タクシーで移動
11:10	11:10	いまみや工房
11:10	12:40	陶芸体験電動ろくろ
12:40	14:10	古民家カフェでピザランチ
14:10	14:20	タクシーで移動
14:20	14:40	神魂神社 (かもす じんじや)
14:40	15:00	徒歩で移動 はにわロード
15:00	15:30	八重垣神社
15:30	15:50	タクシーで移動
15:50	16:20	須我神社 (雲南市)
16:20	16:35	タクシーで移動
16:35	16:35	海潮温泉 海潮荘
16:35	19:30	旭日酒造が蔵元の酒、見学窯元の酒器を説明 風土記記載の秘湯を楽しむ 食事・宿泊
19:30	19:30	終了

#### ③ 外国人へのコンテンツに関する提供資料





スサノオのヤマタノオロチ退治  
Defeat Susanoo's Yamata no Orochi



オオクニヌシ・因幡の白兔  
Okuninushi/Inaba's white rabbit



国譲り  
National transfer



島根県立 八雲立つ風土記の丘  
Shimane Prefectural Yakumo tatsu Hudoki no Oka



島根県立 八雲立つ風土記の丘  
Shimane Prefectural Yakumo tatsu Hudoki no Oka



展示学習館  
Exhibition Learning Center



いまみや工房  
Imamiya pottery



マグカップ・一輪挿し  
Mug/vase



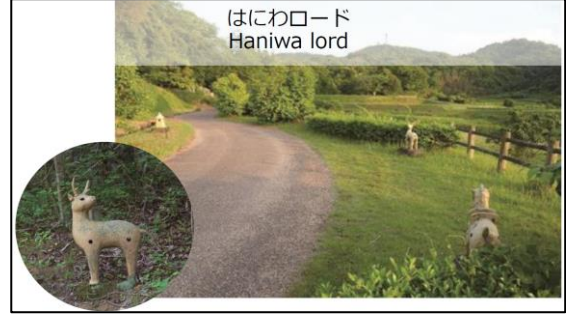
陶芸体験・ピザランチ  
Pottery experience/lunch(pizza)



神魂神社 (かもすじんじゃ)  
Kamosu Shrine











#### ④ シミュレーションの行程

時間	項目	想定する場面	案内項目
10:00	参加者の挨拶等		
10:05	ガイド	松江駅～八雲立つ風土記の丘（展示学習館）の移動中	・神話について
		八雲立つ風土記の丘（展示学習館）にて	・風土記について
		いまみや工房にて	・いまみや工房について
		神魂神社～はにわロード～八重垣神社～須我神社	・神魂神社について ・はにわロードについて ・八重垣神社について ・須我神社について
		海潮温泉海潮荘にて	・海潮温泉、海潮荘について
		旭日酒造について	・旭日酒造について
10:35	意見交換		

4) 日本酒発祥の地出雲に 1000 年以上も伝わる酒と歴史と文化を巡る体験旅行～神様と日本酒めぐり～

① 実施日及び参加者

実施日	ガイド	外国人
令和2年 12月18日(金)	石原美和 ロバートソン江美	Alexander Stankov (ブルガリア) Sarah Nishina (オーストラリア)



(シミュレーションの様子)

② コンテンツの行程 (ガイドマニュアルより)

時間 (目安)		コンテンツ内容
開始	終了	
	8:55	J R松江駅
8:55	9:00	タクシーで移動
9:00	9:35	<b>國暉酒造</b> 酒造見学・試飲等
9:35	9:47	徒歩で移動
9:47	10:17	一畑電車で移動松江しんじ湖温泉駅
10:17	10:30	徒歩で移動
10:30	10:53	<b>佐香神社 (さかじんじゃ)</b>
10:53	11:08	徒歩で移動
11:08	11:43	一畑電車で移動一畑口駅～出雲大社前
11:43	11:53	タクシーで移動
11:53	12:10	<b>稲さの浜</b>
12:10	12:40	徒歩で移動
12:40	13:30	<b>出雲大社</b>
13:30	13:35	徒歩で移動
13:35	14:35	<b>そば処田中屋</b>
14:35	14:52	徒歩で移動
14:52	15:12	一畑電車で移動出雲大社前～川跡～電鉄出雲市
15:12	15:22	徒歩で移動
15:22	16:00	<b>旭日酒造</b> 蔵元見学と利き酒
16:00	16:10	タクシーで移動
16:10	16:40	<b>万九千神社 (まんくせん-じんじゃ)</b>
16:40	16:50	タクシーで移動
16:50	16:50	出雲市駅

③ 外国人へのコンテンツに関する提供資料

日本酒発祥の地出雲に1000年以上も伝わる酒と  
歴史と文化を巡る体験旅行  
～神様と日本酒巡り～









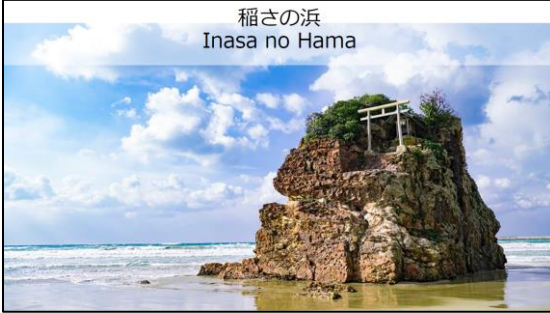
佐香神社 (松尾神社)  
Saka Shrine (Matsuo Shrine)



佐香神社 (どぶろくまつり)  
Doburoku Festival



稲さの浜  
Inasa no Hama



出雲大社  
Izumo Taisha



出雲大社 大注連縄  
Shimenawa



古代出雲大社 (イメージ図)  
Ancient Izumo Taisha(image)



そば処 田中屋  
Soba restaurant Tanakaya



旭日酒造  
Asahi Sake brewing



旭日酒造 十旭日・八千矛  
Jujiasahi / Yachihoko



万九千神社  
Mankusen Shrine



④ シミュレーションの行程

時間	項目	想定する場面	案内項目
10:00	参加者の挨拶等		
10:05	ガイド	松江駅～国暉酒造の移動中	・神話、伝説、日本酒について
		国暉酒造にて	・国暉酒造について
		一畑電車にて	・宍道湖、一畑電車について
		佐香神社にて	・佐香神社について
		稲さの浜にて	・稲さの浜について
		出雲大社にて	・稲さの浜について
		そば処田中屋にて	・お酒とお蕎麦のマリアージュについて
		旭日酒造にて	・旭日酒造について
		万九千神社にて	・万九千神社について
10:35	意見交換		

5) 日本の伝統文化に触れる～美術館と藍染を通して～

① 実施日及び参加者

実施日	ガイド	外国人
令和2年 12月23日(水)	マックフェル萌野	KUHN Barbara (ドイツ) Nathan Eden (オーストラリア)



(シミュレーションの様子)

② コンテンツの行程 (ガイドマニュアルより)

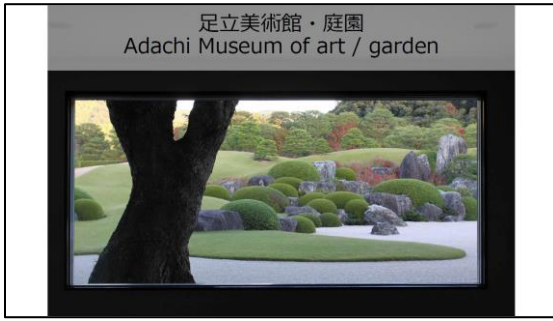
時間 (目安)		コンテンツ内容
開始	終了	
	9:15	足立美術館前
9:15	9:15	足立美術館
9:15	10:45	日本一の日本庭園と美術館を見学 お土産の買い物など
10:45	10:50	徒歩で移動
10:50	11:55	安来節演芸館
11:55	12:00	徒歩で移動
12:00	13:00	竹葉 (薬膳料理・海鮮料理)
13:00	13:10	タクシーで移動
13:10	13:10	広瀬絋センター
13:10	13:15	広瀬絋センター・スタッフのあいさつ
13:15	13:30	広瀬絋の説明
13:30	13:40	体験内容の説明
13:40	14:40	藍染体験 (ハンカチ)
14:40	15:00	お土産の買い物など
15:00	15:40	タクシーで移動
15:40	15:40	JR松江駅

③ 外国人へのコンテンツに関する提供資料

日本の伝統文化に触れる～美術館と藍染を通して～









④ シミュレーションの行程

時間	項目	想定する場面	案内項目
10:00	参加者の挨拶等		
10:05	ガイド	足立美術館にて 安来節演芸館にて 竹葉にて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 足立美術館について</li> <li>• 安来節について</li> <li>• 竹葉について</li> </ul>
		広瀬絰センターにて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 広瀬絰について</li> <li>• 藍染について</li> </ul>
10:35	意見交換		



6) 250年の伝統ある弓浜絣の職人に会う～オンラインで訪れる絣の世界～

① 実施日及び参加者

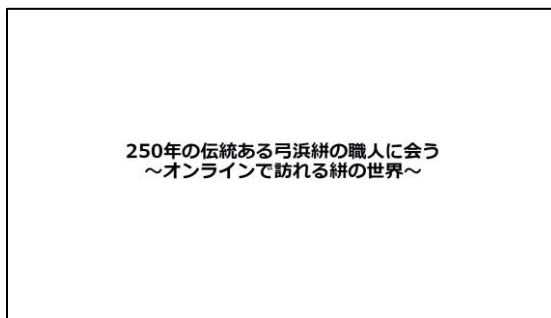
実施日	ガイド	外国人
令和2年 12月18日(金)	ロバートソン江美	Alexander Stankov (ブルガリア) Sarah Nishina (オーストラリア)

② コンテンツの行程 (ガイドマニュアルより)

時間 (目安)		コンテンツ内容
開始	終了	
	10:00	絣店 (ごとう絣店・弓浜絣工房B・緑の文)
10:00	10:05	絣店スタッフのあいさつ
10:05	10:15	弓浜絣・伯州錦の説明
10:15	10:35	製作手順の説明。糸紡ぎや手織りしているところを見学
10:35	11:00	リクエストに応えたデザイン作成
11:00	11:00	通信終了

※絣店については予約受付時に3事業者のスケジュールにて実施場所を決定し対応する。

③ 外国人へのコンテンツに関する提供資料



④ シミュレーションの行程

時間	項目	想定する場面	案内項目
10:00	参加者の挨拶等		
10:05	ガイド	弓浜絣にて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 弓ヶ浜半島について</li> <li>• 弓浜絣について</li> <li>• 原料の伯州綿について</li> <li>• 制作手順について</li> </ul>
10:35	意見交換		



#### (4) ガイドマニュアル

本事業で検討するコンテンツのガイド・マニュアルとして「出雲大山エリアガイドマニュアル」を作成し、地域で準備するガイド候補者がマニュアルをもとにコンテンツの魅力を説明できるように準備した。

体験型コンテンツの魅力は、「地域資源に関する調査」及び「コンテンツ開発ワークショップ」の中で検討・整理してマニュアルへ反映した。



CONTENTS	
1. 観光ガイドの基礎知識	2
(1) ガイドとしての能力について	3
(2) 知識力の磨き方	5
(3) お客様に対応するための準備と心構え	10
(4) お客様との交流	13
2. ガイドの準備	16
(1) ガイドフォーマット	17
3. コンテンツガイドの概要	18
・日本の生活の美 民藝出雲和紙づくり体験～島根ワイナリーと共に～	19
・自然遺産大山の水と土を楽しむ	49
・出雲風土記の地を巡る体験旅行～うつわ作りと酒出で湯～	76
・日本酒発祥の地出雲に1000年以上も伝わる酒と歴史と文化を巡る体験旅行～神様と日本酒巡り～	118
・日本の伝統文化に触れる～美術館と藍染を通して～	154
・250年の伝統ある弓浜耕の職人に会う～オンラインで訪れる耕の世界～	181
4. 翻訳アプリの使い方	204
5. 緊急連絡先一覧	223

(全224ページ。詳細は電子データを参照)

(5) 結果

ガイド・シミュレーションを行った結果、各コンテンツに関して外国人留学生から以下のとおり意見が得られた。

表 ガイド・シミュレーションの意見まとめ

コンテンツ名	良かった点	改善点	その他の意見
日本の生活の美 民藝・出雲和紙作り体験 ～島根ワイナリーと共に～	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 和紙や植物について学べて興味深い。</li> <li>■ ラベルを家に持って帰れるのは良い思い出になる。</li> <li>■ 昼食前に和紙のプログラムを入れ、ワイナリーのことも知れていい。</li> <li>■ 時間的にも良い。すべての場所に行く必要はなく、疲れすぎない程度にプランニングすればよい。</li> <li>■ 和紙をオリジナルなものに組み合わせたのは旅行者にも好まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「なぜ特別なワインなのか」をもっと説明したほうが良い。オーガニックワインも外国人旅行者には興味のあることなので、押し出すことはとても重要である。 → (対応策) 昼食時に、島根ワインについての説明を行うこととしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ガイドがいることは重要で、ストーリーを語ってくれることが大切である。ガイドがたくさん話しても問題ない。</li> <li>■ ガイドの説明内容は良かった。</li> </ul>
自然遺産大山の水と土を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 陶芸は家族連れに好まれると思う。交流も出来るので楽しそう。</li> <li>■ 家族連れを誘客する際には時間帯を考えたほうがいい。午後というのはいい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大山についてより言及をしたり、歴史や宗教についての話があると理解が深まる。 → (対応策) たたら歴史なども含めてガイドする。</li> <li>■ 陶芸が大山の自然とどう繋がるかなど、山や水に関する説明がもう少し必要。 → (対応策) 大山焼の材料に関する内容を再度確認し、説明に追加する。また、たたら歴史なども含めて説明を行う。</li> <li>■ タクシー移動中での説明はあまり大切でないと思われる。 → (対応策) 移動中に説明をするのは控える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外国人は旅行中に早起きをしないため食事の時間帯がずれることがあるため、昼食を含めた行程も検討してほしい。</li> <li>■ ガイドを依頼する人は、山や歴史などの情報も知りたいので、職人の話を訳すだけではなく、様々な地域情報も必要である。</li> </ul>
出雲風土記の地を巡る体験旅行 ～うつわ作りと酒・出で湯～	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ イザナミノミコトなど、日本の神話がテーマになっていたのは興味深い。神話のストーリーを伝えることで、とても面白いツアーになると思う。</li> <li>■ 日本神話と西洋神話の類似点などのストーリーは重要。</li> <li>■ ロケーションはとてもよく、風土記の丘の紅葉がよい。</li> <li>■ 神社に関しては、伝統的な場所という感じがした。</li> <li>■ はにわロードは、外国人（特に子供）に人気になる。</li> <li>■ 海潮温泉は、レストランも外観もよい。</li> <li>■ 日本酒や温泉もあってよい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 初めには「ガイド」することが良いと思う。疑問を説明してくれる「パートナー」のような存在になったら良い。</li> <li>■ 『魅力的に見えるようなキャッチコピーが必要なのか、名称自体で興味がわくものなのか？』 → “Japanese in this legends”</li> <li>■ 日本に旅行にきたら日本食を食べたいが、昼食のピザは特別なのか？ → (回答) レンガで作った手作り窯で、たくさんの野菜を使ったヘルシーなピザを提供する。</li> </ul>
日本酒発祥の地出雲に 1000 年以上伝わる酒と歴史と文化を巡る体験旅行 ～神様と日本酒めぐり～	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体的に今回選択された地域やポイントが「酒」というテーマに沿って、ストーリーがあってよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本各地で日本酒発祥の地ということを知ったことがあるので、出雲もひとつの説としての伝え方の方がいい。 → (対応策) ひとつの説として伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 長時間のツアーなので、初めて出雲地方を訪れる外国人をターゲットにした方がいい。</li> </ul>
日本の伝統文化に触れる ～美術館と藍染を通して～	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地元の文化や伝統的なものに興味がある人にとっては、このツアーの組み合わせはストーリー性があるといい。</li> <li>■ 日本の伝統文化という共通点があって、交流できる機会も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ バスの時刻表などを事前に知らせておく必要がある。 → (対応策) 事前に情報提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ リピーター向けをターゲットにした方がいい。</li> <li>■ 足立美術館では、日本の美術は考えながら観たいが、同時に誰かに説明してほしいときもある。そういった説明を聞く時間が欲しい。 → (回答) 美術館では、オーディオガイドがあるので利用していただく。他のお客様もいるので、ガイドからの説明は控える。</li> </ul>
250 年の伝統ある弓浜緋の職人に会う ～オンラインで訪れる緋の世界～	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内容がとても面白かった。</li> <li>■ オンラインツアーで、動画を見せるだけでなく、実際に繋がるのはいい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実際の職人の数や経営方法、伝統や伝承の話を理解しなければ価値が分かりづらい。 → (対応策) 弓浜緋の歴史などもガイドしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 着物は毎日使うものではなく、アートアイテムとしての認識があり、緋も同じように感じる。現在の若年層向けに何か作っていることもガイドしてほしい。 → (回答) 実際のツアーでは、デザインや作成した商品などの説明もガイドを行う。</li> </ul>

## (6) ガイド・シミュレーションのまとめ

ガイド・シミュレーションを通して、開発するコンテンツに対して以下のことが検証された。

- ① 本事業で開発しているコンテンツには、ガイドが付きそうことが大切であることが確認できた。
- ② また、ガイドのストーリーテリングが十分外国人旅行者に対応できるものであることを確認できた。
- ③ 同時に、改善点等に関する率直かつ旅行者目線での意見を収集することができ、その後のコンテンツのブラッシュアップにも活かせる内容となった。

## 4-4 販売体制整備の提案

### (1) 販売体制案の提案

本事業内、検討会及びワークショップ等を通して、以下のとおり販売体制の構築を行った。

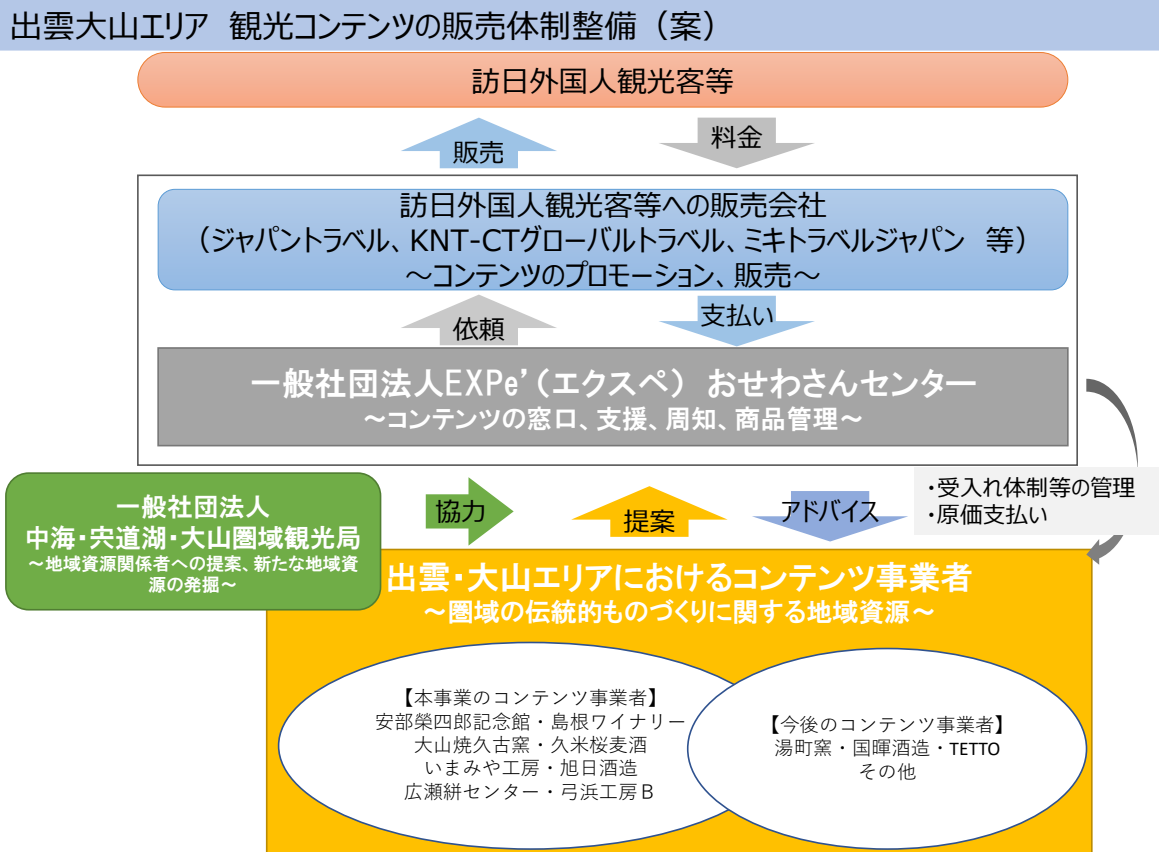


図 販売体制整備（案）

造成したコンテンツについては地域が主体となって販売していける体制の構築が望ましい。

地域のランドオペレーター（ここではおせわさんセンター）及び外国人向けの販売チャンネルを持つ旅行会社が連携し、該当地域の地域連携 DMO である中海・宍道湖・大山圏域観光局がそのサポートを行う体制を地域の関係者へ提案した。（第3回検討会及びWS時）

また、上記提案を通して、体制構築に関わる関係者へ、翌年度以降意欲的に販売に向けて取り組む意欲があることを確認できた。



## 5.有識者によるブラッシュアップのための意見交換会の実施

### 5-1 意見交換会に向けた実施概要

当初、作成したコンテンツのブラッシュアップ手法について、欧米豪・香・台市場に影響のある旅行会社、ランドオペレーター等を対象地域へ招請し、旅行会社目線で磨き上げを行う「旅行商品造成のための旅行会社等の招請」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大及び緊急事態宣言の発令によって、東京から旅行会社等を招請することが困難となった。

そのため、地域を訪れるのと同程度の情報を把握できる「コンテンツ説明資料」を作成の上、コンテンツの造成や販売に関して知見を有する有識者と、作成したコンテンツに関わる地域資源関係者及び地域ガイド候補者をオンライン上で繋いだ意見交換会を実施し、コンテンツの最終ブラッシュアップを行うこととした。この意見交換会については、コンテンツ説明資料を用いて、事務局が有識者に対し、コンテンツの概要に関する事前の説明を行った上で実施した。

なお、作成したコンテンツ資料については、英訳したものを（一社）中海・宍道湖・大山圏域観光局の英語版 HP (<https://www.nakaumi.jp/sanin-japan/>) に掲載している。

以下に、意見交換会実施のフロー、及びコンテンツ資料を示す。

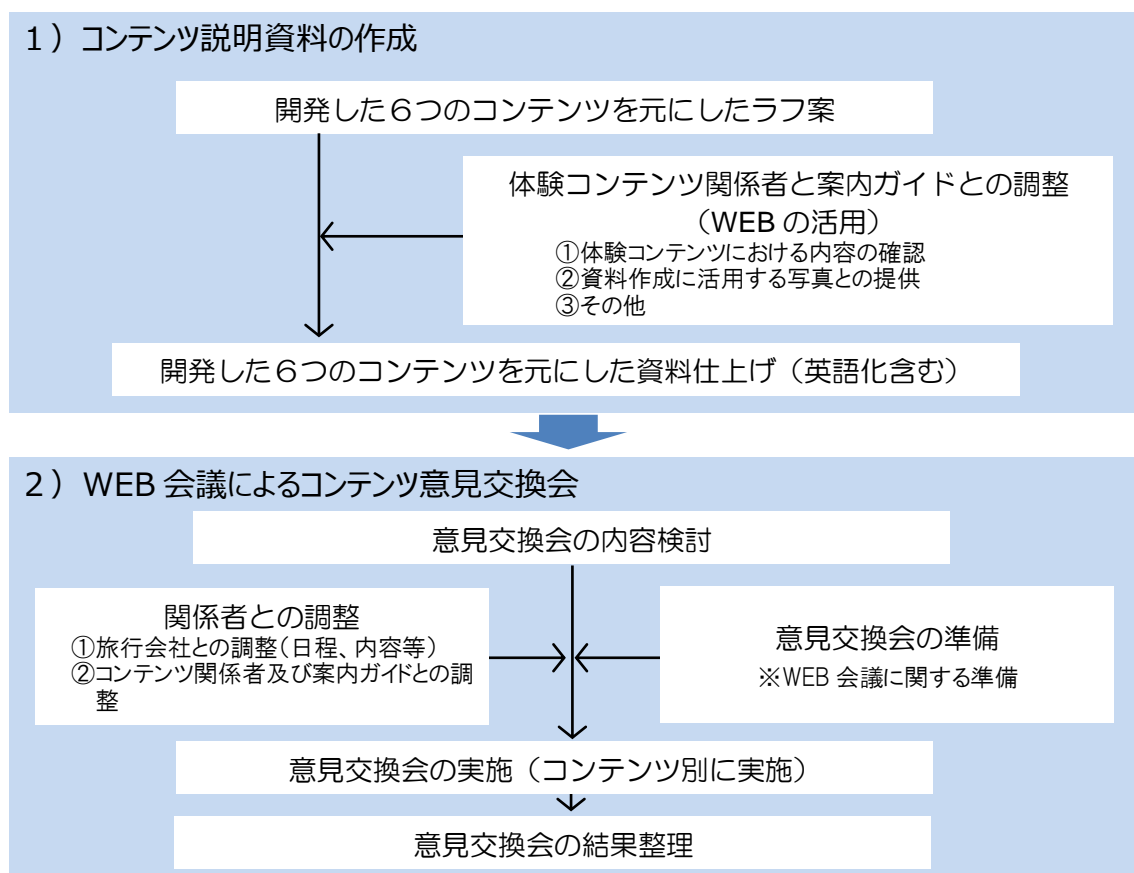


図 意見交換会に向けたコンテンツ資料作成と意見交換の準備

(1) コンテンツ資料 (日本語版/英語版)

1) コンテンツ資料 日本の生活の美 民藝・出雲和紙作り体験

**タイトル** 日本の生活の美民藝・出雲和紙作り体験 ~島根ワイナリーと共に~

### ストーリー

出雲地域に江戸時代から始まった手すき和紙。その技術を伝承する安部榮四郎は、民藝運動との出会いでこれまでになかった独自の個性を發揮した「出雲民芸和紙」を作り出しました。  
また、出雲地域は、全国でも有数のハウスぶどうの名産地です。ここで生産した良質なブドウを生かしてワイン造りに取り組む「島根ワイナリー」があります。「日本ワイナリーアワード2020」で4つ星受賞するなど、近年、数々のワインコンクールで高評価を得ているワイナリーです。  
このコンテンツでは、安部榮四郎記念館を舞台に出雲にある「和」と「洋」を結びつけ、「出雲和紙」の魅力やDVD鑑賞で学び、手すき和紙や出雲和紙のワイナリー作りを体験します。さらに、出雲和紙職人と昼食での交流を通して出雲の魅力を発見できるようなコンテンツに仕上がっています。もしかしら、交流の時に島根ワインをふるまうこともあるでしょう。  
まさに出雲の和文化和洋のワイン文化とが、モノづくり文化として繋がっていることを感じられるコンテンツです。

### 行程

開始	終了	コンテンツ内容
9:00	9:25	JR松江駅 松江国際観光案内所 タクシーで移動
9:25	14:35	<b>安部榮四郎記念館</b> 出雲和紙のDVD鑑賞 / うちわ作成 (紙すき、色付け) 工房見学 / 展示場見学 知足亭のお弁当で食事 (購入とともにお弁当を食べます。) 島根ワインのラベルづくり (自分でデザインもしくは写真印刷も可) 自由時間 (お土産の買い物など)
14:35	15:00	タクシーで移動
15:00		JR松江駅

### 施設情報

**出雲民芸紙とは**

故人園田室 安部榮四郎が生産させた和紙。原料となる楮(こうぞ)、三椏(みつまた)、産皮(がんぴ)の特徴をそのままに濃く上げていきます。楮は素材で強靱、和紙の特性を最も持っています。三椏紙は、楮紙に比べると幾分縮んで、湿に強い特徴を持っています。そして「和紙の王」と称される産皮紙。独特の光沢と流しがあり、変色せず、湿にも浸しず水にも強い。そして、細かな文字を書くことにも適しています。この産皮紙の制作こそ、安部榮四郎が努力を重ねて磨き上げ、生産情熱を注いだ手すき技術です。

**島根ワイナリー**

「日本ワイナリーアワード2020」で4つ星受賞、日本ワインコンクール2019の金賞・権門賞受賞の受賞など、数々のコンクールで高評価をされているワイナリーです。

**知足亭**

地元農家が地産地消を目的にはじめたお店です。野菜を中心とした惣菜めし、国内産石臼きそば粉を使ったソバ。出始めはともヘルシー。春には豊富な山菜、夏は新鮮な夏野菜、秋は新米・早稲草などの秋の恵みなど季節が感じられるメニューが揃っています。

**ルート図**

凡例  
 ● コンテンツポイント  
 〓 ルート  
 → 往路  
 ← 復路

### 体験内容

#### うちわ作成体験

**体験内容・流れ**

- 紙漙き**
  - DVDでの製法手順を見る
  - 漙め漙き
  - 枠から紙を外す
  - 乾燥
- 漙いた和紙を貼り付け**
- 乾燥**
- 整形**
  - ハサミでうちわの形に切る
  - 和紙テープで側面を縁取る

所要時間: 1時間

#### 島根ワインのラベルづくり

**体験内容・流れ**

- 紙漙き**
  - 漙め漙き
  - 枠から紙を外す
  - 乾燥
- 漙いた和紙にデザイン**
  - デザイン枠の選択
  - 専用ペンでデザイン枠に沿って色付け
- 乾燥**
- ワインボトルに和紙を貼り付け**

所要時間: 1時間

商品の概要								
施設情報	安部榮四郎記念館	住所	島根県松江市八雲町東岩坂1754	TEL	0852-54-1745	公式サイト	http://abe-eishirou.jp/	
	Wi-Fi環境	無	多言語対応	有	予約要否	要	対応可能人数	4名まで可能
	トイレ	洋式	言語	英・仏	予約期限	14日前までに予約要	予約方法	メール・OTA
	島根ワイナリー	住所	島根県出雲市大社町菱根264-2	TEL	0853-53-5577	公式サイト	https://www.shimane-winery.jp/	
旅行代金	<b>¥15,000~</b>		料金に含まれないもの	・ラベル作成したワインの送料 ・ツアー開始時からの交通費		備考	・最小予約人数は2名。最大人数は4名。 ・アルコールを飲むことを計画している場合の有効な身分証明書が必要です。	
お問い合わせ先	おせわさんセンター	住所	島根県松江市殿町63 今井書店2階	TEL	<b>0852-61-8015</b> (9:00~18:00)			



# Title

## Experience making Izumo washi (Japanese paper), a beautiful Japanese folk art ~ plus Shimane Winery!

### Story

Handmade washi (Japanese paper) began in the Izumo region since the Edo period. Eishiro Abe, who inherited this technique, created "Izumo Mingei Washi", a unique washi style that had never existed before, as a result of his encounter with the Mingei (folk art) movement.

Besides, the Izumo region is also known as one of the best production centers of house grapes in Japan. The Shimane Winery makes use of the high quality grapes produced here to produce wine. In recent years, this winery has been widely praised in a number of wine competitions, including a four-star award at the Japan Winery Awards 2020.

In this tour, we will visit the Abe Eishiro Memorial Museum which connects Japanese and Western in Izumo, to learn about the appeal of Izumo washi paper by watching a series of artworks and DVDs, and to experience making your own handmade washi and Izumo washi wine labels. In addition, visitors will be able to discover the charm of Izumo through a lunchtime communication with Izumo washi craftsmen. Perhaps you will even be served a glass of Shimane wine during which.

In this way, you can feel the connection between the Japanese culture of Izumo and the Western wine culture as well as craftsmanship.



### History of the region and experience

#### About Izumo Mingeishi paper

The washi paper which late Living National Treasure Eishiro Abe dedicated his life to, has the characteristics of using raw materials like kozo (mulberry paper), mitsumata (Oriental paperbush) and gampi (a clove-like bush) to make the paper. The kozo paper, which is simple and strong, best represents the traditional features of washi paper. Mitsumata paper is somewhat delicate than kozo paper but is resistant to insects. Gampi paper is also known as the "king of washi". It has a unique texture and softness, with the feature of unflaring and resistant to insects/water, also suitable for writing fine characters. The production technique of gampi paper is the art of handmade paper known how that Eishiro Abe worked so hard to refine and was passionate throughout all his life.



#### Shimane Winery

This winery has been highly acclaimed in numerous competitions, such as a four-star award at Japan Winery Awards 2020 and a gold medal (the highest award in its category) at Japan Wine Competition 2019.



#### Chisokutei restaurant

With the aim of promoting "local production for local consumption", this restaurant was started by local farmers. The restaurant serves plant based county-style food and buckwheat made from domestic stone-milled buckwheat flour. Food here is very healthy. The restaurant offered an extensive seasonal menu such as abundant wild plants in spring, fresh vegetables in summer. In autumn you can enjoy fresh rice, Samutsutake mushrooms and other autumnal delicacies.



### Itinerary



Start time	End time	Contents of tour
9:00		JR Matsue Station Matsue International Tourist Information Office
9:00 - 9:25		Travel by taxi
9:25 - 14:35		<b>Abe Eishiro Memorial Hall</b> DVD appreciation: About Izumo washi paper / Make Uchiwa / Japanese round fans (including paper making and colouring) / Visit workshop / Visit exhibition hall  Lunch at <b>Chisokutei</b> (Bento (Lunch box) with craftsmen)  Make labels for <b>Shimane wine</b> (Can design your own label or print photos)  Free time (souvenir shopping etc.)
14:35 - 15:00		Travel by taxi
15:00		JR Matsue Station



## Amazing experiences

### Uchiwa/Japanese fan making



#### Amazing experiences

- Paper making**
  - Watch DVD to learn process
  - Tamezuki (accumulated papermaking)
  - Remove paper from the frame
  - Make it dry
- Stick the made washi paper**
- Make it dry**
- Shaping**
  - Cut the paper into a fan shape with scissors
  - Edge the sides with washi tape

Time required: 1 hour



### Make labels for Shimane wine



#### Amazing experiences

- Paper making**
  - Tamezuki (accumulated papermaking)
  - Remove paper from the frame
  - Make it dry
- Designed on made washi**
  - Select a design frame
  - Colour along the design frame with a special pen
- Make it dry**
- Stick the washi paper on the wine bottle**

Time required: 1 hour



### Package Description

Facilities	Abe Eishiro Memorial Hall	Address	1754 Higashiwasaka, Yakumo, Matsue, Shimane			TEL	0852-54-1745	Website	http://abe-eishirou.jp/	
	Wi-Fi	NA	Multilingual support	Available	Reservation	Required	Max reservable number	Up to 4	Cancellation fee	6~4days before +50% 3days before ~ on the day -100%
	Restroom	Western style	Language	English / French	Reservation deadline	14 days in advance (MUST)	How to reserve	Mail/online	Payment method	Credit card (payment on the travel day; NA)
Travel price	Shimane Winery		Address	264-2 Hishine, Izumoooyashiro, Shimane			TEL	0853-53-5577	Website	https://shimane-winery.jp/
	¥15,000~		What is not included in the price	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Shipping for labeled wine</li> <li>• Transport after the tour begins</li> </ul>			Note	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Min number of participants: 2</li> <li>• Max number of participants: 4</li> <li>• Please provide valid ID if you are planning to drink alcohol.</li> <li>• English-speaking guide(s) will accompany you.</li> </ul>		
Contact us	Osewasan Centre	Address	2F Imai Shoten, 63 Tonomachi, Matsue, Shimane			TEL	0852-61-8015 (9:00~18:00)			



## 2) コンテンツ資料 自然遺産大山の水と土を楽しむ

### タイトル 自然遺産大山の水と土を楽しむ

#### ストーリー

日本の中国地方で一番高い山・大山の麓にある久古窯は、地元でとれる土を使った独自の技術で銀色に輝く陶器を作り出した窯元です。  
その陶器の色は、雲峰・大山とマッチして神秘的な輝きと共に陶器を醸し出してあり、そんな窯元で焼窯体験をします。  
一方、大山山麓は、その広大なブナ林のおかげで、良質な伏流水や湧水に恵まれた地域。現在でも、山麓地域の水道は、この大山の天然水を利用しており、国の「名水百選」や環境庁の「平成の名水百選」に選ばれた良質な水が湧きだすスポットが点在しています。  
このように大山が有する自然は味わい豊かな酒やビールを作り出す環境に適しており、大山ブルワリーでは自然を生かした造りが営まれています。ブルワリーの周りには、大地、神社など造りに関係する場所を見て工場見学をします。  
このコンテンツは、ブルワリーで試飲をするとともに、先ほどの久古窯の器で試飲でき、これらすべてが大山の自然が生み出す産物と感じながら、モノづくりを通して大山の水と土を楽しむことができます。

#### 施設情報

##### 大山の成り立ち

大山は1922年日本で3番目の国立公園となりました。  
富士山とは大いに異なる複成火山で、古期の成層火山と新期の錐状火山からなり、小噴発や激しい浸食と崩落によって、階層や北壁の急崖を形成。  
森の落葉(かんよう)性とよく言われますが、ブナの木は20万から30万の葉をつけるといわれています。やがてその葉が落ちて、腐葉土となりその保水力の高い天然のスポンジは雪解け水や雨水を貯えます。

##### たたら製鉄と大山エリア

たたら場とは鉄鉱石から鉄を取り出す作業を行う場所です。いわば昔の製鉄所です。  
鉄の伝来は紀元前3〜4世紀で、弥生時代にはすでに製鉄技術があったとされていますが現在も遺構は不明です。弓ヶ浜半島は平安時代に一部水没しましたが、再び復活したのは、中国山地で生まれた「たたら製鉄」によるものが大きいと考えられています。

##### 大山焼久古窯

銀色に輝く玉鋼燻天目(たまはがねようてんもく)  
この大山には世界で唯一ここにない、「玉鋼燻天目(たまはがねようてんもく)」という独特の技術を取り入れています。  
世界で稀にみる鉄燻の技術を活かした、上品で深みのある銀色の陶器です。

##### 大山ブルワリー (久米桜麦酒)

中国地方の最高峰「大山」の麓で、美しい砂浜の浜である「水」にこだわりの、大山の伏流水をはじめとした恵まれた環境・資源を生かした地酒・地ビール造りに取り組む。「大山Gビール」は、地元産原料作りにも取り組み、「ビールで季節を表現したい」想いで大山らしさを追求しています。

#### 行程

開始	終了	コンテンツ内容
	12:00	JR米子駅
12:00	12:25	タクシーで移動
12:25	14:50	大山焼久古窯 大山焼ロクロ体験
14:50	15:00	タクシーで移動
15:00	17:00	久米桜麦酒 (大山Gビール) 大山ブルワリー・ツアー
17:00	17:25	タクシーで移動
17:25		JR米子駅

#### ルート図

### 体験内容

#### 大山焼ロクロ体験

##### 体験内容・流れ

手びねり、電動ロクロ

- ① 説明  
大山焼の歴史、作品の特徴
- ② 説明  
陶芸体験の内容
- ③ 製作  
自分のサインなどを彫り込むことも可能
- ④ 釉薬の色決め  
4種類から釉薬をお選びいただけます

所要時間: 1時間  
・後の工程は職人が行います。  
・焼き上がりまで1〜2ヶ月かかります。

#### ブルワリーツアー

##### ブルワリーツアーの流れ

- ① オリエンテーリング(10分)
- ② 原材料の産地見学(45分)  
大山の伏流水(地蔵湧の泉)、酒米の田んぼ、ホップ畑などにワゴン車でご案内  
※時期、天候などにより見学場所が変わります。
- ③ 大山Gビール工場見学(30分)
  - ① 原材料紹介「麦芽」「ホップ」
  - ② 「製造過程」糖化・麦汁造り
  - ③ 「製造過程」発酵・貯蔵
  - ④ 工場設備紹介
  - ⑤ 工場内見学
- ④ テイスティング(20分)  
「大山Gビール」と「地酒くめざくら」をご用意しています。
- ⑤ ショッピング(15分)  
※ブルワリーツアー参加特典として、ガンバリウス売場でお買い上げのビール・お酒が10%割引になりますので是非ご利用ください。

商品の概要										
施設情報	大山焼久古窯	住所	鳥取県石碕町久古1401		TEL	0859-68-2098	公式サイト	https://kugogama.wordpress.com/		
	久米桜麦酒		鳥取県西伯郡伯耆町丸山1740-30		TEL	0859-39-8033	公式サイト	http://g-beer.jp/		
	Wi-Fi環境	大山焼久古窯 久米桜麦酒	無 有	多言語対応	有	予約要否	要	対応可能人数	4名まで可能	
旅行代金	トイレ	洋式	言語	無	予約期限	14日前までに 予約要	予約方法	メール・OTA	精算方法	クレジットカード 当日払い 不可
	¥13,500~	料金に 含まれないもの		・作成した陶器とお土産として 購入した陶器の送料 ・ツアー開始時からの交通費		備考		・最小予約人数は2名。最大人数は4名。 ・アルコールを飲むことを計画している場合の有効な身分証明書が必要です。 ・英語が話せるガイドが同行いたします。		
お問い合わせ先	おせわさんセンター	住所	鳥取県松江市殿町63 今井書店2階		TEL	0852-61-8015 (9:00~18:00)				



# Title Enjoy the water and soil of Mt. Daisen, a natural heritage site.

## Story

Located at the foot of Mt. Daisen, the highest mountain in the Chugoku region of Japan, Kugogama is a pottery kiln that produces silver-coloured pottery with unique technique which uses locally-produced iron.

It's experience pottery making at the kiln which can create a mysterious brilliance on potteries, with the colour matches Mt. Daisen the sacred mountain.

On the other hand, thanks to the vast beech forests, the area at the foot of Mt. Daisen is blessed with high-quality underground water and spring water. Even today, water supply in the foothills area is fed by the natural water of Mt. Daisen. There are many spots dotted around the area which have been listed on the "100 Famous Waters" in Japan and "Heisei 100 best water sources" by Ministry of Environment.

Hence Mt. Daisen's natural environment is ideal for producing richly flavoured sake and beer. We will visit the Daisen Brewery which makes the most of nature to brew sake, plus springs, earth, shrines and other related places around it.

In this tour, you can taste and feel products of Mt. Daisen's nature at the brewery with potteries made by Kugogama, then enjoy the water and soil of Mt. Daisen by handmaking.

## History of the region and experience

### A history of Mt. Daisen

Mt. Daisen became the 3rd national park of Japan in 1922. Considerably different from Mt. Fuji, Mt. Daisen is a composite volcano which consisted of ancient stratovolcanoes and new bell-shaped volcanoes, with steep cliffs on both south and north walls formed by small explosions, intense erosion and collapse. It is often said that the forest is recharging, and a beech tree is said to have 200,000 to 300,000 leaves. The leaves, which eventually fall to form humus, are like a natural sponge that holds water from melting snow and rain.

### Tatara Ironworks and Mt. Daisen Area

Tatara-jo, the so-called old ironworks, is a place where iron is extracted from iron sand. It is said that iron was introduced to Japan in the 3rd-4th century BC, and that iron making technology was already in use in the Yayoi period, but the truth is still unknown today. The Yumigahama peninsula was partially submerged in water during the Heian period (794-1185). It is believed that the revival of the area owns much to Tatara ironworks in the Chugoku Mountains.

### Daisen Yaki Kugogama (Daisen pottery of Kugogama kiln)

The silver-coloured Tamahagane Yotenmoku. Daisen Pottery is the world's only pottery that uses a unique technique called "Tamahagane Yotenmoku". An elegant, deep silvery coloured pottery that makes use of an iron glaze technique which is rare in the world.



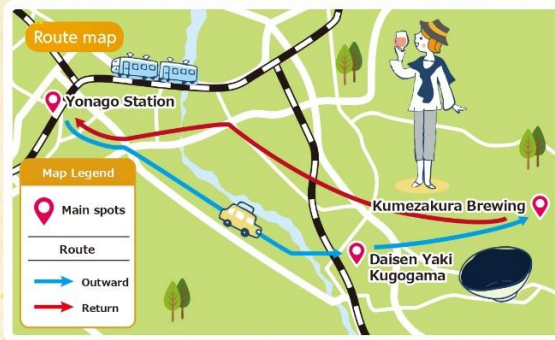
### Daisen Brewery (Kumezakura Beer)

Located at the foot of Mt. Daisen, the highest mountain in Chugoku region, the brewery is dedicated to producing delicious local sake and beer. It is picky about water, the source of all good liquor, and makes the best use of the blessed environment, and resources such as subsoil water of Mt. Daisen. "Daisen G Beer" is made from locally produced ingredients and pursues Mt. Daisen's uniqueness with the desire to "express seasons through beer".



## Itinerary

Start time	End time	Contents of tour
12:00		JR Yonago Station
12:00 - 12:25		Travel by taxi
12:25 - 14:50		Daisen Yaki Kugogama Try Daisen pottery making
14:50 - 15:00		Travel by taxi
15:00 - 17:00		Kumezakura Beer (Daisen G Beer) Daisen Brewery • Tour
17:00 - 17:25		Travel by taxi
17:25		JR Yonago Station



## Amazing experiences

### Daisen pottery making



### Amazing experiences

Handbuild, electric potter wheel

- Introduction**  
History and feature of Daisen pottery
- Description**  
Contents of pottery experience
- Making**  
Your own signature can be engraved
- Choose the glaze colour**  
From a choice of four

Time required: 1 hour  
 • The rest of the process will be finished by craftsmen.  
 • It might take 1-2 months to complete the firing process.

### Brewery Tour



### Tour schedule

- Orientation (10mins)**
- Visit the places of origin (45 mins)**  
Subsoil water of Daisen (Juzutakinozumi spring), fields of rice for sake brewery, hop fields, etc. (by van)  
\*Sites to visit may change depending on season and weather.
- Visit Daisen G Beer factory (30mins)**  
① Introduction of ingredients: malt and hops  
② [Production process] Saccharification / wort making  
③ [Production process] Fermentation / storage  
④ Introduction to factory facilities  
⑤ Factory tour
- Tasting (20mins)**  
Let's enjoy Daisen G Beer and "Kume-zakura" (local sake)!
- Shopping (15mins)**  
You will receive a 10% discount coupon good for beer / liquor at the Gambaisuis shop as a benefit of participating in brewery tour. Please feel free to use it.

## Package Description

Facilities		Address		TEL		Website	
Daisen Yaki Kugogama		1401 Kugo, Hoki-Cho, Tottori		0859-68-2098		https://kugogama.wordpress.com/	
Kumezakura Beer		1740-30 Maruyama, Hoki-Cho, Saihaku-Gun, Tottori		0859-39-8033		http://g-beer.jp/	
Wi-Fi	Daisen Yaki Kugogama: NA Kumezakura Beer: Available	Multilingual support	Available	Reservation	Required	Max reservable number	Up to 4
Restroom	Western style	Language	NA	Reservation deadline	14 days in advance (MUST)	How to reserve	Mail/online
Travel price	¥13,500~	What is not included in the price	• Shipping fee for potteries you made and purchased as souvenirs • Transport after the tour begins		Note	• Min number of participants: 2 • Max number of participants: 4 • Please provide valid ID if you are planning to drink alcohol. • English-speaking guide(s) will accompany you.	
Contact us	Osewasan Centre	Address	2F Imai Shoten, 63 Tonomachi, Matsue, Shimane	TEL	0852-61-8015 (9:00~18:00)		



### 3) コンテンツ資料 出雲風土記の地を巡る体験旅行

## タイトル 出雲風土記の地を巡る体験旅行 ～うつわ作りと酒・出で湯～

### ストーリー

築100年の建築物の中で、地元の土や石等を使ったうつわ作りをしている工房があります。工房がある地の周りには、出雲風土記に出てくる神話の舞台が存在しています。工房の主人は、そんな地に魅力を感じて工房を始めたそうです。

このコンテンツでは、工房の主人と語りながらうつわ作り体験や食事をして、その魅力を感じてもらいたいと考えています。

さらに、工房から奥出雲の方へ移動しながら神話と関係ある歴史ある神社に立ち寄りながら、宿泊先となる出雲風土記にも出てくる海潮温泉にたどり着きます。その宿の「海潮荘」の中では、先ほどの主人とクラフト作家の仲間たちが作った数々の作品がお迎えします。そして宿と湯、器、さらに日本酒発祥といわれる出雲の酒を夕食で楽しめる、そんなコンテンツに仕上げています。

### 行程

開始	終了	コンテンツ内容
9:30		JR松江駅松江国際観光案内所
10:00 - 11:00		八雲立つ風土記の丘（展示学習館）
11:10 - 14:10		いまみや工房 陶芸体験 電動ロクロ 古民家カフェでピザランチ
14:10 - 16:35		神魂神社（かもす じんじや） - はにわロード（徒歩） 八重垣神社・須我神社（雲南市）
16:35 - 19:30		旭日酒造が蔵元の酒、見学蔵元の酒器を説明 風土記記載の秘湯を楽しむ 食事・宿泊

■ タクシー ※はにわロードは徒歩

### 施設情報

#### 島根県立 八雲立つ風土記の丘

松江市南郊の大庭地区・竹矢地区一帯は、島根県を代表する文化財（史跡や社寺等）が集中しており、**古代出雲の中心地**です。

島根県はこの文化財の宝庫といえる東西5km、南北4kmの範囲を「八雲立つ風土記の丘」と称し、点在する史跡群をフィールド・ミュージアムとして総合的に保存・活用しています。

風土記の丘地内には、島根県最大の山代二子塚古墳（前方後古墳）をはじめとする主要な古墳が分布し、奈良時代には中倉遺跡・出雲遺跡などが設置されており、政治・経済・文化の中心地と言えます。さらには出雲国造家ゆかりの神社や寺もあり、古代以来の歴史文化が今も息づいています。

#### いまみや工房

出雲国引き神話の舞台、今夏の 築100年の古民家に工房を開いて10年、石見土・求待石・薪炭など、地元材料を大切に、使い手の美意識を目指して器を作っている。土球を生かした素材なまめかごとエスニックな作風が特長。

#### 海潮温泉

「出雲風土記」に「須我の小川の海潮の村の川中に温泉あり」と残るにしえの温泉地。1300年をしのぶ海潮温泉。

#### 旭日酒造

個人商店を経て明治2年に創業。代表銘柄は「十担目（じゅうじんだい）」、出雲大社御神酒「八千矛（やちほこ）」。

大正時代の土蔵の高で自然な逆りを重視し、日々の暮らしに寄り添う酒を醸造しています。伝統的な生醸造りや熟成酒などにも取り組んでいます。

### ルート図

凡例  
 ● コンテンツポイント  
 〓 ルート  
 → 往路  
 ← はにわロード

## 体験内容

### 陶芸体験 電動ロクロ

#### 体験内容・流れ

手びねり、電動ロクロ、皿絵付け

- ① 説明  
いまみや工房の作品の特徴
- ② 説明  
陶芸体験の内容
- ③ 製作
- ④ 釉薬の色決め  
数種類の釉薬からお選びいただけます

所要時間：1時間  
 ・後の工程は作家が行います。  
 ・焼き上がりまで1～2ヶ月かかります。

### アート&クラフト作家作品（海潮荘展示作品）

商品の概要										
施設情報	いまみや工房	住所	島根県松江市東出雲町大字今宮320	TEL	0852-52-2928	公式サイト	http://kimachikun.blog113.fc2.com/			
	Wi-Fi環境	有	多言語対応	有	予約要否	要	対応可能人数	4名まで可能	キャンセル料	6～4日前→50% 3日前～当日キャンセル→100%
	トイレ	洋式	言語	英	予約期限	14日前までに予約要	予約方法	メール・OTA	精算方法	クレジットカード 当日払い 不可
旅行代金	旭日酒造	住所	島根県松江市今市町662	TEL	0853-21-0039	公式サイト	http://jujiasahi.co.jp/			
	¥32,500～		料金に含まれないもの	・作成した陶器とお土産として購入した陶器の送料 ・ツアー開始時からの交通費		備考	・最小予約人数は2名。最大人数は4名。 ・アルコールを飲むことを計画している場合の有効な身分証明書が必要です。 ・英語が話せるガイドが同行いたします。			
お問い合わせ先	おせわセンター	住所	島根県松江市殿町63 今井書店2階	TEL	0852-61-8015 (9:00～18:00)					



# Title

# A hands-on trip to the land of "Izumo Fudoki" - Experience pottery making, sake and Onsen

## Story

Inside a century old building, there is a workshop where people make tableware using local clay and stones. Attracted by the place where the workshop is located, which is surrounded by the mythological stage of Izumo Fudoki (Culture and Geography of Izumo Province), the workshop owner started the workshop.

In this tour, let's experience tableware making and feel the charm of this place while having a dinner and chat with owner of the workshop.

From the workshop, keep moving on to Okuizumo and stop by a historical shrine related to the mythologies, then to the Ushio Onsen which is also mentioned in Izumo Fudoki as well as the inn we will stay. Inside the Ushiohō Inn, you will be welcomed by a number of works of art made by the owner and his fellow craftsmen. You can enjoy the inn, onsen, tableware and the sake from Izumo, the birthplace of Japanese sake, at dinner, all in this tour!

## History of the region and experience

### Shimane Prefectural Yakumotatsu Fudoki-no-Oka

Area around the Onba and Chikuya districts in the southern suburbs of Matsue City are the center of ancient Izumo, as well as a concentration of cultural assets, historic sites, shrines and temples, which also represents Shimane Prefecture. Shimane Prefecture has named this 5 km east-west and 4 km north-south area, which is a treasure trove of cultural assets, "Yakumotatsu Fudoki no-Oka" to comprehensively preserve and utilize the dotted historic sites around as a field museum. Since major burial mounds, including Yamashiro Futaguzuka Kofun (the largest burial mound in Shimane Prefecture, Zempo Kouhou Fun, plus the Izumo Kokuchō and Izumo Kokubunji temples were established during the Nara period (710-794), making the hilly area of Fudoki-no-Oka a political, economic and cultural centre. In addition, there are also shrines and temples associated with the Izumo-no-Kunimiyatako family, whose old history and culture have been passed down since ancient times.

### Imamiya Workshop

10 years have passed since the workshop was opened in a century old house in Imamiya, the stage of the Izumo myth Kuni-Biki (land dragging). Local materials such as Iwami earth, amachiishi stone and wood ashes are used to make tableware with the aim of users' smile. The works are characterized by a simple warmth with plain earthiness and an ethnic style.



### Ushio Onsen

A hot spring with memories for 1300 years which was mentioned in the Izumokuni Fudoki (Culture and Geography of Izumo Province), quote, "There is an Onsen at the middle of the river at Yubuchi village of in the stream of Suga".



### Asahi-Shuzo Sake Brewery

Founded in 1877 after working as an individually owned business. Its representative brands include "Jiji Asahi" and "Toshiko" which is also the sacred sake of Izumo Taisha Shrine. Emphasising on natural style, this brewery uses a cellar built in Taisho period (1912-1926) with mud walls with mud walls to brew sake that is close to our daily lives. The brewery is also involved in Kimoto (bake mash produced using a more traditional method) brewing and Kurodai type aged sake.



## 行程

Start time	End time	Contents of tour
9:30		JR Matsue Station Matsue International Tourist Information Office
10:00 - 11:00		Yakumotatsu Fudoki-no-Oka (Museum)
11:10 - 14:10		Imamiya Workshop Pottery experience with electric wheel Pizza lunch at an old house cafe
14:10 - 16:35		Kamosu Jinja Shrine - Haniwa Road (on foot) Yaegaki Jinja Shrine / Suga Jinja Shrine (Unnan City)
16:35 - 19:30		Ushio Onsen Introduction of Asahi-Shuzo Sake Brewery's sake and cups from the kiln Ushiohō Inn Enjoy the secret hot spring described in Fudoki Dining and sleeping

● Taxi ※Haniwa Road (on foot)

## Route Map



## Amazing experiences

### Pottery experience with electric wheel



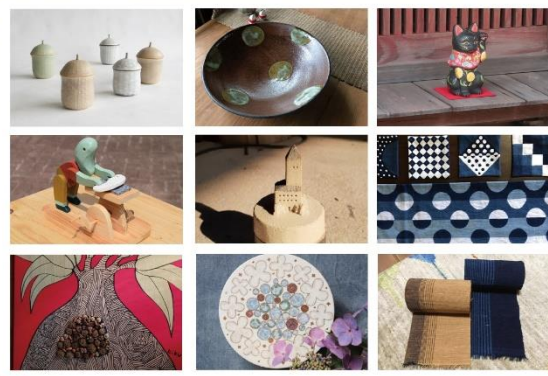
### Amazing experiences

Forming by hand / Electric wheel / Plate painting

- 1 Introduction**  
Features of Imamiya Workshop's works
- 2 Description**  
Contents of pottery experience
- 3 Pottery making**
- 4 Choose the glaze colour**  
From a choice of several glaze.

Time required: 1 hour  
 ・The rest of the process will be finished by craftsmen.  
 ・It might take 1-2 months to complete the firing process.

### Arts & Crafts works (exhibited at Ushiohō Inn)



## Package Description

Facilities	Imamiya Workshop	Address	320 Imamiya, Higashiizumo, Matsue, Shimane	TEL	0852-52-2928	Website	http://kimachikun.blog113.fc2.com/			
	Wi-Fi	Available	Multilingual support	Available	Reservation	Required	Max reservable number	Up to 4	Cancellation fee	6~4days before →50% 3days before~on the day →100%
	Restroom	Western style	Language	English	Reservation deadline	14 days in advance (MUST)	How to reserve	Mail/online	Payment method	Credit card (payment on the travel day: NA)
Travel price	Asahi-Shuzo Sake Brewery	Address	662 Imaichi, Matsue, Shimane	TEL	0853-21-0039	Website	http://jujiasahi.co.jp/			
	¥32,500~	What is not included in the price	Shipping fee for potteries you made and purchased as souvenirs Transport after the tour begins	Note		Min number of participants: 2 Max number of participants: 4 Please provide valid ID if you are planning to drink alcohol. English-speaking guide(s) will accompany you.				
Contact us	Osewasan Centre	Address	2F Imai Shoten, 63 Tonomachi, Matsue, Shimane	TEL	0852-61-8015 (9:00~18:00)					



## 4) コンテンツ資料 日本酒発祥の地出雲に1000年以上も伝わる酒と歴史と文化を巡る体験旅行

### タイトル

### 日本酒発祥の地出雲に1000年以上も伝わる酒と歴史と文化を巡る体験旅行 ～神様と日本酒巡り～

#### ストーリー

日本最古の歴史書「古事記」の舞台だった出雲。今も八百万の神が集い、神々に愛される場所には、そこかしこに神様たちの足跡があります。このコンテンツでは、神様たちの足跡に沿って、神話に出てくる日本酒にまつわる神社や酒蔵を日本酒ソムリエと共に楽しく巡ります。

日本最古の酒造りの歴史のある佐香神社、神々が最後にお立ち寄りになる万九千神社では、神社とお酒にまつわるお話を宮司様から聞くことができます。

昼食には、出雲名物の出雲そばと日本酒ソムリエが厳選した日本酒で、日本食と日本酒のマリアージュをお楽しみいただけます。また、原料や品質にこだわり上質な日本酒を作っている旭日酒造に立ち寄り、日本酒の利き酒体験を楽しむことができます。

#### 行程

開始	終了	コンテンツ内容
9:20		JR松江駅
9:20 - 9:35		松江しんじ湖温泉駅 <small>松江しんじ湖温泉駅～一畑口駅</small>
10:30 - 10:50		佐香神社 <small>(さかじんじゃ)</small> <small>一畑口駅～出雲大社前駅</small>
11:50 - 13:30		稲さの浜 出雲大社
13:35 - 14:35		そば処田中屋 日本酒とそばのマリアージュ <small>出雲大社前駅～川島駅～電鉄出雲市駅</small>
15:20 - 16:00		旭日酒造 利き酒体験
16:10 - 16:40		万九千神社 <small>(まんくせん-じんじゃ)</small>
16:50		出雲市駅

— 徒歩   
 — タクシー   
 — 一畑電車

#### 施設情報

##### 神話について

一般的に旧暦10月は「神無月」といいますが、全国の八百万の神々が出雲の国に集まられることから、島根県では「神在月」といいます。神々は、この地で縁結びや五穀豊穡、酒造りなどについて神話をなされます。日本最古の歴史書「古事記」や「日本書紀」をはじめ、出雲地方には様々な神話が伝承され、島根の歴史は神と共に語り継がれています。そして、島根に伝わる神話の中で大きな役割を果たすのが「酒」の存在です。神話の中で神々は酒を醸造し、酒宴を催し、ときには酒の力を使い悪者を退治なされます。

##### 旭日酒造

個人商店を経て明治2年に創業。代表銘柄は「十旭日(じゅうじあさひ)」。出雲大社御神酒「八千矛(やちほこ)」。大正時代の土壁の蔵で自然な造りを重視し、日々の暮らしに寄り添う酒を醸造しています。伝統的な生蔵造りや熟成酒なども取り組んでいます。



##### ルート図



凡例  
 ● コンテンツポイント  
 ー ルート  
 → 往路  
 ← 帰路

### 体験内容

#### 旭日酒造 利き酒体験



##### 体験内容・流れ

- ① 説明  
旭日酒造のお酒について
- ② 飲み比べ
- ③ 温度を変えて、飲み比べ

所要時間：30分程度

#### 立ち寄り観光地

##### 佐香神社 (松尾神社)

日本最古の酒造りの歴史、主祭神クヌカミを祀る「佐香神社」。クヌカミはスサノオが根の国に至る際、アマテラスと誓約を交わした際に産まれた神といわれています。火の神であり、神仏習合においては千手観音と同一視されることもあります。

##### 稲さの浜

出雲大社の西方1kmにある海岸で、国譲り、国引きの神話で知られる浜。夏には稲さの浜海水浴場として、海水浴が楽しめます。

##### 出雲大社

出雲大社は「縁結びの神様」として、また「因幡のしろうさぎ神話」で有名な、大国主大神(おおくにぬしのおおかみ)をお祀りしています。大国主大神は、幾多の困難を越えて国土を開拓された神々が神護を終えた後、最後にお立ち寄りになる神社です。

##### 万九千神社

八百万の神々が酒を飲み交わす直会と旅立ちの場所「万九千神社」。斐伊川の畔に鎮座する社は、旧暦10月の神在月に、全国から出雲に集まった神々が神護を終えた後、最後にお立ち寄りになる神社です。

#### 商品の概要

施設情報	旭日酒造	住所	島根県松江市今市町662		TEL	0853-21-0039	公式サイト	http://jujasahi.co.jp/		
	Wi-Fi環境	無	多言語対応	無	予約要否	要	対応可能人数	4名まで可能	キャンセル料	6～4日前→50% 3日前～当日キャンセル→100%
	トイレ	洋式	言語	英・仏	予約期限	14日前までに 予約要	予約方法	メール・OTA	精算方法	クレジットカード 当日払い 不可
旅行代金	¥26,000～		料金に含まれないもの	・ツアー開始時からの交通費 ・昼食時の提供したお酒以外に別途注文される飲み物代		備考	・最小予約は2名。最大人数は4名。 ・アルコールを飲むことを計画している場合の有効な身分証明書が必要です。 ・英語が話せるガイドが同行いたします。			
お問い合わせ先	おせわさんセンター		住所	島根県松江市殿町63 今井書店2階		TEL	0852-61-8015 (9:00～18:00)			

92



## Title

# Experience sake, history and culture of over 1,000 years via a trip to Izumo, the birthplace Japanese sake - A tour of sake with the gods



## Story

Being as the stage of Kojiki (Records of Ancient Matters), Japan's oldest history book, Izumo is still the place where 8 million gods love and gather even today, with gods' footprints everywhere. In this tour, let's follow in the footsteps of gods and visit the shrines and breweries associated with the mythical sake, with sake sommeliers together.

You can hear stories about the shrine and sake from the priests at Saka Jinja Shrine, with the longest history of sake brewing in Japan, and Mankusen Jinja Shrine, the last stop for the gods.

For lunch, you will enjoy a marriage of Japanese food and sake, which includes Izumo soba, a famous Izumo staple, and sake carefully selected by sake sommeliers. Also don't miss the opportunity to stop by and enjoy sake tasting experience at Asahi-Shuzo Sake Brewery, which produces prime sake while insisting on high level ingredients and quality.

## History of the region and experience

### About the Myths

October in lunar calendar is generally called 'Kannazuki' (Month without Gods). However, it is called 'Kami-arizuki' (Month with Gods) in Shimane Prefecture since eight million gods all over Japan gather there in the land of Izumo.

The gods discuss issues such as marriage, good harvests and sake brewing of the mortal world. Various myths are passed on from generation to generation in Izumo region through the oldest history books in Japan, Kojiki and Nihonshoki (Chronicles of Japan), and the history of Shimane is handed down with gods.

Sake plays a major role in the myths of Shimane. Gods brew sake, hold feasts and sometimes use the power of sake to defeat evildoers in the myths.

### Asahi-Shuzo Sake Brewery

Founded in 1872 after working as an individually owned business.

Its representative brands include 'Juji Asahi', and 'Yachihoko' which is also the sacred sake of Izumo Taisha Shrine.

Emphasising on natural style, this brewery uses a cellar built in Taisho period (1912-1926) with mud walls with mud walls to brew sake that is close to our daily lives. The brewery is also involved in Kimoto (sake mash produced using a more traditional method) brewing and Matured type aged sake.



## Itinerary

Start time	End time	Contents of tour
9:20	9:20	JR Matsue Station
9:20	9:35	Matsue Shinjiko Onsen Station
10:30	10:50	Saka Jinja Shrine Matsue Shinjiko Onsen Station ~ Ichibataguchi Station Ichibataguchi Station ~ Izumotaisha-mae Station
11:50	13:30	Inasa-no-hama Beach Izumo Taisha Shrine
13:35	14:35	Soba Restaurant Tanaka-ya A marriage of Japanese sake and soba Izumotaisha-mae Station ~ Kawato Station ~ Dentetsu Izumo-shi Station
15:20	16:00	Sake tasting experience at Asahi-Shuzou Brewery
16:10	16:40	Mankusen Jinja Shrine
16:50	16:50	Izumo-shi Station

On foot Taxi Ichibata Dentetsu Railway



## Amazing experiences

### Sake tasting experience at Asahi-Shuzou Brewery



### Amazing experiences

- Introduction  
About Asahi-Shuzou Brewery's Sake
- Taste & compare
- Taste & compare again at different temperatures



Time required: 30 minutes

### Spots to stop by

#### Saka (Mankusen) Jinja Shrine

With the **longest history of sake brewing** in Japan, Saka Jinja Shrine is **dedicated to the god Kusunokami**.

Kusunokami is said to have been born when Susanoo made a pledge with Amaterasu (the goddess of the sun) on his way to No-no-kuni (Land of origin).

He is the god of fire and is sometimes equated with Senju-Kannon (the thousand-armed Avalokiteshvaraya) according to Shinto-Buddhist syncretism.

#### Izumo Taisha Shrine

Izumo Taisha Shrine is dedicated to Okuninushi no Okami, the **god of marriage** and famous for the **myth of the Inaba no Shirousagi (White Hare of Inaba)**.

Okuninushi-no-okami is the god who found the nation after overcoming many difficulties. Izumo Taisha Shrine is believed to be built as a compensation for Kuni-Yuzuri (Transfer of the land) as its origin.

#### Inasa-no-hama Beach

A beach located on the coast 1km west of Izumo Taisha Shrine and is known for the **myths of Kuni-Yuzuri (Transfer of the land) and Kuni-Biki (Land dragging)**. In summer, the beach is a seaside resort, where you can enjoy swimming.

#### Mankusen Jinja Shrine

Mankusen Jinja Shrine is the place of Naorai (feast), where the 8 million gods drink together and set off on their journeys.

Enshrined on the shore of the Hii-Kawa River, the **shrine is the last stop for the gods who gather in Izumo from all over Japan to attend their meeting** during the month of 'Kami-arizuki' (October in the lunar calendar).

## Package Description

Asahi-Shuzo Sake Brewery	Address	662 Imaichi, Matsue, Shimane				TEL	0853-21-0039	Website	http://jujiasahi.co.jp/	
Facilities	Wi-Fi	NA	Multilingual support	NA	Reservation	Required	Max reservable number	Up to 4	Cancellation fee	6~4days before→50% 3days before~on the day→100%
	Restroom	Western style	言語	English / French	Reservation deadline	14 days in advance (MUST)	How to reserve	Mail/online	Payment method	Credit card (payment on the travel day: NA)
Travel price	¥26,000~			What is not included in the price	<ul style="list-style-type: none"> <li>Transport after the tour begins</li> <li>Cost of drinks ordered separately beside the alcohol provided at lunch (if any)</li> </ul>		Note	<ul style="list-style-type: none"> <li>Min number of participants: 2</li> <li>Max number of participants: 4</li> <li>Please provide valid ID if you are planning to drink alcohol.</li> <li>English-speaking guide(s) will accompany you.</li> </ul>		
Contact us	Osewasan Centre	Address	2F Imai Shoten, 63 Tonomachi, Matsue, Shimane				TEL	0852-61-8015 (9:00~18:00)		



## 5) コンテンツ資料 日本の伝統文化に触れる

### タイトル

## 日本の伝統文化に触れる ～美術館と藍染を通して～

### ストーリー



出雲・大山エリアの中にある安来の地には、日本庭園や民謡、広瀬紺などの日本文化が近接して存在しています。このコンテンツの中で、足立美術館は、アメリカの庭園ランキングで18年連続日本一に選ばれた日本庭園のほか、近代日本画、陶芸など約2000点を所蔵する日本有数の美術館です。その近くには安来節演芸館があり、軽快なリズムで踊るコミカルな「安来節」という民謡を鑑賞し、その後、外国人にも知られている日本文化を代表する藍染を体験して楽しく巡ります。

### 行程

開始	終了	コンテンツ内容
9:15	12:00	<b>足立美術館</b> 日本一の日本庭園と美術館を見学 カフェ、茶室、お土産の買い物など <b>安来節演芸館</b>
12:00	13:00	<b>竹葉</b> (薬膳料理・海鮮料理)
13:10	15:00	<b>広瀬紺センター</b> 藍染体験(ハンカチ)
15:40		<b>JR松江駅</b>

■ 徒歩 ■ タクシー

### 施設情報

#### 足立美術館

創設者、足立全順により1970年に設立された足立美術館。横山大観をはじめとする近代から現代の日本画や北大路魯山人の陶芸などを中心に総数約2000点を所蔵しているほか、5万坪の日本庭園は、米国の日本庭園専門誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」による庭園ランキングで、18年連続日本一に選ばれています。2020年春に新設された「魯山人館」では、北大路魯山人の陶芸・書画など常時約120点の作品を堪能できます。



#### 庭園

枯山水庭をはじめ、5万坪に及ぶ多様な日本庭園は、四季折々にさまざまな表情を醸出し、借景の自然の山々との調和はまさに生きた日本画ともいえるでしょう。



#### 広瀬紺

広瀬紺は、正藍・手織りの木綿紺です。文政7年(1824年)に町屋 長岡謙祥の妻貞子が米子で紺の染織法を伝授され、広瀬藩内の婦女子に広めたのが始まりとされています。その後、幕末から明治にかけて染め・織り等に改良が加えられ、広瀬紺の技術が確立されました。明治30年代には年間13万反の生産量となり全国にまで販路を広げました。戦後は自家生産のみとなりましたが、1962年に県の無形文化財に指定され、1985年には広瀬紺センターが完成し、施設内の広瀬紺信託所で技術を伝承しています。



### ルート図




凡例  
 ● コンテンツポイント  
 ー ルート  
 → 往路  
 ← 帰路  
 → その他

### 体験内容

#### 藍染体験

##### 藍染体験の流れ




- ① ガーゼハンカチを輪ゴムで絞って模様を付ける。
- ② お湯につけて水分を十分に浸透させ、軽く脱水する。
- ③ 藍に3分間浸ける。
- ④ 引き上げてしっかり絞り、広げて空気にさらし、酸化させることで発色・定着させる。
- ⑤ ③～④を4・5回繰り返し、望む色に染める。
- ⑥ 輪ゴムを取り、水洗いしたのち軽く脱水して終了

※濡れた状態で持ち帰っていただきます。帰った後に「戻し出し(あくだし)」の作業をしてもらいます。方法を書いた紙を作品とともにお渡しします。

#### 立ち寄り観光地


##### 安来節演芸館

「安来節演芸館」は、平成18年1月にオープンした民謡・安来節の殿堂です。生の安来節を上演し、皆様に「安来節の世界」をご堪能いただいております。安来特産のどじょう料理やお土産物も充実。山陰にご旅行の際は、ぜひ立ち寄りください。どじょうすくい語り体験もあります。



##### 竹葉

足立美術館より徒歩30秒の宿です。天然かけ流し温泉は24時間利用可能。お食事は山陰の郷土食を中心に境港からの朝どれ魚をご用意した海鮮の他、健康美容食も人気で温泉と健康をテーマとした食事も好評。



商品の概要								
施設情報	広瀬紺センター	住所	島根県安来市広瀬町帳775-1	TEL	0854-32-2575	公式サイト	<a href="http://furusato.sanin.jp/p/area/yasugi/9/">http://furusato.sanin.jp/p/area/yasugi/9/</a>	
	Wi-Fi環境	無	多言語対応	無	予約要否	要	対応可能人数	4名まで可能
	トイレ	洋式	言語	無	予約期限	14日前までに予約要	予約方法	メール・OTA
旅行代金	足立美術館	住所	島根県安来市古川町320	TEL	0854-28-7111	公式サイト	<a href="https://www.adachi-museum.or.jp/en/">https://www.adachi-museum.or.jp/en/</a>	
	¥15,500～		料金に含まれないもの	・ツアー開始時からの交通費 ・昼食時の提供したお酒以外に別途注文される飲み物代		備考	・最小予約人数は2名。最大人数は4名。 ・英語が話せるガイドが同行いたします。	
お問い合わせ先	おせわセンター	住所	島根県松江市殿町63 今井書店2階	TEL	0852-61-8015 (9:00～18:00)			



# Title Explore traditional Japanese culture - through art museums and indigo dyeing

## Story



Located in the Izumo / Daisen area, the land of Yasugi is an ideal place to experience Japanese culture such as Japanese gardens, folk music and Hiroso Gasuri.

In this tour, let's visit Adachi Museum of Art, which is one of Japan's leading museums with a collection of around 2,000 modern Japanese paintings and ceramics, as well as the best garden in Japan for 18 consecutive years voted by a US journal's Japanese garden ranking. Nearby is the Yasugibushi Engeikan Theatre, you can watch the comical "Yasugibushi" folk song danced to a light rhythm there, then experience indigo dyeing, a representative of Japanese culture which is known all around the world.

## History of the region and experience

### Adachi Museum of Art

The Adachi Museum of Art was established in 1970 by its founder, Adachi Zenko.

Besides its collection of approximately 2,000 works, including modern and contemporary Japanese paintings by Takan Yokoyama and ceramics by Kitajiro Rosanjin, the 50,000 tsubo (1 tsubo=3.3m) Japanese garden has been voted as the best garden in Japan for 18 consecutive years by "Journal of Japanese Gardening" (USA).

Visitors can enjoy around 120 works of art including ceramics, calligraphy and paintings by Kitajiro Rosanjin in the newly opened Rosanjin Gallery since spring of 2020.



### Japanese garden

The garden is truly a living Japanese painting with its Karesansui (dry landscape style) and 50,000 tsubo (1 tsubo=3.3m) of diverse Japanese landscaping, which has a variety of expressions in each of the four seasons, as well as the harmony that benefits from the scenery of natural mountains.

### Hiroso Gasuri

An indigo, hand-woven cotton kasuri. It is said to have begun in 1824 when Sadako, the wife of the town doctor Nagaoka Kencho, was taught the dyeing and weaving method in Yonago, and spread it to the women in Hirose domain. From the end of Edo period to Meiji period, improvements were made to the dyeing and weaving, hence the Hirose Gasuri technique was established. In 1890s, production reached 130,000 rolls per year, sales channels were also expanded nationwide.

After WWII, Hirose Gasuri was produced in-house only for personal consumption though, designated as an intangible cultural asset of Shimane prefecture in 1962. In 1985, as the Hirose Gasuri Centre was completed, the technique is handed down at the attached training office in the facility.



## Itinerary

Start time End time

### Contents of tour

9:15 - 12:00

**Adachi Museum of Art**  
Appreciate Japan's finest garden and art works.  
Cafe, tea room and souvenir shopping, etc.

**Yasugibushi Engeikan Theatre**

12:00 - 13:00

**Sagi-no-Yu Onsen Chikuyou** (Medicinal cuisine/seafood)

13:10 - 15:00

**Hirose Gasuri Centre**  
Indigo dyeing experience (handkerchief)

15:40

**JR Matsue Station**

On foot Taxi

## Route Map



## Amazing experiences

### Indigo dyeing experience



#### Flow of indigo dyeing experience

- Squeeze the gauze handkerchief with a rubber band to make the pattern.
- Soak it in hot water and allow water to fully penetrate, then dehydrate it gently.
- Soak it in indigo for 3 minutes.
- Pull up, squeeze tightly, spread out then expose to air, and let it oxidize to develop and fix the colour.
- Repeat steps ③ to ④ 4 or 5 times to achieve the desired colour.
- Remove the rubber bands and wash the handkerchief in water, then dehydrate it gently to finish.

※ Please take it home when it is wet and finish it with "Akudashi". you will receive the method written on a piece of paper.



### Spots to stop by

#### Yasugibushi Engeikan Theatre

Yasugibushi Engeikan Theatre, the home of the Yasugibushi folk song, was opened in January 2006.

It is the world of Yasugibushi folk song, where you can enjoy live performances.

A wide range of souvenirs and Yasugi's speciality loach dishes is also available. Please do drop in if you are ever in the Sanin region. You can also experience the loach catching dance here.



#### Sagi-no-Yu Onsen Chikuyou

A hotel which is just 30 seconds walk away from the Adachi Museum of Art.

Natural free-flowing hot spring is available 24/7.

In addition to the Sanin local seafood cuisine, which is mainly prepared with moring fish delivered from Sakaiminato, health and beauty food as well as hot springs and health-themed meals are also popular.



## Package Description

		Hirose Gasuri Centre	Address	775-1 Hirosechoumachichou, Yasugi, Shimane			TEL	0854-32-2575	Website	http://lurusato.sanin.jp/p/area/yasugi/9/
Facilities	Wi-Fi	NA	Multilingual support	NA	Reservation	Required	Max reservable number	Up to 4	Cancellation fee	6~4days before→50% 3days before~on the day→100%
	Restroom	Western style	Language	NA	Reservation deadline	14 days in advance (WUST)	How to reserve	Mail/online	Payment method	Credit card (payment on the travel day; NA)
		Adachi Museum of Art	Address	320 Furukawa, Yasugi, Shimane			TEL	0854-28-7111	Website	https://adachi-museum.or.jp/en/
Travel price		¥15,500~	What is not included in the price	・Transport after the tour begins ・Cost of drinks ordered separately at lunch (if any) ・Coffee, tea and souvenirs at Adachi Museum of Art			Note	・Min number of participants: 2 ・Max number of participants: 4 ・English-speaking guide(s) will accompany you.		
Contact us	Osewasan Centre	Address	2F Imai Shoten, 63 Tonomachi, Matsue, Shimane			TEL	0852-61-8015 (9:00~18:00)			



## 6) コンテンツ資料 250年の伝統ある弓浜絣について

### タイトル

## 250年の伝統ある弓浜絣について～オンラインで訪れる絣の世界～



### ストーリー

弓浜絣は、250年前から伝わる農家の婦人たちが家族のために心を込めて作ってきた木綿の絣織物で日本の伝統的工芸品です。  
 コロナ禍で、なかなか現地に訪れることが難しい中、そんな伝統ある「弓浜絣」の工房とオンラインを通して繋がり、製作過程を見ながら、職人技を見ることが出来ます。オンタイムで繋がることにより、職人と直接コミュニケーションをとることが出来ます。  
 楽しんでいただいた後は、工房内で気に入ったデザインと形を選んで、その場で商品を購入することができます。

### 行程

開始	終了	コンテンツ内容
9:00	10:00	申し込みのあった方には、zoomの条件を事前送付 <b>絣店</b> （ごとう絣店・弓浜絣工房B・絣の文） <b>弓浜絣・伯州絣の説明</b>
13:00	14:00	製作手順の説明、糸紡ぎや手織りしているところを見学
17:00	18:00	リクエストに応えたデザイン作成

### 施設情報

#### 弓浜絣

江戸時代中期より、鳥取県西部の農家の女性たちが家族を想い心を込めて織った木綿の絣織物です。1975年には国の伝統的工芸品に、1978年には鳥取県有形文化財に指定されています。  
 農家の自給用衣料に用いられていただけに、素朴な絵柄と丈夫であたたかみのある風合いが特徴です。絣が叩がるまでと長生きを願った海老塚の意匠、男児の誕生に巻く首つよう葉や虎塚の布団、と東家の幸せを願う願いが、藍地に口板ぎの絵画的な美しい血染で表現されています。また、文明開化の文字を模写したものや戦時中には大隈新と、その時代や世相をうかがい知れることもでき、多種多様な絵柄が今に伝わるものだけでも数百種類に及びます。

#### 伯州絣

弓浜絣の原材料は伯州綿という、白登田(ほうさく)で古くから栽培される品種です。  
 コマ系半農村特有の水はりのよい砂地と寒風が綿栽培に適し、弾力性と保水性に優れた良質な綿が育ちます。全国的な評価も高く伯州北方の一大産業でしたが、近代化が進んだ明治期、繊維が太く短い伯州綿は機械紡績で劣りにしづらく、外国産紡績糸の台端により次第に衰退していききました。しかし、伯州綿を手紡ぎした布のやわらかさや、布団の中綿にしたあたたかさほが代月できるものではないため、細々ながらも途絶えることなくつづられてきました。

### 地図



凡例  
 コンテンツポイント

## 体験内容

### 製作手順

(※弓浜絣工房B)  
 製作は伝統的な手法で丁寧にから手作業で行っており、その工程はおおよそ30行程にも及びます。その工程の一部をご紹介します。

### 商品オーダー

- 気に入った柄、欲しい形を選択
- セミオーダー商品を作ります。

### オプション

- ご希望の柄や欲しい形を選択して、フルオーダー商品を作ります。(※別途オプション料金が発生します)

#### #01 綿栽培



原材料となる伯州綿を畑で栽培します。毎年5月に種をまき、秋に収穫します。化学肥料・農薬は使用しておりません。

#### #02 種繰り



収穫した綿についてゴミ等を除いた後、繰繰り機を使って種を取ります。

#### #03 糸紡ぎ



種を取り、綿打ちをした伯州綿を糸車で紡いでいきます。均一で丈夫ながら手紡ぎの柔らかさを感じられる糸を目指しています。

#### #04 製図



模様を図案化します。伝統的な鶴亀松竹梅をはじめ、現代的な新柄も製作します。柄のオーダーも可能です。

#### #05 種糸



選った糸に図案化した模様を写します。括りの元となります。

#### #06 括り



種糸に沿って糸を括ります。括った糸を染色することで、括った部分は白く残るため、括りの段階で柄が現れます。

#### #07 染め



藍染めをします。丈夫な糸にするためにも深い濃紺に染めます。

#### #08 経糸準備



整経・経通し・筋通し等さまざまな工程を経て経糸を繰繰り機にかけます。

#### #09 織り



染めた糸を繰繰り機で織っていきます。布物一反分を織るためには、織り工程だけで2週間程度かかります。

### 完成



KIMONO

### 商品の概要

施設情報	弓浜絣工房B	住所	鳥取県境港市中野町5473		TEL	0859-21-5939	公式サイト	https://kouhoub.jp/		
	Wi-Fi環境	有	多言語対応	無	予約要否	要	対応可能人数	6名まで可能	キャンセル料	6～4日前→+50% 3日前～当日キャンセル→100%
	トイレ	洋式	言語	無	予約期限	14日前までに予約要	予約方法	メール・OTA	精算方法	クレジットカード 当日払い 不可
旅行代金	<b>¥10,000～</b>		料金に含まれないもの	・セミオーダー・フルオーダーの制作費と送料 ・既製品の購入費と送料		備考	・最小予約は2名。最大人数6名			
お問い合わせ先	おせわセンター	住所	鳥取県松江市殿町63 今井書店2階		TEL	0852-61-8015 (9:00～18:00)				

# Title Yumihama Gasuri with 250-year-old tradition~Discover the world of Kasuri online

## Story

The Yumihama Kasuri, which has been passed down for 250 years, is a traditional Japanese weave made from cotton by women in the village who put their heart and soul into making it for their families.

While it is difficult to visit the site due to Corona virus, you can connect with the traditional Yumihama Kasuri workshop online to watch their production process as well as craftsmanship. This online platform allows us to communicate with the craftsmen directly in real-time.

After having fun, you can also choose your favourite design and shape in the workshop and buy the product online.

## Itinerary

Start time End time

9:00 - 10:00  
13:00 - 14:00  
17:00 - 18:00

## Contents of tour

You will receive zoom information once applied.

**Kasuri shops** (Goto-Kasuri-ten, Yumihamagasuri-Kobo-B, Itono Aya)

Introduction to **Yumihama-Gasuri & Hakushu-men Cotton**

Description of the production procedure, and an opportunity to see the yarn being spun and woven by hand. Design creation per your request

## History of the region and experience

### Yumihama-Gasuri

Women farmers in the western Tottori have been weaving cotton Kasuri (splashed pattern) with their families in mind since the middle of Edo period (1603-1867).

It was designated as a national traditional craft in 1975, and an intangible cultural asset of Tottori Prefecture in 1978.

Originating as the clothing for farmer's personal consumption, this Kasuri is characterized by its simple patterns and strong, warm texture.

Kimonos with plawn patterns that wishes for a long life until the waist bends when getting old; futons with hawk and tiger design that wishes for the thriving of baby boys; and the desire for the happiness of family are expressed in beautiful, picturesque white curves on indigo blues.

There are hundreds of various designs like stylized characters of "civilisation and enlightenment", patterns of cannon during wartime, that have been handed down to the present day, giving a glimpse into the period and social conditions of Japan.

### Hakushu-men Cotton

Hakushu-men cotton, the raw material for Yumihama Kasuri is a Japanese cotton that has been cultivated in Hoki Province since ancient times.

The well-drained sandy soil and sea breeze peculiar to Yumihama peninsula are suitable for cotton cultivation, therefore the home to good-quality cotton with excellent elasticity and heat retention.

It used to be a major industry in the Hoki region with a national reputation. However, with the modernization during the Meiji period (1868-1912), Hakushu-men cotton with thick and short fibers, was difficult to spin into yarn by machine, and gradually declined with the rise of foreign spun yarn.

Even so, on the ground that the softness of hand-spun cloth made from Hakushu-men cotton and the warmth of bedding cannot be replaced by any other cotton, the industry survived and has continued to produce cotton in small quantities without interruption.



## Amazing experiences

### Production procedure

(※Yumihamagasuri-Kobo-B)

The traditional production procedure involves about 30 steps, all done by hand. Here are some most iconic parts.

### Order the products

- Choose your favourite pattern and shape
- The semi-custom product will be made.

#### #01 Cotton cultivation



Grow Hakushu-men cotton, the raw material in the field. Seeds are sown every May and harvested in the fall. No chemical fertilizers or pesticides are used.

#### #02 Scutching



Use a cotton spinning machine to take the seeds after removing dust and debris from harvested raw cotton.

#### #03 Spinning (Ito-Tsumugi)



Spin the Hakushu-men cotton on a spinning wheel after the seeds removed and cotton beaten, with the aim of a yarn which is even and durable while with the softness of hand-spun.

#### #04 Pattern drafting



Design the pattern. Both the traditional cranes, turtles, pine, bamboo and plum patterns as well as new, contemporary patterns are available. You can also order your favourite patterns.

#### #05 Pattern transcription



Copy the pattern onto stretched yarn. Make it as the basis for bundling.

#### #06 Bundling



Tie the yarn along the pattern. The bundling yarn will be dyed white (the tied part remains white, so the pattern appears when weaving).

#### #07 Dyeing



Dye the yarn with indigo, a deep navy blue, to make it strong.

#### #08 Warping preparation



The warp yarn will be put on the loom after various processes such as warping, hedding and reeding.

#### #09 Weaving



Weave the dyed yarn on a loom. The weaving process alone takes about 2 weeks, just for 1 Kimono.

#### Completion



Package Description										
	Yumihama gasuri-Kobo-B		Address	5473 Nakano, Sakaiminato, Tottori			TEL	0859-21-5939	Website	https://kouboub.jp/
Facilities	Wi-Fi	Available	Multilingual support	NA	Reservation	Required	Max reservable number	Up to 6	Cancellation fee	6~4days before→50% 3days before→on the day→100%
	Restroom	Western style	Language	NA	Reservation deadline	14 days in advance (MUST)	How to reserve	Mail/online	Payment method	Credit card (payment on the travel day; NA)
Travel price	¥10,000~		What is not included in the price	• Production costs and shipping for semi/full custom made orders • Purchase and shipping for ready-made products			Note	• Min number of participants: 2 • Max number of participants: 6		
Contact us	Osewasan Centre	Address	2F Imai Shoten, 63 Tonomachi, Matsue, Shimane			TEL	0852-61-8015 (9:00~18:00)			



## 5-2 意見交換会の実施

### (1) 意見交換会の実施日程

令和3年2月26日（金）

時間	コンテンツ名
1. 12:30～13:30	自然遺産大山の水と土を楽しむ
2. 14:00～15:00	日本の伝統文化に触れる～美術館と藍染めを通して～
3. 15:30～16:30	250年の伝統ある弓浜緋について～オンラインで訪れる緋の世界～

令和3年3月1日（月）

時間	コンテンツ名
1. 13:00～14:00	日本酒発祥の地出雲に1000年以上も伝わる酒と歴史と文化を巡る体験旅行～神様と日本酒めぐり～
2. 14:30～15:30	出雲風土記の地を巡る体験旅行～うつわづくりと酒・いで湯～
3. 16:00～17:00	日本の生活の美 民藝・出雲和紙作り体験 ～島根ワイナリーと共に～

### (2) 意見交換会に参加した有識者

旅行会社参加者		略 歴
会社名	氏 名	
株式会社 KNT-CT グローバルトラベル	平塚 守道（男性）	役職：次長 担当：欧米豪市場からの訪日旅行営業及びオペレーション。訪日業務歴30年。
Miki Travel Japan	遠藤 ゆきな（女性）	役職：Supervisor 担当：欧米豪市場からの訪日旅行営業及びオペレーション。訪日業務歴5年。
Japan Travel 株式会社	Colas Hauspie （コラ・オスピ） （男性）	出身国：フランス 日本語：上級 【所属】JapanTravel 社 旅行チーム 日本在住4年。東京都在住。日系旅行代理店にてフランス市場を担当。現在は日系企業での経験を活かし、フランス市場の開拓、カスタマーサービスの責任者



### (3) 意見交換会の参加者

	所属	参加者
1	日本の生活の美 民藝・出雲和紙作り体験～島根ワイナリーと共に～	安部榮四郎記念館 奥山啓子さん（通訳ガイド）
2	自然遺産大山の水と土を楽しむ	大山焼久古窯 久米桜酒造 マックフェル萌野さん（通訳ガイド）
3	出雲風土記の地を巡る体験旅行～うつわ作りと酒・出で湯～	いまみや工房 奥山啓子さん（通訳ガイド）
4	日本酒発祥の地出雲に 1000 年以上も伝わる酒と歴史と文化を巡る体験旅行～神様と日本酒めぐり～	石原美和さん（ガイド） ロバートソン江美さん（通訳）
5	日本の伝統文化に触れる～美術館と藍染を通して～	マックフェル萌野さん（通訳ガイド）
6	250 年の伝統ある弓浜絣について～オンラインで訪れる絣の世界～	弓浜絣工房 B ロバートソン江美さん（通訳ガイド）

### (4) 意見交換会のアジェンダ

意見交換会は、以下のアジェンダに沿って行った。

#### 【アジェンダ】

1. 自己紹介 （5分）
2. コンテンツの概要説明 （15分）
  - A) 本プロジェクトにおける出雲・大山エリアのコンテンツの考え方
  - B) コンテンツのポイント説明
  - C) ガイドからの補足説明
  - D) 体験内容の説明
3. 意見交換 （40分）
  - ✓ 旅行会社として感じたコンテンツの魅力について
  - ✓ 訪日外国人観光客への観光商品として販売する際の留意点



（意見交換会の様子）

(5) 意見交換会の内容

1) 日本の生活の美民藝・出雲和紙作り体験 ～島根ワイナリーと共に～

<p>コンテンツ 概要説明 紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 以前、展示と紙すきを体験させて頂いた。DVD は多言語対応されている為、英語で拝見させて頂いた。紙づくりを素材からされている所がとてもよくわかる。実際の紙すきを見学出来たらもっと理解が深まる。出雲和紙は全国的に知られていないかもしれないが、うちわ作成をして、持ち帰れるのはいい。地元の食材を使った知足亭もよい。島根ワインは唐突な感じがあるので、ラベルづくりは島根ワイナリー見学をしてからが良いのではないか。(おせわさんセンター)</li> <li>■ 年間 500 人の訪日外国人の方が来ており、去年は 1000 人来る予定だった。今回島根ワイナリーとは初めてなので取り組みとしてワインラベルづくりを提案させて頂いた。今までは 1 時間～1 時間 30 分で忙しい体験だったが、ゆったりした時間を過ごして頂き、和紙を手で触れたり、里山をみて頂きたい。何も無いところがいいところと思っている。(安部榮四郎記念館)</li> </ul>
<p>有識者からの 意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 美術にあたる和紙などの文化体験はフランスマーケット向き。</li> <li>■ 現地の方々とコミュニケーションをとれると尚よい。</li> <li>■ DVD 鑑賞時間が 20 分は長いのではないか。移動であれば移動中の車内で見ると、事前に視聴ができるとよい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 今までは団体客が主であり、DVD は無駄なく過ごせるよう時間調整のために行ってた。以前 JTB と相談した際は、バスの中で見るのは難しいという事だったが、現在はネットに上げれば、見ていただけるのではないかと思った。</li> </ul> </li> <li>■ ワインについて、フランスが本場だという意識がある為、和紙のラベル作りがメインになればいいかと思う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 外国人旅行客は和紙を作るという事に日本の文化を感じられている。紙漉き体験ではなく、漉き場の見学もして頂き、職人の技術などを見て頂いている。団体のの方が、紙漉きをして終わってしまっていたが、漉いた和紙が製品になって、和紙作りの体験をしたという完成になると思っている。</li> </ul> </li> <li>■ フランスの方がメインというのは、偶々クルーズ船の方が多ということか。フランスで展示会などをされているか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 当館のみではないが松江市でフランスに PR している。希望者が来訪される。</li> </ul> </li> <li>■ 紙漉き体験は日系アメリカ人の方が多。ポストカードを額に入れて飾ったり、タペストリーにしたりしているが、うちわ作成はしたことがなかった。</li> <li>■ 知足亭が同じ敷地内であれば、島根ワインが飲めるといい。アルコールが飲めない方向けにジュースがあるとよい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 同じ町内で、5～6 km 離れている。少人数で時間が許せば知足亭に行く途中、熊野大社に向かうのも良い気分転換になるかもしれない。(おせわさんセンター)</li> <li>→ コンテンツ内では、弁当を取り寄せて、職人とコミュニケーションをとって食べる事を想定していた。島根ワインからもふるまってもいいという話もある。(事務局)</li> </ul> </li> <li>■ 紙漉き体験を別で行った際に、うちわの竹骨が折れてしまったというコメントがあったので、うちわ以外の選択肢もあった方がよい。以前旅行客の意見を伺った際はしおり(ブックマーク)等、ラミネートされたものもいいという声を伺った。</li> <li>■ 卒業証書について伺いたい。所要時間をうちわと比較するとどのくらいかかるか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ A3 サイズをご自身で漉いて頂くが、乾燥に時間がかかる。学校単位で受けているが、できないこともない。うちわも大小取り扱っている。大が通常サイズとすると、小は手を広げたサイズで人気がある。ちぎり絵をしたり、書を書いたりオリジナルの装飾をすることもできる。折れるのであれば小をすすめる。所要時間は同じくらい。</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 証書が非常に魅力的だと感じている。自分の名前（イングリッシュネーム）を漢字で書くとうなるかとよく聞かれる。体験をされた方に当て字の漢字で名前を入れて証書を渡すのは魅力的である。 → カタカナで頼まれることが多い。</li> <li>■ 島根ワインは何種類の用意か。 → 赤白1種類ずつを予定している。ラベルの記載既定の関係であまり最初から多くは出せない。</li> <li>■ 島根ワインの送料は別途とあるが、その日中に持ち帰りはできないということか。 → 可能。日本の旅程が続く場合、配送も可能という案内。</li> </ul>
<p>有識者への 質問・感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ DVDは紙がどうしてできるかの工程を知って頂くためのもの。普段は紙漉きしか注目されない為、本来は木を切るという所から長い期間を要してできるという事を知って頂くことが大切であると感じている。</li> <li>■ 少人数であれば（料金の変動はあるが）だるまやブローチ、ヘアゴム、手毬などを作ることもできると感じた。</li> <li>■ 一日拘束するのはお互いに疲れてしまう為、気分転換の為に昼食時に場所を変えるのも有効な手段かと思った。</li> </ul>



## 2) 自然遺産大山の水と土を楽しむ

<p>コンテンツ 概要説明 紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大山は開山 1300 年を迎える歴史のある山で比較的アクセスもいい。大山の誇る自然もありながら、修験道、神道、仏教など日本人の宗教観にあったような歴史が見られる。今回のコンテンツは、自然にフォーカスされており、大山の育む水があり、酒造がある。火山であった山の麓の土を使って陶器を作っている視点になる。観光客によっては歴史、文化、宗教についても話ができるので、ガイディングの内容としては知識を与えるようなコンテンツ。(おせわさんセンター)</li> <li>■ 大山焼の特徴としては、鉄釉という釉薬の中に鉄をいれ、銀色でメタリックに発色させる。玉鋼曜天目と名前がついているが、日本刀の材料になる玉鋼を作るたたら製鉄を錬成する中で、炉の中で起きている現象を引っ張り出して焼物に応用しているという技法。(大山焼久古窯)</li> <li>■ 久古窯より山寄りの標高 300m 辺りに、ビール工場と日本酒の酒蔵とレストランがある酒造になる。元々は米子市内で日本酒を作っていたが、35 年前ごろに現在の場所に酒蔵を移した。24 年前にクラフトビールが流行したころに作り始めた。作ったクラフトビールは大山 G ビールとして販売しているが、良さを伝えるには現地での説明が最も良いと考えている。少しずつではあるが、鳥取大山に来て頂き、水や土壌といった酒作の環境、工場や作り手の思いを聞いて頂くことが商品の良さや楽しさを知って頂けるにはそれが一番である。(久米桜麦酒)</li> </ul>
<p>有識者からの 意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 久古窯の規模感について、ギャラリーは設けられているか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 小規模だがギャラリーはあり、購入も可能。収容可能人数は 7~8 人程度。</li> <li>→ 規模的には問題ないと思う。将来的には団体の受入も検討して頂けたらと思う。</li> </ul> </li> <li>■ 久米桜では、リアルタイムで原料の産地見学ができるのは面白い。</li> <li>■ 久米桜は団体の受入は可能か。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 凡そ 9 人の定員。車で一周回と対話を考えている為、変動があるかもしれない。</li> </ul> </li> <li>■ 多数の陶磁器がある中で、久古窯でなければみられない技術があるのはとても感銘を受けた。</li> <li>■ 歴史的な内容が見られる資料や、技術面が見られる写真などの用意はあるか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 先代が国宝曜変天目の研究過程で作られた資料がある。日本語の用意のみ。</li> </ul> </li> <li>■ 年齢制限を教えてください。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 電動ロクロは 10 歳から。手びねりなら年齢制限はない。</li> </ul> </li> <li>■ 実際に収穫を体験することはできるかという質問があったが、今後対応頂くことは可能か。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 見学の際タイミングがあれば、簡易体験は可能。時期やタイミングが難しい。</li> </ul> </li> <li>■ ビールの工場見学について、基本的には 1 グループにつき何名のガイドが付く予定か。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 専門ガイドが常駐しているわけではなく別業務のスタッフが空いていれば対応する形になる。まだ観光施設としていつでも旅行客を受け入れられるという状態ではない。</li> </ul> </li> <li>■ 日本全国の作陶体験の中で旅行客にお勧めできるセールスポイントがあるといえる。先ほど 4 種類の釉薬から選べると伺ったが、全てに鉄釉が入っているのか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 種類が鉄釉。他の 3 種類は日本の他の地域にも一般的にあるもの。</li> </ul> </li> <li>■ 玉鋼曜天目について体験ではなく美術品として見に行きたいと思う人もいると思う。富裕層の中では美術品に興味がある方が、美術の繋がりや足立美術館と繋がるのもいいと思う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 作業工程の見学はできないが、販売対応は可能。</li> </ul> </li> <li>■ ビールをメインに扱っている国に対して、日本のビールをアピールができるかが問題となる。ベルギーではフルーツフレーバーがあるので、日本オリジナルフレーバーはあるか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ オリジナル性の高いものはないが、日本酒の地元の酒米をビールの副原料にした八合というオリジナル製品がある。</li> </ul> </li> </ul>

<p>有識者への 質問・感想</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 団体の場合、グループを入れ替えて案内を行うということだが、規模としてはどのくらいか。<ul style="list-style-type: none"><li>→ コロナ前は、大型バス 1 台で 30 名前後。コロナ収束後は、10~15 名が団体としてベストと考えている。(近畿日本ツーリスト)</li><li>→ こちらも大型バスで 35~40 名前後だった。コロナ収束後は、バス会社で 50% に乗車率を抑えるというマニュアルも出来ている為、15 名くらい、最大でも 20 名かと思っている。その場合入れ替えになる為、7 名、8 名グループを交互に案内をお願いするかと思う。(KT トラベル)</li></ul></li><li>■ 久古窯は体験時間が長い為、グループ入れ替えを考慮すれば、ツアースケジュールを変えなければいけないと思う。</li></ul>
------------------------	---

### 3) 出雲風土記の地を巡る体験旅行 ～うつわ作りと酒・出で湯～

<p>コンテンツ 概要説明 紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東京から、松江市に戻った際におせわさんセンターへの登録を勧められた。個人的にも神話や古事記に興味がある為、旅行者にとっても楽しい体験になると感じる。(おせわさんセンター)</li> <p>10年前に受け継いだ古民家をリノベーションし、工房、カフェ、ギャラリーとして利用している。出雲地方のトラディショナル(伝統的)な雰囲気を感じて頂けると思う。店舗周辺には史跡や神社もありロケーションがいい。古の昔から土があり、はにわ、瓦、器を作ってきた。江戸時代、松江7代藩主の時代に茶の湯の文化が栄え、それに伴い焼物が根付いていった。明治～昭和時代には民藝運動の重要な地となり、河井寛次郎という創設メンバーが安来市出身という事もあり、暮らしの中に根付かせて育ててきた。島根県の土、釉薬を使い、民藝に対する自身の思いを込めて作品を作っている。カフェやピザなどで他の場所では体験できない楽しい陶芸になればと思っている。(いまみや工房)</p> <p>三島様の民藝のグループの皆様のクラフト作品が海潮荘で展示されている。(事務局)</p> <li>■ 島根県には文化のアート・クラフトの作家も沢山いるが、表に出してアピールする力が弱い。地域にはたくさんの作家がいるので、アーツ・クラフツ・島根というグループで、絵画等様々なジャンルを含め、今回のコンテンツの中に組み込んだ。(いまみや工房)</li> </ul>
<p>有識者からの 意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最もローカルで密着型という印象で、酒蔵の方が宿泊先に来て頂けるのは非常に魅力的。</li> <li>■ 外国人旅行者の1泊分の荷物は我々が想像するより大きい。風土記の丘周辺で預けられるサービスがあると、案内がスムーズになる。</li> <li>■ ガイドはどのタイミングでリリースになるか。 → 旭日酒造の説明が終わったタイミングでガイドは終了。</li> <li>■ 予算やガイドの時間にもよると思うが、可能であればこの地の食材の説明をしてほしい。</li> <li>■ ガイドが先陣を切るような形で先導してくれると、6～7割の方が温泉に入浴して下さるが、欧州では大衆浴場という文化がない為、温泉についてもわかってもらうためにガイドの説明があるといい。 → 海潮荘で、英語対応可能な方が在籍しているか確認して、検討する。</li> <li>■ 風土記自体が難解なコンテンツの為、ガイド+補足として、現地の方におもてなしをして頂きながら説明して頂けると尚伝わりやすい。</li> <li>■ いまみや工房は歓迎の雰囲気が感じられるのでFITに向いている。</li> <li>■ 現地の方ともコミュニケーションが取れるとよい。はにわロードなども一緒に歩いて頂けるとより魅力がある。</li> <li>■ いまみや工房の食事について、希望があった場合に和食を提供できるといい。</li> <li>■ 妻が行っている為、多種を提供することを考えてはいない。パスタやおむすびセットくらいはできるがあまり無理はしたくない。相談する。 → ピザというとやはりイタリア料理のイメージが強い。 → 具材はレンコンやゴボウの和食ピザ。出雲の食材を使っているローカルピザ。</li> <li>■ 風土記について、特別知識がある方以外は初めて聞く話になると思う。海潮温泉が風土記にでてくるというポイントのよさを理解できないこともありえる。</li> <li>■ はにわロードについて、印がついた道に沿って歩くと神魂神社から八重垣神社へ20分程度でいける。道に沿って様々なはにわのレプリカが並んでいる。風土記の説明があった上でその道を歩くと楽しめると思う。</li> <li>■ 陶芸体験の際に、お皿やコップといった陶器の選択肢はあるか。 → 茶わんや小鉢、湯呑などを作ってもらおう。色は何種類かから選んでもらい、後日工房で作業を行う。自身が片言の英語で説明し、フランクに楽しんで頂ければと思う。旅行者のリクエストに従って、指導する。</li> <li>■ 海潮荘の宿泊後は自由解散になるか。可能であれば、旭日酒造の見学ができればいい。 → 移動は旅行者自身で行って頂く。オプションツアーとして検討。</li> </ul>



<p>有識者への 質問・感想</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 貸し切りのタクシーで移動なのでずっと預けている想定だった。</li><li>■ 海潮荘での食事の説明について、旭日酒造の説明の際も通訳として同席するが、その後の帰宅方法がない。</li><li>■ 温泉の説明について、事前に説明をしても大衆浴場に初めて入浴されるのは難しい。</li><li>■ 古事記や風土記について、フランスの方は古事記については詳しく、神々の名前も知っている。古事記とギリシャ神話の共通性から話が膨らむ。</li><li>■ 海潮温泉は、「日本秘湯を守る会」に入っており日本情緒を感じて頂ける場所であり湯舟になっている為、コアな日本文化を体験したい人に選んでもらえれば良いと思う。</li><li>■ 海潮荘も年に何度か欧米中心で受け入れているので、ある程度の対応は可能だと思う</li></ul>
------------------------	--

4) 日本酒発祥の地出雲に 1000 年以上伝わる酒と歴史と文化を巡る体験旅行～神様と日本酒めぐり～

<p>コンテンツ 概要説明 紹介</p>	<p>■ 特になし</p>
<p>有識者からの 意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仕込みなどのバックヤードの見学はできるか。 → 時期による。酒造りが終わったタイミングであれば可能性はある。</li> <li>■ 日本酒関連で 10 月の神在月にイベント等があれば販売しやすい。 → 佐香神社で 10 月 13 日にどぶろく祭りがある。神楽を見ながら宮司さんが作ったどぶろくを楽しむことができる。</li> <li>■ こちらの酒造の材料（お米作り）の見学は可能か。 → 山の方で作っているの、酒米を作っている田んぼの見学は距離的に難しい。酒蔵に酒米があるので違いを感じることはできると思う。</li> <li>■ 國暉酒造はコンテンツとして立ち寄りが難しいという事で最終的に外れる事になってしまった。（事務局） → 神在月や古事記にまつわるコンテンツはこの地域でしかできない為、非常に魅力的。</li> <li>■ 海外の人は食事の制限が多い為、食事処の田中屋でのメニューの具体例を教えてください。食事制限にどの程度対応ができるか。 → そばだけではなく、そば粉、そばの実を使ったものを提供いただけると思う。相談し確認する。</li> <li>■ 個人的な感覚として、外国人旅行者の中で御朱印を集めている方も多い。オプションとして御朱印があると面白みが出る。 → 今回訪問する神社での対応は可能。</li> <li>■ ガイド箇所を旅行者が選択して減らすことができれば、料金がリーズナブルにできる。 → こちらのコンテンツでは西の方へ移動する行程になっている為、ポイントでの説明は難しい。また、日本酒ソムリエと通訳ガイド 2 名分が入っている。</li> <li>■ 訪日外国人は日本酒の試飲に興味がある為、日本酒ソムリエがガイドとして同行するのは魅力的。</li> <li>■ 欧米マーケットの中で日本の寺社を目的に来る場合が多いが、訪問するかどうかは滞在時間にもよる。</li> <li>■ FIT 向けの行程となっているが、団体で終日の神社めぐりは難しい。</li> <li>■ 終日古事記や日本酒など特化した新しい情報ばかりでは「やりすぎ」と思われる可能性もある。ガイドの性格と話し方、エンターテインメント性などに左右されることになる。</li> <li>■ 日本酒に関して、朝から飲酒をすることが望ましいか懸念される。可能であれば、午前中か午後早めに終了とするなど顧客に合わせて選択可能になるとよい。また早めに昼食をとることも検討をお願いしたい。 → 國暉酒造が外れたことによって、昼食は 1 時間ほど早まるかもしれない。</li> <li>■ 佐香神社を抜くことも考えた方がいい。</li> <li>■ 旭日酒造の利き酒体験では、冷酒、常温、熱燗での飲み比べもあるとよい。 → シミュレーションしたときにも行程が長いという意見があったので、出雲地域のみ行程にして半日で終了させても良い。また、旭日酒造の隣のイベントスペースで休憩していただいたり、近くに味噌など麹の専門店もあるので、商店街を回って頂くのもいい。温度による味の変化は日本酒ならではの体験になるので旭日酒造で是非行ってほしい。（日本酒ソムリエ） → 組み込まれた 3 つの神社には日本酒と深く関わりがあり、それを体感して頂きたいという意図がある。お酒と神様との関係が切れない為、神社を巡る事としていたが、距離が離れているので、移動時間に時間を要してしまう。その間は石原様の話を聞いて頂くことを想定している。まずは、海外というより日本在住の外国人の方に体験して頂くことになると思う。（事務局）</li> </ul>

	<p>→ 日本酒ソムリエが同行できるか、できないか。ガイドによってツアーの価値が変わってしまう事も懸念される。</p>
<p>有識者への 質問・感想</p>	<p>■ 訪日外国人が求める情報、コンテンツを事前に知っておきたい。</p> <p>→ このツアーを選択される方は、日本酒と神話とのつながり既に興味があり、知識欲があって参加される方だと思う。そういう方にとっては3カ所あっても巡れる神社が少ないと感じるのではないか。また、移動に一畑電車を利用できるのもいい。旅行商品としては十分販売できると感じている。事前情報の共有については、予約時に事前にリクエストを受ければいいと思う。</p> <p>■ 酒蔵等のバックヤードは見学できる方がよいか。</p> <p>→ 個人で行くと見学ができない場所が多い。ただ利き酒体験だけでは場所は問わないと思うが、実際の作業を可能であれば、見学出来れば更に魅力的になると感じる。</p>



## 5) 日本の伝統文化に触れる ～美術館と藍染を通して～

<p>コンテンツ 概要説明 紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 安来に来られる方は、足立美術館にしか来ない。地域の文化、体験ができるのはいい。アートは言葉の壁を超える。インバウンド向けの注意として、足立美術館の日本庭園は歩くことができない。園の中を歩けないということを事前にインフォメーションをしておいた方がいい。安来節演芸館は、皆を巻き込んで体験するようになっている。(おせわさんセンター)</li> </ul>
<p>有識者からの 意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 安来節演芸館で定期公演の終わりごろに観客も一緒に踊るとい認識で良いか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ はい。30分程経過したころに、舞台上がって踊りましょうと演者が観客を誘導する。</li> </ul> </li> <li>■ 足立美術館と安来節演芸館合わせて3時間でそれぞれの滞在時間、所要時間はどの程度を考えているか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 外国人旅行者で美術や庭園に興味のある方は、1時間半～2時間程度ゆっくりと鑑賞される方が多い。安来節演芸館への移動の間(駐車場近辺)にお土産屋もあり興味を示される方が多い。3時間は妥当だが、インバウンド向けとしては開始時間が早いと感じる。</li> </ul> </li> <li>■ 安来節演芸館に外国語表記はされているか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 基本は日本語だが映像展示の類は英語表記もあり。事前にガイドが説明し、安来節を見て頂く流れとすれば導入しやすいのではないかと思う。資料展示がそもそも多くない。</li> </ul> </li> <li>■ 藍染体験(広瀬紺センター)について、体験後に作業工程などの見学となっているが、体験前に行う事は可能か。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 可能。</li> </ul> </li> <li>■ 道の駅内にセンターがあるという認識で良いか。また、こちらの資料館の中に機織り機があるか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ はい。入ると機織り機が何台も並んでいるイメージ。</li> </ul> </li> <li>■ 灰汁抜きは、宿泊先のホテルで行っても問題ないか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ お湯が黄色い色に変わる程度などで苦情がでることはない。帰国されてからでも問題ない。</li> <li>→ 約2週間前後体験をされるので、残りの滞在時間によって灰汁抜きのタイミングが変わる為、確認できてよかった。</li> </ul> </li> <li>■ 開始が安来駅、終了は松江になっているのは意味があるか。海外の方は歩くのを好まれる為、足立美術館まで戻り無料シャトルバスで移動をされるかと思う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 次の観光を踏まえて松江駅としているが、交通費は旅行代金に含まれない為、旅行者の希望で変更可能。</li> <li>→ このコンテンツの出発、解散地について、宿泊先などの関係もあるかと思うので、終了場所が変わる事は問題ない。また広瀬紺センターから足立美術館までは徒歩30分程度で欧米の方はそれほど気にされない距離だと思う。川沿いで春など桜並木を歩けるので気持ちいい道になっている。</li> </ul> </li> <li>■ ショーとして見せるコンテンツとして興味を惹かれるので足立美術館と同じく誘客ができるとうい。</li> <li>■ 安来節は最後に自身も挑戦できるのがよい。舞台上がって記念撮影、演者さんとコミュニケーションがとれると尚よい。</li> <li>■ 安来節はガイドからも舞台へ上がって頂くよう盛り上げる。</li> <li>■ 40代以上の層に魅力である、文化的、伝統的、美術的なツアーになる。</li> <li>■ リフレッシュに手を使う体験を入れたいが、人によっては同じ作業を4～5回を繰り返すのは飽きを感じるかもしれない。コミュニケーションや、施設の展示に触れる時間があるとよい。時間的には2時間弱程度、細かく区切っていくとどの程度の時間になるかはまた変わるかもしれない。</li> <li>■ ハンカチを持ち帰りできるという事だが、富裕層は自身の着物を購入される傾向がある。販売は可能か。</li> </ul>

	<p>→ 展示はしてあったが販売しているかは不明。</p> <p>→ 広瀬絣センターともう一件この地域で藍染の商品を販売している場所がある。アレンジが可能であれば、立ち寄りとして可能な選択肢はあるという事を情報共有させて頂く。</p> <p>■ 足立美術館は既に何度か訪問させて頂いている。</p> <p>■ 安来節演芸館に行こうと思ったことがなかったが、提案をしてみようと考えている。日系アメリカ人の方向けにこちらに必ず立ち寄るように組んでおり、非常に楽しまれているとアテンドしたガイドから話を聞いている。他の国へフィットするか分からないが、検討してみたい。</p> <p>■ 広瀬絣センターが近くにある事は知らなかった。ツアーを組む際に提案ができる。</p> <p>■ 食事については竹葉となっているが、薬膳料理、海鮮料理と記載がある。海外の方は食事制限やアレルギーなどを気にされる方が多く、薬膳料理となると気にされる方が多い。事前にメニュー等がわかれば記載があった方が良い。</p> <p>→ 安来節はあまり国の傾向に関係なく、楽しんで頂けるかと思う。マクロビオティックイコールヴィーガン食ではないが、ベジタリアン、ヴィーガン、ハラール対応ができる場所なので事前に伝えて頂ければよい。</p> <p>■ 全体を通して、移動は旅行者自身でという事だが、それにガイドが同行するという形で良いか。</p> <p>→ 駅に集合し、ガイドと行動すると想定している。駅からの移動は別料金としているので、要望に沿って変更は可能。</p>
<p>有識者への 質問・感想</p>	<p>■ 足立美術館、安来節、広瀬絣センターがストーリーとしてつながっていない点が気になっていた。このコンテンツは、どのような層がターゲットになる可能性があるか。</p> <p>→ 安来節を入れたことはなかったが、非常にノリがいいのでオーストラリアの方にも受けると思う。取り扱うグループはテーマに沿ったプランを考えるため、庭園であれば庭園に特化したプランを立てる。興味がないということではないので、欧米には自然と文化体験、アジア層には、安来節や藍染体験はちょうどよいと感じる。（近畿日本ツーリスト）</p> <p>→ クルーズのアジア層の方は、足立美術館のみプランに組んでいたが、今後香港をメインに取り扱う話も出ているため、安来節演芸館の方へのシフトも選択肢に入れていく。ヨーロッパの方は、着物の購入率が高いという話があったが、以前スペインの方のインセンティブの際、藍染の小物などを取り入れた。好評だったので併せてアプローチできればと思う。（KTトラベル）</p> <p>→ 足立美術館は今まで通り組み込み、安来節演芸館と合わせて組むのは効果的だと感じた。舞台への感じ方は人それぞれ変わると思うが、強制ではなくレクチャーする、トライしてみるといったアプローチがよいと思う。マクロビオティックについて、ヴィーガンのイメージがここ10年程で期待が高まっている。特にフランス市場は、団体は京都等のゴールデンルートだけでなく、高野山などへ行くことも多く、仏教膳や精進料理のリクエストがある為、提案できる。広瀬絣センターについて、全国区となっている藍染体験と区別はできるように思う。手を使う体験にも非常に興味を持たれる。体験の商品は、ハンカチより手ぬぐいの方が好ましい。（ジャパントラベル）</p>

## 6) 250年の伝統ある弓浜絣について～オンラインで訪れる絣の世界～

<p>コンテンツ 概要説明 紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 今回のコンテンツの弓浜絣だけでなくその他の手仕事、茶道や着付け、市内のガイド、酒や海産物の食文化などを案内している。外国の方は手仕事のことに興味がある。本日佛坂氏からお話を伺い自身も楽しいと感じた。（おせわさんセンター）</li> <li>■ 鳥取県境港市、米子市の伝統工芸品弓浜絣の工房。独立してからは10年。主に綿の栽培から織り上げて製品にするまでを一通り、工房で行える。（弓浜工房B）</li> <li>■ （カメラを移動しての工房や工程の説明）機織り機を数台並べており、その他様々な道具が揃っている。綿から種を取り除き、綿抜き、くくりなどの工程を経て製品となる。綿の花を採取してから作品となるまで1ヶ月ほどを要する。</li> </ul>
<p>有識者からの 意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オンラインツアーは1時間という事だが、種繰り～完成までの工程で間違いはないか。自己紹介などを含めて時間は問題ないか。</li> <li>■ 利用者とのコミュニケーションが大事になるかと思うが、対応可能人数が6名の時に十分にやり取りの時間が取れるか。</li> <li>■ 時差を考えて時間帯を広げて予約できるといい。手配のしやすさも提案のしやすさに繋がる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 時差は考慮すべき点。また対応、質問ができる時間も設けられるようにしたい。絣に興味がある方は欧米系に多い。（おせわさんセンター）</li> <li>→ 10時～17時が営業時間だが、自宅兼工房なので予約があれば夜間対応も可能。（弓浜絣工房B）</li> </ul> </li> <li>■ 使用言語は英語で行う予定か。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ はい。歴史や個性などは職人さんを通して対応していく。</li> </ul> </li> <li>■ 流れとしてイメージはつかめるが、質疑応答に時間がかかると感じる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 関心の度合いは人それぞれ異なると予想される。関心を持つポイントも異なると思うので様子を見ながら調整を行う予定。</li> </ul> </li> <li>■ 最終的に商品購入を促すことだと思うが、セミオーダーについては既製品に手を加えるという事か。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 複数のデザインや柄、形の中からお客様に選択して頂く。</li> </ul> </li> <li>■ オーダーについて、1時間のセッションが終わった後に継続して注文を受け付けるのか。それとも別途旅行会社で受注を行うのか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 時間内に受け付ける予定でいる。</li> </ul> </li> <li>■ オンラインでご注文する場合、こういった商品はカスタムに時間がかかる方も出てくる。スムーズな対応が求められると思うが、イメージが難しい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 先ほどの所要時間の問題も含め検討する。</li> </ul> </li> <li>■ 現在オンラインストアで商品を見ている。フルオーダーの場合、商品原価＋カスタム料金＋アルファの料金という認識で良いか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 糸から作っていくので、フルオーダーとなると割高になる。</li> </ul> </li> <li>■ 先ほどの商品に触りながらのツアーは興味深かったと感じた。ワークショップや体験教室をオンライン上でやってみるのも面白い。アウトバウンドのオンラインツアーを既に開催している為、そういったプロモーションなども進めていきたい。コロナ禍ではまずはオンラインツアーでの参加となるが、収束後に直接いらした場合には何か特典があるといった、次につながるような仕組みがあるとよい。</li> </ul>
<p>有識者への 質問・感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実際に種の入った綿を送るという事で手仕事を感じて頂くのはどうか。旅行商品の値段によって変更をしたい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 期日内での配送が国外になる為、難しい。アイデアとしてはとても良いと思う。（ジャパントラベル）</li> </ul> </li> <li>■ 先ほどの、オンラインで終わらない仕組みづくりはよいと思う。手だけでは終わらない、人間性が作り出すもの、個性であったり地域性を感じて頂けるよう頑張りたい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ オンラインで2名がホストとして1名が説明をして、もう1名がチャットボックスで案内するのが良い。簡単な質疑応答や商品案内が可能なので、時</li> </ul> </li> </ul>



間が厳しい場合はそういったツールを利用できるとよい。

■ 本日の意見を踏まえて、検証が必要になると感じる。

→ 3月でプロジェクトは終了するが、運輸局に検討内容として報告する。今後は、観光局などが継続していく。(事務局)

### 5-3 意見交換会の結果のまとめ

意見交換会による旅行会社からの意見から、コンテンツに関するアドバイスとなる意見を整理し、コンテンツ販売に向けた改善や対応の考え方、今後、望ましい取組みとなる内容について、以下にコンテンツ別一覧表を整理した。その他、コンテンツに対する好意的な意見等についても記載している。

#### (1) 意見交換会からのアドバイス・対応・望ましい取組み等

##### ① 日本の生活の美 民藝・出雲和紙作り体験～島根ワイナリーと共に～

アドバイス	対応	今後、望ましい取組み
DVD鑑賞時間が20分は長いと感じる。移動中の車内で見るとできないか。	—	以前、バスの中で見るのは難しいという意見があった。ネットにあげるなどして、事前に見ていただくように考える。
ワインについては、フランスが本場という意識があるため、和紙のラベル作りをメインにする方がいい。	外国人観光客は和紙を作ることに日本文化を感じている。時間があれば紙漉き場を見学していただく。現在も実施している。	—
卒業証書作成体験があるが、対応可能か。	—	所要時間はうちわ作成と同じくらい。現在は、学校単位での予約としている。

#### <その他の意見>

- ・美術にあたる和紙などの文化体験はフランスマーケット向き。

#### <注意事項>

- ・ワインのラベルなしボトルについては、島根ワイナリーでの表示基準等の申請が必要

##### ② 自然遺産大山の水と土を楽しむ

アドバイス	対応	今後、望ましい取組み
久古窯では歴史的な内容が見られる資料や写真（ギャラリー）などがあるとよい。	—	先代が国宝曜変天目の研究課程で作られた資料を見てもらえる。現在、日本語のみで、多言語化かガイドによる案内が考えられる。
体験で使う久古窯の釉薬は、久古窯の特徴である鉄釉が入っていることが望ましい。	体験では4種類を準備しており、1種類が鉄釉である。体験の際に説明をしてニーズに応える。	—
久古窯で体験ではなく美術品として購入できることが望ましい。	作業工程の見学はできないが、販売対応は可能。	

大山ブルワリーツアーで収穫体験ができることが望ましい。	—	収穫の時期と合わせる工夫が必要であるが、見学のタイミングがあれば簡易体験は対応可能。
ビールを製造している国に対して、日本のビールをアピールできることが望ましい。	地元の日本酒の酒米をビールに使うというオリジナル性でアピール可能。	—

<その他の意見>

- ・多数の陶磁器がある中で、久古窯でなければみられない技術があるのはとても感銘を受けた。
- ・久米桜酒造では、リアルタイムで原材料の産地見学ができて面白い

③ 出雲風土記の地を巡る体験旅行～うつわづくりと酒・いで湯～

アドバイス	対応	今後、望ましい取組み
1泊分の荷物を預けられるサービスがあるといい。	タクシー移動であるため、1日貸切をして、荷物を車内に置いて観光体験できるようにする。	—
ガイドには、宿泊先で食材の説明、温泉の入り方を教えてほしい。	宿泊先の海潮荘の方は、既に外国人受入を経験しているため、受入可能である。	—
昼食は、希望があった場合は和食を提供できるといい。	ピザランチの具材は出雲の食材を使った和食ピザである。今後、おむすびセットなどを検討する。	—
海潮荘の宿泊の翌日は、自由解散になっているが、旭日酒造の見学ができるといい。	オプションツアーとして検討する。	—

<その他の意見>

- ・最もローカルで密着型という印象で、酒蔵の方が宿泊先に来ていただけるかもしれないというのは非常に魅力的
- ・いまみや工房は歓迎の雰囲気を感じられるのでFITに向いている

④ 日本酒発祥の地出雲に1000年以上も伝わる酒と歴史と文化を巡る体験旅行～神様と日本酒めぐり～

アドバイス	対応	今後、望ましい取組み
日本酒の仕込みのバックヤードは見学できると望ましい。	時期による。タイミングがよければ可能性はある。	—
酒造の材料（お米作り）の見学は可能か。	山の方で酒米を作っているので見学は難しい。酒蔵にて酒米の違いを見せることはできる。	—
昼食では、食事制限の対応は可能か。	そばだけではなく、そば粉、そばの実を使ったものを提供いただくことにする。	—
外国人旅行客でも御朱印を集めている人がいる。対応可能か。	訪問先の神社では対応可能。	—



日本酒ソムリエが同行できるか、できないか。ガイドによってツアーの価値が変わってしまう事も懸念される。	石原美和さんが参加できる日に予約を受け付ける。	—
--	-------------------------	---

<その他の意見>

- ・日本酒ソムリエがガイドとして同行するのは魅力的

⑤ 日本の伝統文化に触れる～美術館と藍染めを通して～

アドバイス	対応	今後、望ましい取組み
足立美術館と安来節演芸館合わせて3時間となっているが、それぞれの滞在時間、所要時間を楽しめるように考えることが望ましい。	外国人旅行客で美術や庭園に興味のある方は、1時間半～2時間程度ゆっくりと鑑賞される方が多い。安来節演芸館への移動の間（駐車場近辺）にお土産屋もあり興味を示される方が多い。3時間は妥当。	—
安来節演芸館に外国語表記はされていることが望ましい。	基本は日本語だが映像展示の類は英語表記もあり。事前にガイドが説明し、安来節を見て頂く流れとすれば導入しやすい。	—
藍染体験について、体験後に作業工程などの見学となっているが、体験前に行えることも望ましい。	可能。	—
灰汁抜きは、宿泊先のホテルで行っても問題ないようになっているとよい。	お湯が黄色い色に変わる程度などで苦情がでることはない。帰国されてからでも問題ない。	—
開始が安来駅、終了は松江になっているのは意味があるか。海外の方は歩くのを好まれる為、足立美術館まで戻り無料シャトルバスで移動をされるかと思う。	次の観光を踏まえて松江駅としているが、交通費は旅行代金に含まれない為、旅行者の希望で変更可。広瀬絣センターから足立美術館までは徒歩30分程度で、川沿いで春など桜並木を歩けるので気持ちいい道になっている。	—
ハンカチを持ち帰りできるという事だが、富裕層は自身の着物を購入される傾向がある。販売できるとよい。	広瀬絣センターともう一件この地域で藍染の商品を販売している場所がある。ニーズがあれば、立ち寄りとして可能である。	—
食事は、薬膳料理、海鮮料理と記載がある。海外の方は食事制限やアレルギーなどを気にされる方が多く、薬膳料理となると気にされる方が多い。事前にメニュー等がわかれば記載があった方がよい。	マクロビオティックイコールヴィーガン食ではないが、ベジタリアン、ヴィーガン、ハラール対応ができる場所なので事前に伝えて頂ければよい。	—

<その他の意見>

- ・安来節は最後に自身も挑戦できるのがよい。舞台上がって記念撮影、演者さんとコミュニケーションがとれると尚よい
- ・足立美術館へ誘客した後のコンテンツが無いと感じていたが、安木節や藍染体験などのコンテンツが入るといい。

⑥ 250年の伝統ある弓浜絣について～オンラインで訪れる絣の世界～

アドバイス	対応	今後、望ましい取組み																
利用者とのコミュニケーションが大事になるかと思うが、対応可能人数が6名の時に十分にやり取りの時間が取れるか。	商品販売の際に質問を受け付けるが、あまり長い質問は受け付けないようにする。	—																
時差を考慮して時間帯を広げて予約できるといい。	時差を考慮し予約時間を設定する。 (開始時間案) <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>米 (NY)</th> <th>仏</th> <th>豪</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9時</td> <td>19時</td> <td>4時</td> <td>11時</td> </tr> <tr> <td>13時</td> <td>23時</td> <td>8時</td> <td>15時</td> </tr> <tr> <td>17時</td> <td>3時</td> <td>12時</td> <td>19時</td> </tr> </tbody> </table>	日	米 (NY)	仏	豪	9時	19時	4時	11時	13時	23時	8時	15時	17時	3時	12時	19時	—
日	米 (NY)	仏	豪															
9時	19時	4時	11時															
13時	23時	8時	15時															
17時	3時	12時	19時															
オンラインでご注文する場合、こういった商品はカスタムに時間がかかる方も出てくる。スムーズな対応が求められると思うが、イメージが難しい。	事前にホームページにセミオーダーの柄や商品サンプル(ナンバリングしておく)や値段を掲載し、見ておいてもらう。	—																
オンラインツアーでの参加となるが、収束後に直接いらした場合には何か特典があるといった、次につながるような仕組みがあるとよい。	商品購入しない方にも綿とクーポンを発送することを検討する。 (クーポンは訪日した時に商品購入の割引券)	—																

<その他の意見>

- ・商品に触りながらのツアーは興味深かった。ワークショップや体験教室をオンライン上でやってみるのも面白い

## (2) その他、有識者の意見

### ①体験関係者やガイドについて

- 器づくりや糺など、職人の方のお話は丁寧で、わかりやすくていい。
- ガイドさんは、訪日外国人観光客に好まれるようなキャラクターで、楽しめると思う。

### ②その他

- 今回のコンテンツの中で、違うコンテンツの中の体験同士を結び付けることもあるとよい。
- 祭りや収穫との関係を見て、時期を絞った販売も考えられる。
- 必ずしも固定のコンテンツではなく、オプションやお客のニーズを受け入れられるようにするとよい。

## (3) コンテンツの販売について

- コンテンツの販売、団体旅行への活用など可能である。
- お客のニーズに合わせて、より良いものへ見直すことは必要といえる。
- 販売に向けて協力は可能である



## 6.事業成果

---

### 6-1 作成したコンテンツについて

---

「2.地域資源に関する調査」、「3.コンテンツ造成検討会の実施」、「4.コンテンツの企画開発・販売体制整備」、及び「5.有識者によるブラッシュアップのための意見交換会の実施」という行程を通して、最終的に以下の6つのコンテンツを造成した。

コンテンツ①	日本の生活の美 民藝・出雲和紙作り体験～島根ワイナリーと共に～
コンテンツ②	自然遺産大山の水と土を楽しむ
コンテンツ③	出雲風土記の地を巡る体験旅行～うつわづくりと酒・いで湯～
コンテンツ④	日本酒発祥の地出雲に 1000 年以上も伝わる酒と歴史と文化を巡る体験旅行～神様と日本酒めぐり～
コンテンツ⑤	日本の伝統文化に触れる～美術館と藍染めを通して～
コンテンツ⑥	250 年の伝統ある弓浜絣について～オンラインで訪れる絣の世界～


次ページ以降に、作成したコンテンツのタリフを掲載する。

日本の生活の美 民藝・出雲和紙づくり体験～島根ワイナリーと共に～

現状 (該当箇所○)	既存コンテンツ 磨き上げ (国内向けに類似商品が販売され、国外向けには実施なし)	
	既存コンテンツ 磨き上げ (国内向けに類似商品が販売され、国外向けにも同様に販売を実施している)	
	新規コンテンツ 造成 (国内向け、国外向けに販売が実施されていない)	
過去訪日外国人旅行者 来訪実績	安部楽四郎記念館 2019年 360名 (フランス語圏200名、英語圏145名、中国15名) 2018年 200名 (フランス語圏140名、英語圏70名) 2017年 200名 島根ワイナリー 2019年 5187名 (但し、団体予約客のみの寄与) 2018年 3601名 2017年 200名	
	<b>【 基 本 情 報 】</b>	
	事業者名 安部楽四郎記念館	
	営業所住所 島根県松江市八雲町東岩坂1754	
	営業時間 9:00～17:00 定休日 火曜日	
TEL 0852-54-1745 FAX 0852-54-1745		
Mail <a href="mailto:eshiro@iz2.ikeeper.ne.jp">eshiro@iz2.ikeeper.ne.jp</a>		
HP URL <a href="http://abe-eshirou.jp/">http://abe-eshirou.jp/</a>		
事業者名 島根ワイナリー		
営業所住所 島根県出雲市大社町藪根264-2		
営業時間 9:30～17:00 (4～9月 18:00) 定休日 無休		
TEL 0853-53-5577 FAX 0853-53-5424		
Mail <a href="mailto:m-kawakami@shimane-winery.co.jp">m-kawakami@shimane-winery.co.jp</a>		
HP URL <a href="https://www.shimane-winery.jp/">https://www.shimane-winery.jp/</a>		
事業者名 知足亭		
営業所住所 島根県松江市八雲町熊野793-1		
営業時間 11:00～14:00 (L.O 13:50) 定休日 月曜～木曜及び祝日と正月		
TEL - FAX -		
HP URL -		
所要時間 約16時間		
食事条件 朝→昼→夕		
実施可能時期 有 ( )・無		
食文化対応 11:30～13:00 知足亭 (地元の野菜を使ったお弁当) 職人とコミュニケーション 13:00～14:00 島根ワインのラベルづくり (自分でデザインもしくは写真印刷も可能) ガイドが説明支援 14:00～14:30 自由時間 (お土産の買い物など) 島根ワイン販売 14:30～14:35 解散式 14:35～15:00 タクシーで移動 15:00 J R松江駅 解散		
体験の流れ		
施設情報 Wifi環境 有・無		
多言語対応 有・無		
予約要否 要		
予約方法 TEL・FAX・メール・HP・OTA・その他 ( )		
取消料 現金・振り込み・クレジットカード キャンセル ( )・その他 ( ) 6～4日前→50% 3日前、当日キャンセル→100%		
精算方法 日本人一般 日本人学生 外国人一般 (2人・3人・4人) 外国人学生 大人 - ¥24,000 小人 - ¥17,800 タクシー往復 ¥10,000 程度		
1名当たり料金 (参加2名 3名 4名)		
コンテンツの磨き上げ前の 実施内容		
磨き上げ目標 or 造成目標		
磨き上げ内容 or 造成内容		
写真		



## 自然遺産大山の水と土を楽しむ

	○	既存コンテンツ 磨き上げ (国内向けに類似商品が販売され、国外向けには実施なし)	
現状 (該当箇所○)		既存コンテンツ 磨き上げ (国内向けに類似商品が販売され、国外向けにも同様に販売を実施している)	
	○	新規コンテンツ 造成 (国内向け、国外向けに販売が実施されていない)	
過去訪日外国人旅行者 来訪実績	大山焼久古窯 2019年 約10名 2018年 約10名 2017年 約10名 久米桜酒造有限公司 2019年 - 2018年 - 2017年 -		
<b>【 基 本 情 報 】</b>			
事業者名	大山焼久古窯		
営業所住所	鳥取県伯耆町久古1401		
営業時間	9:00~17:00	不定休	
TEL	0859-68-2098	0859-68-2098	
Mail	kuzozama@sea.chukai.ne.jp		
HP URL	https://kugogama.wordpress.com/		
事業者名	久米桜酒造有限公司		
営業所住所	鳥取県西伯耆町丸山1740-30		
営業時間	-	-	
TEL	0859-68-5570	0859-39-8034	
Mail	gentaro@g-beer.jp		
HP URL	http://g-beer.jp/kunezakura/		
所要時間	約5時間30分		
食事条件	朝 昼 夕	有 (ベジタリアン・ヴィーガン等) ・ 無	
体験の流れ	<p>12:00 JR米子駅 ガイド面会</p> <p>12:00 ~ 12:25 タクシーで移動</p> <p>12:25 ~ 12:30 大山焼久古窯</p> <p>12:30 ~ 12:35 ①窯元スタッフのあいさつ</p> <p>12:35 ~ 12:50 ②大山焼久古窯の説明 ガイドが案内</p> <p>12:50 ~ 13:00 ③体験内容の説明</p> <p>13:00 ~ 14:30 ④大山焼の体験 ガイドが説明支援</p> <p>14:30 ~ 14:50 ⑤お土産の買い物など 作品の発送なども受付</p>	<p>14:50 ~ 15:00 タクシーで移動</p> <p>15:00 ~ 15:00 久米桜酒造 (大山ブルフリー) ガイドが説明支援</p> <p>大山ブルフリー・ツアー</p> <p>①オエンテールング</p> <p>②原材料の産地見学</p> <p>③大山Gビール工場見学</p> <p>④アイステイニング</p> <p>⑤シヨッピング</p> <p>17:00 ~ 17:25 タクシーで移動</p> <p>17:25 JR米子駅 解散</p>	
施設情報	WiFi環境	有 ・ 無	
多言語対応	有 ・ 無	言語 :	
予約要否	要 ・ 不要	予約期限	14 日前までに予約要
予約方法	TEL ・ FAX ・ メール ・ OTA ・ その他 ( )	対応可能人数	4 名まで可能
取消料	現金 ・ 振り込み ・ クレジットカード ・ キャッシュレス ( ) ・ その他 ( )	当日払い	可 ・ 不可
精算方法	日本人一般	外国人一般 (2人・3人・4人)	外国人学生
1名当たり料金 (参加2名 3名 4名)	-	¥21,900	¥16,100
コンテンツの磨き上げ前の 実施内容	-	¥7,000	程度
磨き上げ目標 or 造成目標	<p>①大山焼久古窯</p> <p>・「陶芸体験」手びねり、もしくは電動ロクロを体験頂くメニュー</p> <p>②久米桜酒造</p> <p>・大山ブルフリー・ツアー</p> <p>山の伏流水が湧き出る「地蔵滝の泉」や原料である米、大麦やホップなどを散策して工場見学</p>		
磨き上げ内容 or 造成内容	<p>・案内ガイドを準備し、久古窯、大山ブルフリーや大山の魅力を案内する。</p> <p>・久古窯の器の提供と久米桜の日本酒・ビールへの試飲</p>		
写真	<p>①外国語を語る案内ガイドの準備</p> <p>②久古窯の器の協力</p> <p>③大山ブルフリー・ツアーに久古窯との連携</p> <p>【ガイド行程】</p> <p>出雲風土記における大山について→大山焼久古窯→玉鋼燗天目→焼き物の行程→大山の水→久米桜酒造→大山ブルフリー→大山Gビール→ビールの製造過程→蒸留酒、醸造酒の違いについて</p>		
			
	久米桜酒造有限公司		









出雲風土記の地を巡る体験旅行 ―うつつ作りと酒・出で湯―




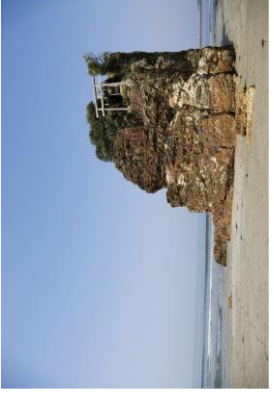

現状 (該当箇所)	既存コンテンツ	磨き上げ (国内向けに類似商品が販売され、国外向けには実施なし)
	新規コンテンツ	磨き上げ (国内向けに類似商品が販売され、国外向けにも同様に販売を実施している)
過去訪日外国人旅行者 来訪実績	○	新規コンテンツ 造成 (国内向け、国外向けに販売が実施されていない)
	いまみや工房	2019年 6名 (香港、アメリカ)
		2018年 6名 (フランス、アメリカ)
		2017年 6名 (カナダ、アメリカ)
		2019年 100名 (中国人等) 2018年 100名 (フランス人等) 2017年 100名 (-)
<b>【 基 本 情 報 】</b>		
事業者名	いまみや工房	
営業所住所	島根県松江市東出雲町大学今宮320	
営業時間	10:00~16:30	定休日 水・木曜日
TEL	0852-52-2928	FAX 0852-22-2394
Mail	oumomori@gmail.com	
HP URL	http://kimachikun.blog113.fc2.com/	
事業者名	旭日酒造有限会社	
営業所住所	島根県出雲市今市町662	
営業時間	10:00~17:30	定休日 (土曜不定休)
TEL	0853-21-0039	FAX 0853-21-3216
Mail	asahishuzo@ujiasahi.co.jp	
HP URL	http://ujiasahi.co.jp/	
事業者名	八雲立つ風土記の丘 展示学習館	
営業所住所	島根県松江市大庭町456	
営業時間	9:00~17:00(入館は16:30まで)	定休日 (初日の場合は翌日)
TEL	0852-23-2485	FAX 0852-23-2429
Mail		
HP URL	https://www.yakumotatu-fudokinooka.jp/	
事業者名	海潮荘	
営業所住所	島根県雲南市大東町中瀬石451	
営業時間	-	定休日
TEL	0854-43-5000	FAX 0854-43-6000
Mail	d-usiose@hotaruyaitoko.jp	
HP URL	http://ushioou.com/	
所要時間	約10時間	実施可能時間 ※通年等
食事条件	朝・昼・夕	食文化対応 有 (ベジタリアン、ヴィーガン等) ・ 無
体験の流れ	9:30 JR松江駅 松江国際観光案内所 ガイド面会 9:30 ~ 10:00 タクシーで移動 10:00 ~ 11:00 八雲立つ風土記の丘 (展示学習館) ガイドが案内 11:00 ~ 11:10 タクシーで移動 11:10 ~ 11:10 いまみや工房 11:10 ~ 12:40 陶芸体験 電動ろくろ ガイドが説明支援 12:40 ~ 14:10 古民家カフェでランチ ガイドが説明支援 14:10 ~ 14:20 タクシーで移動 14:20 ~ 14:40 神魂神社 (かもす じんじや) ガイドが案内	14:40 ~ 15:00 徒歩で移動 はじまり 15:00 ~ 15:30 八重垣神社 15:30 ~ 15:50 タクシーで移動 15:50 ~ 16:20 須我神社見学 (雲南市) ガイドが案内 16:20 ~ 16:35 タクシーで移動 16:35 ~ 16:35 海潮温泉 海潮荘 16:35 ~ 16:35 旭日酒造が関元の酒、早学爺元の酒器を説明 16:35 ~ 19:30 風土記記載の秘湯を楽しむ 食事・宿泊 19:30 終了
施設情報	Wifi環境 有・無 言語: 英・仏	トイレ 有・無
多言語対応	有・無	対応可能人数 4 名まで可能
予約要否	要	予約期限 14 日前までに予約要
予約方法	TEL・FAX・メール	TEL・FAX・メール HP・OTA・その他 ( )
取消料	現金・振の込み・クレジットカード	6~4日前→50% 3日前、当日キャンセル→100%
精算方法	現金・振の込み・クレジットカード	キヤッシュレス ( ) ・ その他 ( )
1名当たり料金 (参加2名 3名 4名)	日本人一般 - 日本人学生 - 外国人一般 ¥41,200 外国人一般 (2人・3人・4人) ¥35,400 一畑電車1日乗車券¥1,600 タクシー往復 ¥6,000 程度	当日払い 可・不可 外国人学生 -
コンテンツの磨き上げ前の 実施内容	-	
磨き上げ目標 or 達成目標	①外国語を話せる案内ガイドの準備	
磨き上げ内容 or 達成内容	【ガイド行程】 古事記における日本神話 (イザナギ・イザナミ→スサノオ・オウニクス) →出雲風土記 (国引きや土地について) →神魂神社 (イザナギが祭神) →須我神社 (スサノオ・ウツナタヒが祭神) →海潮温泉 (出雲風土記の温泉) →旭日酒造 (オウニクスが祭神である出雲大社のお神酒を製造している)	
写真	いまみや工房 八雲立つ風土記の丘 展示学習館 海潮荘	旭日酒造有限会社



日本の伝統文化に触れる～美術館と藍染を通して～

現状 (該当箇所○)	○	既存コンテンツ 磨き上げ (国内向けに類似商品が販売され、国外向けには実施なし)
		既存コンテンツ 磨き上げ (国内向けに類似商品が販売され、国外向けにも同様に販売を実施している)
	○	新規コンテンツ 達成 (国内向け、国外向けに販売が実施されていない)
過去訪日外国人旅行者 来訪実績	広瀬研センター 2019年 180名 2018年 120名 2017年 120名 足立美術館 2019年 33000名 (主に東アジア、欧米・韓国) 2018年 45000名 (主に東アジア、欧米・韓国) 2017年 34000名 (主に東アジア、欧米・韓国)	
【 基 本 情 報 】		
事業者名	広瀬研センター	
営業所住所	島根県安来市広瀬町775-1	
営業時間	10:00～17:00	定休日 水曜日、年末年始
TEL	0854-32-2575	FAX 0854-32-2575
Mail	hicosamuseum@bivokko.co.jp	
HP URL	-	
事業者名	足立美術館	
営業所住所	島根県安来市古川町320	
営業時間	9:00～17:30 (夏季は17:00)	定休日 なし 新館のみ休館日あり (不定)
TEL	0854-28-7111	FAX 0854-28-6733
Mail	ozawa@daichi-museum.or.jp	
HP URL	https://www.daichi-museum.or.jp/	
事業者名	安来節湯芸館	
営業所住所	島根県安来市古川町534	
営業時間	10:00～17:00	定休日 水曜日定休 (5.10.11月は第一水曜日のみ休館) ※祝日の場合は営業
TEL	0854-28-9500	FAX 0854-28-9511
Mail	-	
HP URL	http://www.y-engekan.com/	
事業者名	ささの湯温泉 竹葉	
営業所住所	島根県安来市古川町438	
営業時間	11:30～14:00 (お食事・喫茶) 15:30～17:00 (喫茶のみ)	定休日
TEL	0854-28-6231	FAX
Mail	-	
HP URL	https://www.chikuyou.jp/	
所要時間	約6時間30分	実施可能時期 ※通年等
食事条件	朝→昼→夕	食文化対応 有 (ベジタリアン、ヴィーガン等) ・ 無
体験の流れ	9:15 足立美術館前 ガイド面会 (安来駅発無料シャトルバスが9時10分着) 9:15～9:15 足立美術館 9:15～10:45 日本の日本庭園と美術館を見学 お土産の買い物などが案内 10:45～10:50 徒歩で移動 10:50～11:55 安来節湯芸館 ガイド説明支援 11:55～12:00 徒歩で移動 12:00～13:00 竹葉 (薬膳料理・海鮮料理)	13:00～13:10 タクシーで移動 13:10～13:10 広瀬研センター 13:10～13:15 広瀬研センター・スタッフのあいさつ 13:15～13:30 広瀬研センターの説明 ガイド説明支援 13:30～13:40 体験内容の説明 ガイド説明支援 13:40～14:40 藍染体験 (ハンカチ) ガイド説明支援 14:40～15:00 お土産の買い物など 15:00～15:40 タクシーで移動 15:40 JR松江駅 解散
施設情報	WiFi環境 有・無	トイレ トイレ
多言語対応	有・無	言語: 英・仏
予約可否	要	予約期限 14 日 前までに予約要
予約方法	TEL・FAX・Web	HP・OTA・その他 ( )
取消料	現金・振の込み・クレジットカード	キャンセル ( ) ・ その他 ( )
精算方法	日本人一般 日本人学生	外国人一般 (2人・3人・4人)
1名当たり料金 (参加2名 3名 4名)	-	¥24,100
	小人	¥2,500 程度 (広瀬研センター～松江駅)
コンテンツの磨き上げ前の 実施内容	①足立美術館 美術館・庭園見学、横山大観をはじめとする近代日本画を中心に総数約1500点美術品、5万坪の日本庭園を楽しむ。音声ガイド(有料、日本語・英語・北京語対応) ②広瀬研センター 「藍染体験」 綿ゴムで絞りに染め染める。ハンカチ 1枚800円	
磨き上げ目標 or 達成目標	案内ガイドを準備し、足立美術館や研センター (藍染) の魅力を案内する。	
磨き上げ内容 or 達成内容	①外国語を話せる案内ガイドの準備 【ガイド行程】 (民芸運動) 美術 (絵画・庭園・陶器等) → 足立美術館 (横山大観・北大路徳山人・足立全) → 安来節湯芸館 → 藍染 → 研 → 広瀬研 → ガリンピック・ジャパンブルー	
写真	     	<p>足立美術館</p> <p>安来節湯芸館</p> <p>ささの湯温泉 竹葉</p>

日本酒発祥の地出雲に1000年以上も伝わる酒と歴史と文化を巡る体験旅行～神様と日本酒めぐり～

現状 (該当箇所は○)	既存コンテンツ	磨き上げ (国内向けに類似商品が販売され、国外向けには実施なし)	
	既存コンテンツ	磨き上げ (国内向けに類似商品が販売され、国外向けにも同様に販売を実施している)	
	新規コンテンツ	造成 (国内向け、国外向けに販売が実施されていない)	
過去訪日外国人旅行者 来訪実績	旭日酒造株式会社	2019年 100名 (中国人等)	
		2018年 90名 (フランス人等)	
		2017年 90名 (-)	
<b>【 基 本 情 報 】</b>			
事業者名	旭日酒造株式会社		
営業所住所	島根県出雲市今市町662		
営業時間	10:00～17:30	定休日	日曜祝日 (土曜不定休)
TEL	0853-21-0039	FAX	0853-21-3216
Mail	asahishuzo@ujiasahi.co.jp		
HP URL	http://ujiasahi.co.jp/		
事業者名	そば処 田中屋		
営業所住所	島根県出雲市大社町正門前高屋前		
営業時間	11:00～16:00(蕎麦が無くなり次第終了)	定休日	木曜日
TEL	0853-53-2351	FAX	0853-53-2351
Mail			
HP URL	https://soba-tanekaya.jp/		
所要時間	約8時間		
食事条件	朝・昼・夕	実施可能時期	有 (バジタリアン、ヴィーガン 等) ・ 無 ※通年 等
体験の流れ	9:20	J R松江駅 ガイドと面会	
	9:20 ~ 10:20	一畑電車で移動 松江しんじ湖温泉駅 (平日・土日)	13:30 ~ 13:35 徒歩で移動
	10:20 ~ 10:30	徒歩で移動	13:35 ~ 14:35 そば処田中屋
	10:30 ~ 10:50	佐香神社	14:35 ~ 14:52 徒歩で移動
	10:50 ~ 11:00	徒歩で移動	14:52 ~ 15:12 一畑電車で移動出雲大社前～川跡～電鉄出雲市 (平日・土日)
	11:00 ~ 11:40	一畑電車で移動 一畑口駅～出雲大社前 (平日・土日)	15:12 ~ 15:22 徒歩で移動
	11:40 ~ 11:50	タクシード移動	15:22 ~ 16:00 旭日酒造 利き酒等
	11:50 ~ 12:10	稲佐の浜	16:00 ~ 16:10 タクシード移動
	12:10 ~ 12:30	徒歩で移動	16:10 ~ 16:40 万九千神社
	12:30 ~ 13:30	出雲大社 出雲神話と大しめ縄と米・酒文化	16:40 ~ 16:50 タクシード移動
		16:50 出雲市駅 解散	
施設情報	Wifi環境	有・無	有 (英・仏)
多言語対応	有・無	言語:	英・仏
予約要否	要・不要	予約期限	14 日前までに予約要
予約方法	TEL・FAX・メール	HP・OTA・その他	( )
取消料	現金・振り込み・クレジットカード ( ) ・ その他 ( )		
精算方法	6～4日前→50% 3日前、当日キャンセル→100%		
1名当たり料金 (参加2名 3名 4名)	日本人一般	日本人学生	外国人一般 (2人・3人・4人)
	-	-	¥23,700
	-	-	¥29,500
当日払い	¥7,000 程度		外国人学生
外国人学生	-		-
コンテンツの磨き上げ前の 実施内容	-		
磨き上げ目標 or 達成目標	①外国語を話せる案内ガイドの準備		
磨き上げ内容 or 達成内容	①日本酒ソムリエの石原美和さんがガイドとして参加 【ガイド行程】 古事記における日本神話 (スサノオ・オオクニヌシ) →一畑電車で穴道湖→佐香神社→稲佐の浜→出雲大社→そば処田中屋→旭日酒造 (八千矛・お神酒) →万九千神社		
写真	旭日酒造株式会社		
			
			



250年の伝統ある弓浜絨について～オンラインで訪れる絨の世界～

現状 (該当箇所は○)	既存コンテンツ 磨き上げ (国内向けに類似商品が販売され、国外向けには実施なし)
	既存コンテンツ 磨き上げ (国内向けに類似商品が販売され、国外向けにも同様に販売を実施している)
	○ 新規コンテンツ 造成 (国内向け、国外向けに販売が実施されていない)
過去訪日外国人旅行者 来訪実績	ことわ絨店 2019年 20名 2018年 20名 2017年 20名
<b>【 基 本 情 報 】</b>	
事業者名	ことわ絨店
営業所住所	鳥取県米子市彦名町4261-1
営業時間	定休日 木曜日 11:00～17:00 FAX 0859-21-6893
TEL	0859-21-9063
Mail	<a href="mailto:yumihamarotoho@cocoa.lalala.or.jp">yumihamarotoho@cocoa.lalala.or.jp</a>
HP URL	-
事業者名	弓浜絨工房B
営業所住所	鳥取県境港市中野町5473
営業時間	定休日 不定休 9:00～17:00 FAX 0859-21-5939
TEL	0859-21-5939
Mail	-
HP URL	<a href="https://kouboub.jp/">https://kouboub.jp/</a>
事業者名	織房 絲の文
営業所住所	鳥取県境港市武内町522
営業時間	定休日 不定休 9:00～17:00 FAX 090-2217-3324
TEL	090-2217-3324
Mail	-
HP URL	<a href="https://www.facebook.com/itonoaya/">https://www.facebook.com/itonoaya/</a>
所要時間	約1時間
食事条件	朝・昼・夕 実施可能時期 ※通年等 有 (ベジタリアン、ヴィーガン等) ・ 無
体験の流れ	10:00 絨店 ガイドカメラマン 10:00～10:05 絨店スタッフのあいさつ 10:05～10:15 弓浜絨・伯州綿の説明 ガイドが説明支援 10:15～10:35 製作手順の説明。糸紡ぎや手織りしているところを見学 ガイドが説明支援 10:35～11:00 リクエストに応えたデザイン作成 ガイドが説明支援 11:00 通信終了
施設情報	Wifi環境 有・無 (無) メール (特) ・ 和式 ・ 無
多言語対応	有・無 言語: 英・仏
予約要否	要・不要 予約期限 14 日前までに予約要 対応可能人数 4 名まで可能
予約方法	TEL・FAX・メール HP・OTA・その他 ( )
取消料	6～4日前→50% 3日前、当日キャンセル→100%
精算方法	現金・振り込み・クレジットカード キャンセル ( ) ・ その他 ( ) 当日払い 可・不可 (不可)
1名当たり料金 (参加2名 3名 4名)	日本人一般 日本人学生 外国人一般 (2人・3人・4人) 大人 ¥11,500 ¥7,700 ¥5,800 小人 - - タクシー往復 ¥10,000 程度
コンテンツの磨き上げ前の 実施内容	-
磨き上げ目標 or 達成目標	①外国語を話せる案内ガイドの準備 ②オンラインでの販売
磨き上げ内容 or 達成内容	【販売時間】 ①9:00～10:00 ②13:00～14:00 ③17:00～18:00 【ガイド行程】 藍染→絨→弓ヶ浜半島について→たたら製鉄→弓浜絨・伯州綿→ことわ絨→弓浜工房B→絨の取扱いについて (洗濯)
写真	ことわ絨店 弓浜絨工房B 織房 絲の文

## 6-2 今後の展望について

---

本事業を通して開発してきたコンテンツに対して、今後の展望を以下に整理した。

### **展望1:「地域連携の輪」の維持・強化・拡大**

本プロジェクトでは、縁結びの由来の地という特性から「むすびつき」という考え方をもとに和紙とワイン、陶器と日本酒という職人を結びつけたコンテンツが主となっているが、今後、お互いをもっと知ることによって新しいコンテンツや魅力の更なる磨き上げが期待される。

また、本プロジェクトでコンテンツ化とならなかったが、魅力ある観光コンテンツとなる素材が対象地域には存在しており、今後、新たな連携の輪を広げていくことで地域の更なる魅力向上が期待できる。

一方、手仕事の職人は、主として観光事業を行っているわけではない。そのため、持続的な観光コンテンツとするためには、そのような活動をDMO等によって支援していくことが必要となる。

以上のような考え方から、持続可能な活動をめざして、地域への誘客に関心を持つ職人たちの話合いの場、交流の場となるようなコミュニケーション体制を構築することが必要である。

### **展望2:地域ガイドによる観光客に合せたコンテンツ内容の精査、ブラッシュアップ**

今回作成したコンテンツごとに、手仕事の職人、地域ガイド等関係者間でコンテンツの詳細内容や魅力を再確認し、観光客に合わせて案内する内容をブラッシュアップしていくなど、コンテンツの魅力向上への取組みを引き続き行っていくことが理想的である。

今後、観光客が増加すると本事業で担当した地域ガイド以外に人員を増加する必要も考えられ、ガイド候補者拡大のため、作成したコンテンツごとに本事業で作成した「ガイドマニュアル」の活用が望ましい。

### **展望3:現地での移動手段の確保(タクシーの活用を例として)**

本プロジェクトでは、体験場所などの移動にタクシーを利用する計画としている。コンテンツの予約が入ると、タクシー会社へタクシーの予約を入れるなど、事前準備が必要となる。

タクシー会社は、松江市の一畑タクシー、米子市の米子タクシーを予定している。米子タクシーでは、インバウンド対象とした割引制度を行っている。

国土交通省では、令和2年11月30日より「一括定額運賃」が可能となり、タクシーの複数回利用の運賃を一括して支払う制度が可能となった。利用回数の上限、利用時間帯や期限、利用エリアなどの条件を設定して定額でタクシー利用が可能となる制度である。

出雲大山エリアでは、体験コンテンツ関係者から移動手段を問題とする声も多く、多くの観光コンテンツを移動するにあたりタクシー運賃定額制(タクシー・サブスクリプションのイメージ)の検討など、沿線自治体、交通事業者、DMO等での検討が求められる。

また、鉄道やバスと連携してMaaS(Mobility as a Service)としての検討も期待される。

### **展望4:コンテンツの販路拡大**

作成したコンテンツ等に関するプロモーション手法を検討し、地方自治体や観光団体等と連携し、販路の拡大を地域ぐるみで行うことが必要である。

一方、訪日外国人旅行者の完全復活が見込めない今、在日外国人や国内旅行者向けのコンテンツとして、先だって販売を行うことも検討の余地がある。



プロモーションのスタイルは多様であるが、海外の観光説明会や商談会などに参加してブース等を設けて商品を売込むとなると現地まで出向く必要があるため費用を要する。ヨーロッパまで旅行会社などを交えて7名程度で1週間ほどかけて行くと400万円以上要すると予想される。同様に現地エージェントを出雲大山エリアに招待してファミ・トリップを行うのも現地エージェントに商品を取り扱ってもらえる可能性を考えると効果的である。

このようなプロモーションでは、対象国に出雲大山エリアをPRすることや、現地の海外エージェントとのつながりを作ることができる点では、効果的な手法といえる。

一方、WEBプロモーションという手法も考えられる。この手法は、Googleなどのサイトで閲覧者の嗜好に合わせて観光コンテンツの情報をサイト上に出すものである。当該手法は、比較的安価に実施することは可能で、たとえば、販売体制で提案しているジャパントラベルの観光商品サイトにコンテンツを掲載しておき、WEBプロモーションを通して閲覧者へ情報を提供し、興味ある閲覧者が情報をクリックすることで観光商品サイトにあるコンテンツ販売画面に移動することができる。

プロモーションの際、本事業で作成し旅行会社との意見交換会でも活用した「コンテンツ資料」を活用することが望まれる。

## **展望5:「実行/改善サイクル」の確立**

今回作成したものに限らず、観光コンテンツに関しては、移り行く社会情勢や人々のニーズを踏まえて改善しながら、観光客へ提供していくことが重要である。

実際に販売行為を実行したうえで、その状況等を観察しつつ改善を加えるといった一連のサイクル（OODA ループ）を素早く回していくことが望まれる。

ここで、PDCA サイクルというフレームワーク、あるいは言葉はよく使われている。「Plan（計画）」、「Do（実行）」、「Check（評価）」、「Action（改善）」という4つのステップを繰り返し回すことで、生産性や品質を持続的に改善していくことができるのである。

これに対してOODA（ウーダ）ループというフレームワークがある。違いは、PDCA サイクルは「元々あるものをさらに改善する」ときに効果あるフレームワークであるのに対し、OODA ループは「不明確で常に変化していく状況の中で意思決定する」ときに効果あるフレームワークといわれている。

OODA ループとは、「Observe（観察）」、「Orient（仮説、状況判断）」、「Decide（意思決定）」、「Act（行動）」の4つのステップを回転させるものであり、できる限り早い回転を繰り返すことで効果を発揮し、新しい事業等を波に乗せることができるといわれている。

具体例として、

- ①「Observe（観察）」⇒「20代の女性をターゲットとしていたが、思ったより20代の女性の売上げが伸びなかった。代わりに40代女性の売上が予想より多い状況にある。」
- ②「Orient（仮説、状況判断）」⇒「若年層では購入しにくい価格設定になっているのではないか。経済的に余裕がある40代の女性なら購入できるのではないか」
- ③「Decide（意思決定）」⇒「ターゲットを20代の女性から40代の女性に変更することを決める」
- ④「Act（行動）」⇒「40代の女性向けにプロモーションを修正する」

といった一連の流れになる。その後、再度「Observe（観察）」のステップに戻って40代女性をターゲットとしたループを繰り返し、必要に応じて再度状況判断をして、意思決定、行動といったステップを行うこととなる。

このように、造成した観光コンテンツの販売体制及び受入態勢が整えていき、販売状況等を観察しつつOODAループをまわしていくことが望ましい。

